

```
0001 <?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
0002 <fmg>
0003 <compression>None</compression>
0004 <version>DarkSouls3</version>
0005 <bigendian>False</bigendian>
0006 <entries>
0007 <text id="200">誓約防具 テスト</text>
0008 <text id="1000">丸坊主</text>
0009 <text id="1100">Mスポット</text>
0010 <text id="1200">ショート</text>
0011 <text id="1300">オールバック</text>
0012 <text id="1400">テール</text>
0013 <text id="1500">乱れ長髪</text>
0014 <text id="1600">センターパート</text>
0015 <text id="1700">セミロング</text>
0016 <text id="1800">巻き毛</text>
0017 <text id="1900">おかっぱ</text>
0018 <text id="2000">男性11</text>
0019 <text id="2100">男性12</text>
0020 <text id="2200">男性13</text>
0021 <text id="2300">男性14</text>
0022 <text id="2400">男性15</text>
0023 <text id="2500">男性16</text>
0024 <text id="2600">男性17</text>
0025 <text id="2700">男性18</text>
0026 <text id="2800">男性19</text>
0027 <text id="2900">男性20</text>
0028 <text id="3000">丸坊主</text>
0029 <text id="3100">ベリーショート</text>
0030 <text id="3200">ウェーブ</text>
0031 <text id="3300">ストレートA</text>
0032 <text id="3400">ストレートB</text>
0033 <text id="3500">テールA</text>
0034 <text id="3600">テールB</text>
0035 <text id="3700">ツインテール</text>
0036 <text id="3800">シニヨン</text>
0037 <text id="3900">編み込み</text>
0038 <text id="4000">女性11</text>
0039 <text id="4100">女性12</text>
0040 <text id="4200">女性13</text>
0041 <text id="4300">女性14</text>
0042 <text id="4400">女性15</text>
0043 <text id="4500">女性16</text>
0044 <text id="4600">女性17</text>
0045 <text id="4700">女性18</text>
0046 <text id="4800">女性19</text>
0047 <text id="4900">女性20</text>
0048 <text id="5000">徘徊髪型</text>
0049 <text id="10000">-</text>
0050 <text id="10100">-</text>
0051 <text id="10200">-</text>
0052 <text id="10300">-</text>
0053 <text id="40000">ごく簡素な鉄製の兜
0054
0055 顔の下部から首を布で覆うことで
0056 毒などへの耐性を少し高めている
0057 </text>
0058 <text id="40100">金属の小片を装甲として並べた
0059 スケイルアーマー
0060
0061 肩を覆うケーブは
0062 岩トカゲの革をなめしたものであり
0063 炎や雷に対して効果が高い
0064 </text>
0065 <text id="40200">ごく簡素な鉄製の手甲
0066 </text>
0067 <text id="40300">しっかりとした革製のズボン
0068
0069 動きの邪魔にならないように
0070 紐が巻きつけられている
0071 </text>
0072 <text id="50000">カイデンの傭兵たちが用いる兜
0073 巨人の戦士を模しているという
0074
0075 大柄で屈強、馬上戦闘に長けた傭兵たちは
0076 雪深い北の山嶺からやってきたという
0077 カイデンは故郷の名前である
0078 </text>
0079 <text id="50100">カイデンの傭兵たちが用いる胴鎧
0080 冷気を防ぐ、雪狼の毛皮を纏っている
0081
0082 大柄で屈強、馬上戦闘に長けた傭兵たちは
0083 雪深い北の山嶺からやってきたという
0084 カイデンは故郷の名前である
0085 </text>
0086 <text id="50200">カイデンの傭兵たちが用いる手甲
0087
0088 大柄で屈強、馬上戦闘に長けた傭兵たちは
0089 雪深い北の山嶺からやってきたという
0090 カイデンは故郷の名前である
0091 </text>
0092 <text id="50300">カイデンの傭兵たちが用いるズボン
0093
0094 大柄で屈強、馬上戦闘に長けた傭兵たちは
0095 雪深い北の山嶺からやってきたという
0096 カイデンは故郷の名前である
0097 </text>
0098 <text id="60000">竜体の一部が融合された異形の兜
0099 竜狩りオンドレイの装備品
0100
0101 それは、狩りを誇る勲章ではなく
0102 妄執にも似た変態の儀式である
0103
0104 オンドレイは、嵐の巣を探している
0105 そして竜だけが、そこに辿り着ける
0106 </text>
```

```
0001 <?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
0002 <fmg>
0003 <compression>None</compression>
0004 <version>DarkSouls3</version>
0005 <bigendian>False</bigendian>
0006 <entries>
0007 <text id="200">誓約防具 テスト</text>
0008 <text id="1000">丸坊主</text>
0009 <text id="1100">Mスポット</text>
0010 <text id="1200">ショート</text>
0011 <text id="1300">オールバック</text>
0012 <text id="1400">テール</text>
0013 <text id="1500">乱れ長髪</text>
0014 <text id="1600">センターパート</text>
0015 <text id="1700">セミロング</text>
0016 <text id="1800">巻き毛</text>
0017 <text id="1900">おかっぱ</text>
0018 <text id="2000">男性11</text>
0019 <text id="2100">男性12</text>
0020 <text id="2200">男性13</text>
0021 <text id="2300">男性14</text>
0022 <text id="2400">男性15</text>
0023 <text id="2500">男性16</text>
0024 <text id="2600">男性17</text>
0025 <text id="2700">男性18</text>
0026 <text id="2800">男性19</text>
0027 <text id="2900">男性20</text>
0028 <text id="3000">丸坊主</text>
0029 <text id="3100">ベリーショート</text>
0030 <text id="3200">ウェーブ</text>
0031 <text id="3300">ストレートA</text>
0032 <text id="3400">ストレートB</text>
0033 <text id="3500">テールA</text>
0034 <text id="3600">テールB</text>
0035 <text id="3700">ツインテール</text>
0036 <text id="3800">シニヨン</text>
0037 <text id="3900">編み込み</text>
0038 <text id="4000">女性11</text>
0039 <text id="4100">女性12</text>
0040 <text id="4200">女性13</text>
0041 <text id="4300">女性14</text>
0042 <text id="4400">女性15</text>
0043 <text id="4500">女性16</text>
0044 <text id="4600">女性17</text>
0045 <text id="4700">女性18</text>
0046 <text id="4800">女性19</text>
0047 <text id="4900">女性20</text>
0048 <text id="5000">徘徊髪型</text>
0049 <text id="10000">防具を何もつけていない、裸の状態の頭
0050 </text>
0051 <text id="10100">防具を何もつけていない、裸の状態の胴
0052 </text>
0053 <text id="10200">防具を何もつけていない、裸の状態の腕
0054 </text>
0055 <text id="10300">防具を何もつけていない、裸の状態の脚
0056 </text>
0057 <text id="40000">端々の錆び付いた、鉄製の兜
0058
0059 口元を布で覆い、毒などに備えている
0060
0061 </text>
0062 <text id="40100">金属の小片を装甲として並べた鎧
0063
0064 岩トカゲのなめした革を肩に掛け
0065 炎に対する耐性を高めている
0066
0067 </text>
0068 <text id="40200">ごく簡素な鉄製の手甲
0069 </text>
0070 <text id="40300">丈夫な革製のズボン
0071
0072 動きの邪魔にならないよう
0073 足元に紐を巻き付けている
0074 </text>
0075 <text id="50000">カイデンの傭兵たちが用いる兜
0076
0077 大柄で屈強、馬上戦闘に長けた傭兵たちは
0078 雪深い北の山嶺からやってきたという
0079 カイデンは故郷の名前である
0080 </text>
0081 <text id="50100">カイデンの傭兵たちが用いる胴鎧
0082 冷気を防ぐ、雪狼の毛皮を纏っている
0083
0084 大柄で屈強、馬上戦闘に長けた傭兵たちは
0085 雪深い北の山嶺からやってきたという
0086 カイデンは故郷の名前である
0087 </text>
0088 <text id="50200">カイデンの傭兵たちが用いる手甲
0089
0090 大柄で屈強、馬上戦闘に長けた傭兵たちは
0091 雪深い北の山嶺からやってきたという
0092 カイデンは故郷の名前である
0093 </text>
0094 <text id="50300">カイデンの傭兵たちが用いるズボン
0095
0096 大柄で屈強、馬上戦闘に長けた傭兵たちは
0097 雪深い北の山嶺からやってきたという
0098 カイデンは故郷の名前である
0099 </text>
0100 <text id="60000">竜騎士たちの纏う黒鉄の兜
0101 竜狩り、そして竜餐の誇りとして
0102 竜の一部が用いられている
0103
0104 彼らは、生来言葉を発することがなく
0105 ただ竜の力を、その美しさと恐れを求める
0106 </text>
0107 <text id="60100">竜騎士たちの纏う黒鉄の胴鎧
0108 竜狩り、そして竜餐の誇りとして
0109 竜の一部が用いられている
0110
0111 そのマントは、竜翼の被膜である
0112 </text>
```

0107 <text id="60100">竜体の一部が融合された異形の胴鎧
0108 竜狩りオンドレイの装備品

0109
0110 そのマントは竜翼の皮膜であるが
0111 まだ、空を飛べない
0112 </text>
0113 <text id="60200">竜体の一部が融合された異形の手甲
0114 竜狩りオンドレイの装備品

0115
0116 それは、狩りを誇る勲章ではなく
0117 妄執にも似た変態の儀式である

0118
0119 オンドレイは、嵐の巣を探している
0120 そして竜だけが、そこに辿り着ける
0121 </text>
0122 <text id="60300">竜体の一部が融合された異形の足甲
0123 竜狩りオンドレイの装備品

0124
0125 それは、狩りを誇る勲章ではなく
0126 妄執にも似た変態の儀式である

0127
0128 オンドレイは、嵐の巣を探している
0129 そして竜だけが、そこに辿り着ける

0130 </text>
0131 <text id="61000">竜体の一部が融合された異形の軽兜</text>
0132 <text id="61100">竜体の一部が融合された異形の胴鎧</text>
0133 <text id="80000">古竜の鱗を重ね合わせた兜</text>
0134 <text id="80100">古竜の鱗を重ね合わせた胴鎧</text>
0135 <text id="80200">古竜の鱗を重ね合わせた手甲</text>
0136 <text id="80300">古竜の鱗を重ね合わせた足甲</text>
0137 <text id="81100">古竜の鱗を重ね合わせた胴鎧</text>
0138 <text id="90000">黄金樹の王都の、調香師たちのフード
0139
0140 かつて調香師は、薬師として聖職にあったが
0141 破碎戦争で戦場に送られ、その本分を失った
0142 香薬は毒となり、火薬となったのだ
0143 </text>
0144 <text id="90100">黄金樹の王都の、調香師たちのローブ
0145
0146 黄金樹が刺繍された分厚い布の前掛けは
0147 薬師の秘技を修めた証であり
0148 その重さは、誇りと責任を意味していた
0149 </text>
0150 <text id="90200">黄金樹の王都の、調香師たちの手袋
0151
0152 かつて調香師は、薬師として聖職にあったが
0153 破碎戦争で戦場に送られ、その本分を失った
0154 香薬は毒となり、火薬となったのだ
0155 </text>
0156 <text id="90300">黄金樹の王都の、調香師たちの腰布
0157
0158 かつて調香師は、薬師として聖職にあったが
0159 破碎戦争で戦場に送られ、その本分を失った
0160 香薬は毒となり、火薬となったのだ
0161 </text>
0162 <text id="91100">黄金樹の王都の、調香師たちの上衣</text>
0163 <text id="100000">在野を流離う調香師の革帽子</text>
0164 <text id="100100">在野を流離う調香師のローブ</text>
0165 <text id="100200">在野を流離う調香師の手袋</text>
0166 <text id="100300">在野を流離う調香師のスボン</text>
0167 <text id="101100">在野を流離う調香師の上衣</text>
0168 <text id="120000">学院を離れた、輝石魔術師の帽子</text>
0169 <text id="120100">学院を離れた、輝石魔術師のローブ</text>
0170 <text id="120200">学院を離れた、輝石魔術師の手袋</text>
0171 <text id="120300">学院を離れた、輝石魔術師のブーツ</text>
0172 <text id="121000">学院を離れた、輝石魔術師の頭布</text>
0173 <text id="121100">学院を離れた、輝石魔術師の上衣</text>
0174 <text id="130000">輝石魔術師ロジェールの帽子</text>
0175 <text id="130100">輝石魔術師ロジェールのケープ</text>
0176 <text id="130200">輝石魔術師ロジェールの手袋</text>
0177 <text id="130300">輝石魔術師ロジェールのスボン</text>
0178 <text id="131100">輝石魔術師ロジェールのベスト</text>
0179 <text id="140000">大角のトラゴスの兜</text>
0180 <text id="140100">大角のトラゴスの胴鎧</text>
0181 <text id="140200">大角のトラゴスの手甲</text>
0182 <text id="140300">大角のトラゴスの足甲</text>

0111 <text id="60200">竜騎士たちの纏う黒鉄の手甲
0112 竜狩り、そして竜餐の誇りとして
0113 竜の一部が用いられている
0114
0115 彼らは、生来言葉を発することがなく
0116 ただ竜の力を、その美しさと恐れを求める
0117 </text>
0118 <text id="60300">竜騎士たちの纏う黒鉄の足甲
0119 竜狩り、そして竜餐の誇りとして
0120 竜の一部が用いられている
0121
0122 彼らは、生来言葉を発することがなく
0123 ただ竜の力を、その美しさと恐れを求める
0124 </text>
0125 <text id="61000">竜騎士たちの纏う黒鉄の兜
0126 竜狩り、そして竜餐の誇りとして
0127 竜の一部が用いられている
0128
0129 彼らは、生来言葉を発することがなく
0130 ただ竜の力を、その美しさと恐れを求める
0131 </text>
0132 <text id="61100">竜騎士たちの纏う黒鉄の胴鎧
0133 竜狩り、そして竜餐の誇りとして
0134 竜の一部が用いられている
0135
0136 彼らは、生来言葉を発することがなく
0137 ただ竜の力を、その美しさと恐れを求める
0138 </text>
0139 <text id="80000">古騎士、イシュトバーンの兜
0140 腐食した金属を、硬い鱗で補っており
0141 物理以外の攻撃に対して効果が高い
0142
0143 イシュトバーンは、古参の褪せ人
0144 その生き残りの一人である
0145 </text>
0146 <text id="80100">古騎士、イシュトバーンの胴鎧
0147 腐食した金属を、硬い鱗で補っており
0148 物理以外の攻撃に対して効果が高い
0149
0150 イシュトバーンは、古参の褪せ人
0151 その生き残りの一人である
0152 </text>
0153 <text id="80200">古騎士、イシュトバーンの手甲
0154 腐食した金属を、硬い鱗で補っており
0155 物理以外の攻撃に対して効果が高い
0156
0157 イシュトバーンは、古参の褪せ人
0158 その生き残りの一人である
0159 </text>
0160 <text id="80300">古騎士、イシュトバーンの足甲
0161 腐食した金属を、硬い鱗で補っており
0162 物理以外の攻撃に対して効果が高い
0163
0164 イシュトバーンは、古参の褪せ人
0165 その生き残りの一人である
0166 </text>
0167 <text id="81100">古騎士、イシュトバーンの胴鎧
0168 腐食した金属を、硬い鱗で補っており
0169 物理以外の攻撃に対して効果が高い
0170
0171 イシュトバーンは、古参の褪せ人
0172 その生き残りの一人である
0173 </text>

0174 <text id="90000">黄金樹の王都の、調香師たちのフード
0175
0176 かつて調香師は、薬師として聖職にあったが
0177 破碎戦争で戦場に送られ、その本分を失った
0178 香薬は毒となり、火薬となったのだ
0179 </text>
0180 <text id="90100">黄金樹の王都の、調香師たちのローブ
0181
0182 黄金樹が刺繍された分厚い布の前掛けは
0183 薬師の秘技を修めた証であり
0184 その重さは、誇りと責任を意味していた
0185 </text>
0186 <text id="90200">黄金樹の王都の、調香師たちの手袋
0187
0188 かつて調香師は、薬師として聖職にあったが
0189 破碎戦争で戦場に送られ、その本分を失った
0190 香薬は毒となり、火薬となったのだ
0191 </text>
0192 <text id="90300">黄金樹の王都の、調香師たちの腰布
0193
0194 かつて調香師は、薬師として聖職にあったが
0195 破碎戦争で戦場に送られ、その本分を失った
0196 香薬は毒となり、火薬となったのだ
0197 </text>
0198 <text id="91100">黄金樹の王都の、調香師たちのローブ
0199
0200 黄金樹が刺繍された分厚い布の前掛けは
0201 薬師の秘技を修めた証であり
0202 その重さは、誇りと責任を意味していた
0203 </text>
0204 <text id="100000">名も無い旅の調香師の帽子
0205
0206 その男は、癒し手の同志であり
0207 新しい香薬、そして花園を探していたという
0208 混種や忌み子、あらゆる穢れの治療のために
0209 </text>
0210 <text id="100100">名も無い旅の調香師の装束
0211
0212 調香師の証たる分厚い前掛けは
0213 柔らかな革で簡素なものに仕立て直されている
0214 </text>
0215 <text id="100200">名も無い旅の調香師の手袋
0216
0217 その男は、癒し手の同志であり
0218 新しい香薬、そして花園を探していたという

```
0183 <text id="150000">血指狩りユラの傘</text>  
0184 <text id="150100">血指狩りユラの胸鎧</text>  
0185 <text id="150200">血指狩りユラの手甲</text>  
0186 <text id="150300">血指狩りユラの足甲</text>  
0187 <text id="151100">血指狩りユラの鎧</text>
```

```
0219 混種や忌み子、あらゆる穢れの治療のために  
0220 </text>  
0221 <text id="100300">名も無い旅の調香師のズボン  
0222  
0223 その男は、癒し手の同志であり  
0224 新しい香薬、そして花園を探していたという  
0225 混種や忌み子、あらゆる穢れの治療のために  
0226 </text>  
0227 <text id="101100">名も無い旅の調香師の装束  
0228  
0229 調香師の証たる分厚い前掛けは  
0230 柔らかな革で簡素なものに仕立て直されている  
0231 </text>  
0232 <text id="120000">狂い舌、アルベリッヒの帽子  
0233 異端の魔術師を示す尖り帽  
0234  
0235 生贄の血に生じるという  
0236 赤い輝石が埋め込まれており  
0237 茨の魔術を強化する  
0238  
0239 孤高にして異端の、病んだ魔術師は  
0240 かつて円卓のために、舌に狂ったという  
0241 </text>  
0242 <text id="120100">狂い舌、アルベリッヒの装束  
0243  
0244 生贄の血に生じるという  
0245 赤い輝石が埋め込まれており  
0246 茨の魔術を強化する  
0247  
0248 孤高にして異端の、病んだ魔術師は  
0249 かつて円卓のために、舌に狂ったという  
0250 </text>  
0251 <text id="120200">狂い舌、アルベリッヒの手甲  
0252  
0253 生贄の血に生じるという  
0254 赤い輝石が埋め込まれており  
0255 茨の魔術を強化する  
0256  
0257 孤高にして異端の、病んだ魔術師は  
0258 かつて円卓のために、舌に狂ったという  
0259 </text>  
0260 <text id="120300">狂い舌、アルベリッヒのズボン  
0261  
0262 孤高にして異端の、病んだ魔術師は  
0263 かつて円卓のために、舌に狂ったという  
0264 </text>  
0265 <text id="121000">狂い舌、アルベリッヒの帽子  
0266 異端の魔術師を示す尖り帽  
0267  
0268 生贄の血に生じるという  
0269 赤い輝石が埋め込まれており  
0270 茨の魔術を強化する  
0271  
0272 孤高にして異端の、病んだ魔術師は  
0273 かつて円卓のために、舌に狂ったという  
0274 </text>  
0275 <text id="121100">狂い舌、アルベリッヒの装束  
0276  
0277 孤高にして異端の、病んだ魔術師は  
0278 かつて円卓のために、舌に狂ったという  
0279 </text>  
0280 <text id="130000">魔術師ロジェールの帽子  
0281 異端の魔術師を示す尖り帽  
0282 輝石魔術の戦技を強化する  
0283  
0284 ロジェールは、生涯飄々と振舞った  
0285 怒りも、悲しみも、後悔も、恐怖も  
0286 ずっと共にあっただろうに  
0287 </text>  
0288 <text id="130100">魔術師ロジェールの旅装束  
0289 貴族的な、緻密な装飾がなされている  
0290 輝石魔術の戦技を強化する  
0291  
0292 ロジェールは、生涯飄々と振舞った  
0293 怒りも、悲しみも、後悔も、恐怖も  
0294 ずっと共にあっただろうに  
0295 </text>  
0296 <text id="130200">魔術師ロジェールの手袋  
0297 貴族的な、緻密な装飾がなされている  
0298 輝石魔術の戦技を強化する  
0299  
0300 ロジェールは、生涯飄々と振舞った  
0301 怒りも、悲しみも、後悔も、恐怖も  
0302 ずっと共にあっただろうに  
0303 </text>  
0304 <text id="130300">魔術師ロジェールのズボン  
0305 貴族的な、緻密な装飾がなされている  
0306 輝石魔術の戦技を強化する  
0307  
0308 ロジェールは、生涯飄々と振舞った  
0309 怒りも、悲しみも、後悔も、恐怖も  
0310 ずっと共にあっただろうに  
0311 </text>  
0312 <text id="131100">魔術師ロジェールの旅装束  
0313 貴族的な、緻密な装飾がなされている  
0314 輝石魔術の戦技を強化する  
0315  
0316 ロジェールは、生涯飄々と振舞った  
0317 怒りも、悲しみも、後悔も、恐怖も  
0318 ずっと共にあっただろうに  
0319 </text>  
0320 <text id="140000">大角のトラゴスの兜  
0321 金の大山羊をモチーフとし  
0322 強靱度が高い  
0323  
0324 トラゴスは、助勢の騎士として知られる  
0325 多くの褪せ人が、大角の助けを得て  
0326 狭間の脅威に対してきたのだ  
0327 </text>  
0328 <text id="140100">大角のトラゴスの胸鎧  
0329 一對の巨大な角が、体を覆い  
0330 揺るがぬ強靱を与えている  
0331  
0332 トラゴスは、助勢の騎士として知られる  
0333 多くの褪せ人が、大角の助けを得て
```

0188 <text id="160000">鶯色の粗末なフードマント
0189 狭間の地で奴隷となった
0190 祝福なき褪せ人たちの装束
0191
0192 尖った枝の首輪は
0193 その卑しい身分を示す印である
0194 </text>
0195 <text id="160100">粗末な布の服
0196 狭間の地で奴隷となった
0197 祝福なき褪せ人たちの装束
0198
0199 褪せ人たちは、古くから度々に
0200 霧の海の外から狭間の地に迷い込む
0201 そして、その多くはすぐに殺され
0202 僅かな生き残りが奴隷となった
0203 </text>
0204 <text id="160200">粗末な布の腕帯
0205 狭間の地で奴隷となった
0206 祝福なき褪せ人たちの装束</text>
0207 <text id="160300">粗末な布のズボン
0208 狭間の地で奴隷となった
0209 祝福なき褪せ人たちの装束
0210
0211 褪せ人たちは、古くから度々に
0212 霧の海の外から狭間の地に迷い込む
0213 そして、その多くはすぐに殺され
0214 僅かな生き残りが奴隷となった

0334 狭間の脅威に対してきたのだ
0335 </text>
0336 <text id="140200">大角のトラゴスの手甲
0337 金の大山羊をモチーフとし
0338 強靱度が高い
0339
0340 トラゴスは、助勢の騎士として知られる
0341 多くの褪せ人が、大角の助けを得て
0342 狭間の脅威に対してきたのだ
0343 </text>
0344 <text id="140300">大角のトラゴスの足甲
0345 金の大山羊をモチーフとし
0346 強靱度が高い
0347
0348 トラゴスは、助勢の騎士として知られる
0349 多くの褪せ人が、大角の助けを得て
0350 狭間の脅威に対してきたのだ
0351 </text>
0352 <text id="150000">シャブリリと名乗った男の鉄笠
0353 葦の地の編み笠に似せて、作られたもの
0354
0355 その男は、かつてはユラと呼ばれていた
0356 一人の女を、心の深窓に住ませていた
0357 </text>
0358 <text id="150100">シャブリリと名乗った男の鎧
0359 使い込まれた、実戦的なもの
0360
0361 その男は、かつてはユラと呼ばれていた
0362 一人の女を、心の深窓に住ませていた
0363 </text>
0364 <text id="150200">シャブリリと名乗った男の手甲
0365 使い込まれた、実戦的なもの
0366
0367 その男は、かつてはユラと呼ばれていた
0368 一人の女を、心の深窓に住ませていた
0369 </text>
0370 <text id="150300">シャブリリと名乗った男の足甲
0371 使い込まれた、実戦的なもの
0372
0373 その男は、かつてはユラと呼ばれていた
0374 一人の女を、心の深窓に住ませていた
0375 </text>
0376 <text id="151100">シャブリリと名乗った男の鎧
0377 使い込まれた、実戦的なもの
0378
0379 その男は、かつてはユラと呼ばれていた
0380 一人の女を、心の深窓に住ませていた
0381 </text>
0382 <text id="160000">鶯色の粗末なフードマント
0383
0384 軽微な罪を犯した者の装束であり
0385 尖った枝の首輪は、その印である
0386 </text>
0387 <text id="160100">粗末な布の服
0388 狭間の地で、ごくありふれたもの
0389 </text>
0390 <text id="160200">粗末な布の腕帯
0391 狭間の地で奴隷となった
0392 祝福なき褪せ人たちの装束</text>
0393 <text id="160300">粗末な布のズボン
0394 狭間の地で、ごくありふれたもの
0395 </text>
0396 <text id="170000">黒狼の頭部を模した仮面
0397
0398 かつて、その影従に姿を変え
0399 魔女ラニを害そうとした者の遺品
0400 まるで本物のようだ
0401 </text>
0402 <text id="170100">半狼のプライヴの胴鎧
0403 使い込まれた、黒い騎士鎧
0404
0405 冷気を防ぐ、毛皮のマントを纏っている
0406 ラニの剣でありながら、プライヴは寒さに弱かった
0407 </text>
0408 <text id="170200">半狼のプライヴの手甲
0409 使い込まれた、黒い騎士鎧
0410
0411 プライヴは、ラニの影従であった
0412 たとえ運命に背いてでも
0413 決して裏切らぬ、味方であった
0414 </text>
0415 <text id="170300">半狼のプライヴの足甲
0416 使い込まれた、黒い騎士鎧
0417
0418 プライヴは、ラニの影従であった
0419 たとえ運命に背いてでも
0420 決して裏切らぬ、味方であった
0421 </text>
0422 <text id="171100">半狼のプライヴの胴鎧
0423 使い込まれた、黒い騎士鎧
0424
0425 プライヴは、ラニの影従であった
0426 たとえ運命に背いてでも
0427 決して裏切らぬ、味方であった
0428 </text>
0429 <text id="180000">黒き刃の刺客たちのフード
0430
0431 陰謀の夜の実行犯たる刺客たちは
0432 すべて女性であり、一説には
0433 マリカに近い稀人であったという
0434 </text>
0435 <text id="180100">黒き刃の刺客たちの胴鎧
0436 音を立てぬスケイルアーマー
0437
0438 身隠しのヴェールには
0439 僅かに力が残り、足音を抑える
0440

```
0215 </text>
0216 <text id="170000">年経た狼の頭部を用いた被り物</text>
0217 <text id="170100">ラニの戦士、プライブの胴鎧</text>
0218 <text id="170200">ラニの戦士、プライブの手甲</text>
0219 <text id="170300">ラニの戦士、プライブの足甲</text>
0220 <text id="171100">ラニの戦士、プライブの鎧</text>
0221 <text id="180000">黒い刃の暗殺者たちが用いるフード</text>
0222 <text id="180100">黒い刃の暗殺者たちが用いる胴鎧</text>
0223 <text id="180200">黒い刃の暗殺者たちが用いる手甲</text>
0224 <text id="180300">黒い刃の暗殺者たちが用いる足甲</text>
0225 <text id="181100">黒い刃の暗殺者たちが用いる鎧</text>
0226 <text id="190000">頭部を覆い隠すえんじ色のフード

0227
0228 かつてストームヴィルは流刑地であり
0229 これは咎人の、戒律の名残であるという

0230
0231 汝覆い隠し、曝すことなかれ
0232 さもなくば呪いが忍び入ろう
0233 </text>
0234 <text id="190100">戦と潮風に傷んだ胴鎧を
0235 えんじ色の大布で覆ったもの

0236
0237 かつてストームヴィルは流刑地であり
0238 大布は咎人の、戒律の名残であるという

0239
0240 汝覆い隠し、曝すことなかれ
0241 さもなくば呪いが忍び入ろう
0242 </text>
0243 <text id="190200">戦と潮風に傷んだ、鉄の手甲
0244 ストームヴィルの兵士たちの装備

0245
0246 虫が食ったように崩れ始めている

0247 </text>
0248 <text id="190300">戦と潮風に傷んだ、鉄の足甲
0249 ストームヴィルの兵士たちの装備

0250
0251 虫が食ったように崩れ始めている

0252 </text>
0253 <text id="200000">騎士兜を、えんじ色の長布で覆ったもの
0254 茨の草紋が刺繍されている

0255
0256 かつてストームヴィルは流刑地であり
0257 長布は咎人の、戒律の名残であるという

0258
0259 汝覆い隠し、曝すことなかれ
0260 さもなくば呪いが忍び入ろう

0261 </text>
0262 <text id="200100">戦と潮風に傷んだ
0263 ストームヴィル騎士の胴鎧

0264
0265 竜のそれを模した右肩の捻じれ角は
0266 禁じられた信仰、竜餐の印である

0267 </text>
0268 <text id="200200">戦と潮風に傷んだ
0269 ストームヴィル騎士の手甲

0270
0271 呪い除けの意味を持つ
```

```
0441 陰謀の夜の実行犯たる刺客たちは
0442 すべて女性であり、一説には
0443 マリカに近い稀人であったという
0444 </text>
0445 <text id="180200">黒き刃の刺客たちの手甲
0446 音を立てぬスケイルアーマー
0447
0448 陰謀の夜の実行犯たる刺客たちは
0449 すべて女性であり、一説には
0450 マリカに近い稀人であったという
0451 </text>
0452 <text id="180300">黒き刃の刺客たちの足甲
0453 音を立てぬスケイルアーマー
0454
0455 陰謀の夜の実行犯たる刺客たちは
0456 すべて女性であり、一説には
0457 マリカに近い稀人であったという
0458 </text>
0459 <text id="181100">黒き刃の刺客たちの胴鎧
0460 音を立てぬスケイルアーマー
0461
0462 陰謀の夜の実行犯たる刺客たちは
0463 すべて女性であり、一説には
0464 マリカに近い稀人であったという
0465 </text>

0466 <text id="190000">頭部を覆い隠すえんじ色のフード
0467 流刑地に送られた兵たちが被るもの
0468
0469 彼らは、顔を晒すことを許されなかった
0470 </text>
0471 <text id="190100">傷んだ胴鎧を、えんじ色の大布で覆ったもの
0472 流刑地に送られた兵たちの鎧
0473 </text>
0474 <text id="190200">傷んだ鉄の手甲
0475 流刑地に送られた兵たちの鎧
0476 </text>
0477 <text id="190300">傷んだ鉄の足甲
0478 流刑地に送られた兵たちの鎧
0479 </text>
0480 <text id="200000">全身を覆う重厚な全身鎧
0481 何らかの理由、あるいは咎で
0482 故郷を失くした失地騎士たちの兜
0483
0484 えんじ色のストールは、風除けであろうか
0485 辺境の風は、身に染みて冷たい
0486 </text>
0487 <text id="200100">全身を覆う重厚な全身鎧
0488 何らかの理由、あるいは咎で
0489 故郷を失くした失地騎士たちの胴鎧
0490
0491 彼らは、いずれも一騎当千の猛者である
0492 だからこそ、失地してなお騎士に叙されたのだ
0493 </text>
0494 <text id="200200">全身を覆う重厚な全身鎧
0495 何らかの理由、あるいは咎で
0496 故郷を失くした失地騎士たちの手甲
0497
0498 彼らは、いずれも一騎当千の猛者である
0499 だからこそ、失地してなお騎士に叙されたのだ
0500 </text>
0501 <text id="200300">全身を覆う重厚な全身鎧
0502 何らかの理由、あるいは咎で
0503 故郷を失くした失地騎士たちの足甲
0504
0505 彼らは、いずれも一騎当千の猛者である
0506 だからこそ、失地してなお騎士に叙されたのだ
0507 </text>
0508 <text id="201000">全身を覆う重厚な全身鎧
0509 何らかの理由、あるいは咎で
0510 故郷を失くした失地騎士たちの兜
0511
0512 彼らは、いずれも一騎当千の猛者である
0513 だからこそ、失地してなお騎士に叙されたのだ
0514 </text>
0515 <text id="201100">全身を覆う重厚な全身鎧
0516 何らかの理由、あるいは咎で
0517 故郷を失くした失地騎士たちの胴鎧
0518
0519 彼らは、いずれも一騎当千の猛者である
0520 だからこそ、失地してなお騎士に叙されたのだ
0521 </text>
0522 <text id="210000">壊れかけの、異国の鉄兜
0523 鉄茨のエレメールの装備
0524
0525 巻き付けられた、錆びた鉄茨は
0526 咎人、特に死刑囚であることを示し
0527 ローリングによりダメージを与える
0528
0529 エレメールは、数多の師範、商人たちを殺し
0530 鈴玉狩りとして恐れられた
0531 </text>
0532 <text id="210100">壊れかけの、異国の鉄鎧
0533 鉄茨のエレメールの装備
0534
0535 巻き付けられた、錆びた鉄茨は
0536 咎人、特に死刑囚であることを示し
0537 ローリングによりダメージを与える
0538
0539 エレメールは、数多の師範、商人たちを殺し
0540 鈴玉狩りとして恐れられた
0541 </text>
0542 <text id="210200">壊れかけの、異国の手甲
0543 鉄茨のエレメールの装備
0544
0545 巻き付けられた、錆びた鉄茨は
```

0272 茨の草紋が刻まれている

0273 </text>

0274 <text id="200300">戦と潮風に傷んだ

0275 ストームヴィル騎士の足甲

0276

0277 呪い除けの意味を持つ

0278 茨の草紋が刻まれている

0279 </text>

0280 <text id="201000">ストームヴィル騎士の兜

0281

0282 かつて、嵐の巣を探す者たちは

0283 王都を遠く離れ、ストームヴィルにたどり着いた

0284 騎士たちはその末裔である

0285

0286 嵐の巣には竜が潜み、偉大な墓を守るとい

0287 </text>

0288 <text id="201100">ストームヴィル騎士の鎧

0289

0290 かつて、嵐の巣を探す者たちは

0291 王都を遠く離れ、ストームヴィルにたどり着いた

0292 騎士たちはその末裔である

0293 </text>

0294 <text id="210000">禿鷹の騎士が用いる兜</text>

0295 <text id="210100">禿鷹の騎士が用いる胴鎧</text>

0296 <text id="210200">禿鷹の騎士が用いる手甲</text>

0297 <text id="210300">禿鷹の騎士が用いる足甲</text>

0298 <text id="211100">禿鷹の騎士が用いる鎧</text>

0299 <text id="220000">布簾で顔を隠すフード

0300 貴族に仕える小姓たちの装束

0301

0302 貴族の家に生まれ、だが生来体の小さな者は

0303 黄金樹の祝福が薄いとされ、小姓となった

0304 中には、才に優れた者も多かったとい

0305 </text>

0306 <text id="220100">上質の厚布で作られた上着

0307 貴族に仕える小姓たちの装束

0308

0309 貴族の家に生まれ、だが生来体の小さな者は

0310 黄金樹の祝福が薄いとされ、小姓となった

0311 中には、才に優れた者も多かったとい

0312 </text>

0313 <text id="220300">厚布で作られたズボン

0314 貴族に仕える小姓たちの装束

0315

0316 貴族の家に生まれ、だが生来体の小さな者は

0317 黄金樹の祝福が薄いとされ、小姓となった

0318 中には、才に優れた者も多かったとい

0319 </text>

0320 <text id="221100">厚布で作られた上衣

0321 貴族に仕える小姓たちの装束

0322

0323 貴族の家に生まれ、だが生来体の小さな者は

0324 黄金樹の祝福が薄いとされ、小姓となった

0325 中には、才に優れた者も多かったとい

0326 </text>

0327 <text id="230000">忌み鬼の手と呼ばれる、不吉な騎士たちの兜

0328 黒ずんで変色し、血痕がこびり付いている

0329

0330 黒布の葬送馬に跨り、影のように神出鬼没で

0331 破碎戦争の英雄たちを付け狙ったとい

0332 </text>

0333 <text id="230100">忌み鬼の手と呼ばれる、不吉な騎士たちの胴鎧

0334 黒ずんで変色し、血痕がこびり付いている

0335

0336 黒布の葬送馬に跨り、影のように神出鬼没で

0337 破碎戦争の英雄たちを付け狙ったとい

0338 </text>

0339 <text id="230200">忌み鬼の手と呼ばれる、不吉な騎士たちの手甲

0340 黒ずんで変色し、血痕がこびり付いている

0341

0342 黒布の葬送馬に跨り、影のように神出鬼没で

0343 破碎戦争の英雄たちを付け狙ったとい

0344 </text>

0345 <text id="230300">忌み鬼の手と呼ばれる、不吉な騎士たちの足甲

0346 黒ずんで変色し、血痕がこびり付いている

0347

0348 黒布の葬送馬に跨り、影のように神出鬼没で

0349 破碎戦争の英雄たちを付け狙ったとい

0350 </text>

0351 <text id="231000">忌み鬼の手と呼ばれる、不吉な騎士たちの軽兜

0352 黒ずんで変色し、血痕がこびり付いている

0353

0354 黒布の葬送馬に跨り、影のように神出鬼没で

0355 破碎戦争の英雄たちを付け狙ったとい

0356 </text>

0357 <text id="231100">忌み鬼の手と呼ばれる、不吉な騎士たちの鎧

0358 黒ずんで変色し、血痕がこびり付いている

0359

0360 黒布の葬送馬に跨り、影のように神出鬼没で

0361 破碎戦争の英雄たちを付け狙ったとい

0362 </text>

0363 <text id="240000">銀の子供たちと呼ばれる人造生命

0364 その女性体の纏うフード

0365

0366 母物質たる銀の鋼線で編まれたそれは

0367 唯一、彼女たちの肌を侵すことがない

0546 咎人、特に死刑囚であることを示し

0547 ローリングによりダメージを与える

0548

0549 エレメールは、数多の師範、商人たちを殺し

0550 鈴玉狩りとして恐れられた

0551 </text>

0552 <text id="210300">壊れかけの、異国の足甲

0553 鉄茨のエレメールの装備

0554

0555 巻き付けられた、錆びた鉄茨は

0556 咎人、特に死刑囚であることを示し

0557 ローリングによりダメージを与える

0558

0559 エレメールは、数多の師範、商人たちを殺し

0560 鈴玉狩りとして恐れられた

0561 </text>

0562 <text id="211100">壊れかけの、異国の鉄鎧

0563 鉄茨のエレメールの装備

0564

0565 巻き付けられた、錆びた鉄茨は

0566 咎人、特に死刑囚であることを示し

0567 ローリングによりダメージを与える

0568

0569 エレメールは、数多の師範、商人たちを殺し

0570 鈴玉狩りとして恐れられた

0571 </text>

0572 <text id="220000">貴人に仕え、主を守る小姓たちのフード

0573

0574 ずた袋のようなそれは、名も無き者の証である

0575 </text>

0576 <text id="220100">貴人に仕え、主を守る小姓たちの服

0577

0578 従者として恥ずかしいことの無いよう

0579 上質に仕立てられた旅装

0580 </text>

0581 <text id="220300">貴人に仕え、主を守る小姓たちのズボン

0582

0583 従者として恥ずかしいことの無いよう

0584 上質に仕立てられた旅装

0585 </text>

0586 <text id="221100">貴人に仕え、主を守る小姓たちの服

0587

0588 従者として恥ずかしいことの無いよう

0589 上質に仕立てられた旅装

0590 </text>

0591 <text id="230000">黒髪をなびかせた、漆黒の兜

0592 葬送の馬に跨った、夜の騎兵たちの装備

0593

0594 夜の街道をさまよう騎兵たちは

0595 かつては、忌み鬼に率いられた

0596 あらゆる戦士、騎士、そして英雄の死神である

0597 </text>

0598 <text id="230100">うっすらと血のこびり付いた、漆黒の鎧

0599 葬送の馬に跨った、夜の騎兵たちの装備

0600

0601 夜の街道をさまよう騎兵たちは

0602 かつては、忌み鬼に率いられた

0603 あらゆる戦士、騎士、そして英雄の死神である

0604 </text>

0605 <text id="230200">うっすらと血のこびり付いた、漆黒の手甲

0606 葬送の馬に跨った、夜の騎兵たちの装備

0607

0608 夜の街道をさまよう騎兵たちは

0609 かつては、忌み鬼に率いられた

0610 あらゆる戦士、騎士、そして英雄の死神である

0611 </text>

0612 <text id="230300">うっすらと血のこびり付いた、漆黒の足甲

0613 葬送の馬に跨った、夜の騎兵たちの装備

0614

0615 夜の街道をさまよう騎兵たちは

0616 かつては、忌み鬼に率いられた

0617 あらゆる戦士、騎士、そして英雄の死神である

0618 </text>

0619 <text id="231000">うっすらと血のこびり付いた、漆黒の兜

0620 葬送の馬に跨った、夜の騎兵たちの装備

0621

0622 夜の街道をさまよう騎兵たちは

0623 かつては、忌み鬼に率いられた

0624 あらゆる戦士、騎士、そして英雄の死神である

0625 </text>

0626 <text id="231100">うっすらと血のこびり付いた、漆黒の鎧

0627 葬送の馬に跨った、夜の騎兵たちの装備

0628

0629 夜の街道をさまよう騎兵たちは

0630 かつては、忌み鬼に率いられた

0631 あらゆる戦士、騎士、そして英雄の死神である

0632 </text>

0633 <text id="240000">蒼銀で編まれた、鎖かたびらのフード

0634 狼の背に乗る、しろがねの射手たちの装備

0635

0636 蒼銀は、彼女たちと同じ母から生じた金属であり

0637 魔力と冷気に対して耐性がある

0638 </text>

0639 <text id="240100">蒼銀で編まれた、鎖かたびらの鎧

0640 狼の背に乗る、しろがねの射手たちの装備

0641

0642 蒼銀は、彼女たちと同じ母から生じた金属であり

0643 魔力と冷気に対して耐性がある

0644 </text>

0645 <text id="240200">蒼銀で作られた腕輪

0646 狼の背に乗る、しろがねの射手たちの装備

0647

0369 レアルカリアの地で造られた彼女たちは
0370 後にミケラに従い、囲いの塔に向かったという
0371 </text>
0372 <text id="240100">銀の子供たちと呼ばれる人造生命
0373 その女性体の纏う胴鎧
0374
0375 母物質たる銀の鋼線で編まれたそれは
0376 唯一、彼女たちの肌を侵すことがない
0377
0378 レアルカリアの地で造られた彼女たちは
0379 後にミケラに従い、囲いの塔に向かったという
0380 </text>
0381 <text id="240200">銀の子供たちと呼ばれる人造生命
0382 その女性体の纏う腕輪
0383
0384 母物質たる銀で作られたそれは
0385 唯一、彼女たちの肌を侵すことがない
0386
0387 レアルカリアの地で造られた彼女たちは
0388 後にミケラに従い、囲いの塔に向かったという
0389 </text>
0390 <text id="240300">銀の子供たちと呼ばれる人造生命
0391 その女性体の纏うスカート
0392
0393 母物質たる銀の鋼線で編まれたそれは
0394 唯一、彼女たちの肌を侵すことがない
0395
0396 レアルカリアの地で造られた彼女たちは
0397 後にミケラに従い、囲いの塔に向かったという
0398 </text>
0399 <text id="241100">銀の子供たちと呼ばれる人造生命
0400 その女性体の纏う鎧
0401
0402 母物質たる銀の鋼線で編まれたそれは
0403 唯一、彼女たちの肌を侵すことがない
0404
0405 レアルカリアの地で造られた彼女たちは
0406 後にミケラに従い、囲いの塔に向かったという
0407 </text>
0408 <text id="250000">放浪の行商人、カーレの帽子</text>
0409 <text id="250100">放浪の行商人、カーレのマント</text>
0410 <text id="250300">放浪の行商人、カーレのスボン</text>
0411 <text id="251100">放浪の行商人、カーレのベスト</text>
0412 <text id="260000">異形異端のツリーガード
0413 ナールドの歪な黄金兜
0414
0415 彼は王都竜信仰の信者であったが
0416 やがて狂信に至り、黄金の鎧を素手で潰し
0417 血と共に竜の諸相を散りばめたという
0418 </text>
0419 <text id="260100">異形異端のツリーガード
0420 ナールドの歪な黄金鎧
0421
0422 彼は王都竜信仰の信者であったが
0423 やがて狂信に至り、黄金の鎧を素手で潰し
0424 血と共に竜の諸相を散りばめたという
0425 </text>
0426 <text id="260200">異形異端のツリーガード
0427 ナールドの歪な黄金手甲
0428
0429 彼は王都竜信仰の信者であったが
0430 やがて狂信に至り、黄金の鎧を素手で潰し
0431 血と共に竜の諸相を散りばめたという
0432 </text>
0433 <text id="260300">異形異端のツリーガード
0434 ナールドの歪な黄金足甲
0435
0436 彼は王都竜信仰の信者であったが
0437 やがて狂信に至り、黄金の鎧を素手で潰し
0438 血と共に竜の諸相を散りばめたという
0439 </text>
0440 <text id="270000">黄金樹に仕える重騎士
0441 ツリーガードの黄金の兜
0442
0443 黄金の樹冠はひと際大きく
0444 それが許される者は稀であった
0445 </text>
0446 <text id="270100">黄金樹に仕える重騎士
0447 ツリーガードの黄金の胴鎧
0448 樹紋のマントを纏っている
0449
0450 恐ろしく重厚だが、強固であり
0451 かつての祝福がまだ残っている
0452 </text>
0453 <text id="270200">黄金樹に仕える重騎士
0454 ツリーガードの黄金の手甲
0455
0456 恐ろしく重厚だが、強固であり
0457 かつての祝福がまだ残っている
0458 </text>
0459 <text id="270300">黄金樹に仕える重騎士
0460 ツリーガードの黄金の足甲
0461
0462 恐ろしく重厚だが、強固であり
0463 かつての祝福がまだ残っている

0648 蒼銀は、彼女たちと同じ母から生じた金属であり
0649 魔力と冷気に対して耐性がある
0650 </text>
0651 <text id="240300">蒼銀で編まれた、鎖かたびらのスカート
0652 狼の背に乗る、しろがねの射手たちの装備
0653
0654 蒼銀は、彼女たちと同じ母から生じた金属であり
0655 魔力と冷気に対して耐性がある
0656 </text>
0657 <text id="241100">蒼銀で編まれた、鎖かたびらの鎧
0658 狼の背に乗る、しろがねの射手たちの装備
0659
0660 蒼銀は、彼女たちと同じ母から生じた金属であり
0661 魔力と冷気に対して耐性がある
0662 </text>
0663 <text id="250000">放浪の民の商人の帽子
0664 色とりどりの、小さな宝石で飾られている
0665
0666 かつて、大隊商として栄えた商人たちは
0667 異教の疑いにより、一族郎党捕らえられ
0668 地下深くに生き埋めとなった
0669
0670 そして彼らは、絶望の呪詛を唱え
0671 狂い火を呼んだ
0672 </text>
0673 <text id="250100">放浪の民の商人の装束
0674 色とりどりの、小さな宝石で飾られている
0675
0676 かつて、大隊商として栄えた商人たちは
0677 異教の疑いにより、一族郎党捕らえられ
0678 地下深くに生き埋めとなった
0679
0680 そして彼らは、絶望の呪詛を唱え
0681 狂い火を呼んだ
0682 </text>
0683 <text id="250300">放浪の民の商人のスボン
0684
0685 かつて、大隊商として栄えた商人たちは
0686 異教の疑いにより、一族郎党捕らえられ
0687 地下深くに生き埋めとなった
0688
0689 そして彼らは、絶望の呪詛を唱え
0690 狂い火を呼んだ
0691 </text>
0692 <text id="251100">放浪の民の商人の装束
0693 色とりどりの、小さな宝石で飾られている
0694
0695 かつて、大隊商として栄えた商人たちは
0696 異教の疑いにより、一族郎党捕らえられ
0697 地下深くに生き埋めとなった
0698
0699 そして彼らは、絶望の呪詛を唱え
0700 狂い火を呼んだ
0701 </text>
0702 <text id="260000">黄金で作られた歪な兜
0703 竜の諸相が散りばめられた
0704 異形のツリーガードの装備
0705
0706 大古竜の襲来の後、彼らは悟った
0707 黄金樹を護り続けたいのなら
0708 自らが、竜になる他ないのだと
0709 </text>
0710 <text id="260100">黄金で作られた歪な鎧
0711 竜の諸相が散りばめられた
0712 異形のツリーガードの装備
0713
0714 大古竜の襲来の後、彼らは悟った
0715 黄金樹を護り続けたいのなら
0716 自らが、竜になる他ないのだと
0717 </text>
0718 <text id="260200">黄金で作られた歪な手甲
0719 竜の諸相が散りばめられた
0720 異形のツリーガードの装備
0721
0722 大古竜の襲来の後、彼らは悟った
0723 黄金樹を護り続けたいのなら
0724 自らが、竜になる他ないのだと
0725 </text>
0726 <text id="260300">黄金で作られた歪な足甲
0727 竜の諸相が散りばめられた
0728 異形のツリーガードの装備
0729
0730 大古竜の襲来の後、彼らは悟った
0731 黄金樹を護り続けたいのなら
0732 自らが、竜になる他ないのだと
0733 </text>
0734 <text id="270000">黄金樹に仕える重騎士
0735 ツリーガードの黄金の兜
0736
0737 黄金の樹冠はひと際大きく
0738 それが許される者は稀であった
0739 </text>
0740 <text id="270100">黄金樹に仕える重騎士
0741 ツリーガードの黄金の胴鎧
0742 樹紋のマントを纏っている
0743
0744 恐ろしく重厚だが、強固であり
0745 かつての祝福がまだ残っている
0746 </text>
0747 <text id="270200">黄金樹に仕える重騎士
0748 ツリーガードの黄金の手甲
0749
0750 恐ろしく重厚だが、強固であり
0751 かつての祝福がまだ残っている
0752 </text>
0753 <text id="270300">黄金樹に仕える重騎士
0754 ツリーガードの黄金の足甲
0755
0756 恐ろしく重厚だが、強固であり
0757 かつての祝福がまだ残っている

0464 </text>
0465 <text id="271100">黄金樹に仕える重騎士
0466 ツリーガードの黄金の胴鎧

0467 </text>
0468 <text id="280000">神の子ミケラの聖樹に仕えた
0469 アーバーガードの銀鉄の兜
0470 大輪の樹冠を戴いている
0471
0472 彼らは皆レアルカリアの出身であり
0473 王配ラダゴンが、幻視を得たミケラに贈った
0474 カーリア王家直属の魔術騎士である
0475 </text>
0476 <text id="280100">神の子ミケラの聖樹に仕えた
0477 アーバーガードの銀鉄の胴鎧
0478
0479 彼らは皆レアルカリアの出身であり
0480 王配ラダゴンが、幻視を得たミケラに贈った
0481 カーリア王家直属の魔術騎士である

0482
0483 瑠璃青のマントは、その象徴なのだ

0484 </text>
0485 <text id="280200">神の子ミケラの聖樹に仕えた
0486 アーバーガードの銀鉄の手甲
0487
0488 彼らは皆レアルカリアの出身であり
0489 王配ラダゴンが、幻視を得たミケラに贈った
0490 カーリア王家直属の魔術騎士である
0491 </text>
0492 <text id="280300">神の子ミケラの聖樹に仕えた
0493 アーバーガードの銀鉄の足甲
0494
0495 彼らは皆レアルカリアの出身であり
0496 王配ラダゴンが、幻視を得たミケラに贈った
0497 カーリア王家直属の魔術騎士である
0498 </text>
0499 <text id="281100">神の子ミケラの聖樹に仕えた
0500 アーバーガードの銀鉄の鎧
0501
0502 彼らは皆レアルカリアの出身であり
0503 王配ラダゴンが、幻視を得たミケラに贈った
0504 カーリア王家直属の魔術騎士である

0505 </text>
0506 <text id="290000">神人の一族が用いるフード</text>
0507 <text id="290100">神人の一族が用いる鎧</text>
0508 <text id="290200">神人の一族が用いる腕輪</text>
0509 <text id="290300">神人の一族が用いる腰巻き</text>
0510 <text id="291000">神人の一族が用いる頭布</text>
0511 <text id="291100">神人の一族が用いるベスト</text>
0512 <text id="292000">神人の一族が用いる頭冠</text>
0513 <text id="292100">神人の一族が用いるローブ</text>
0514 <text id="293000">神人の一族が用いる頭冠</text>
0515 <text id="293100">神人の一族が用いる上衣</text>
0516 <text id="294000">神人の一族が用いる頭冠</text>
0517 <text id="294100">神人の一族が用いる上衣</text>
0518 <text id="300000">反り返る大角の頭環
0519 シシ霊の信仰者たちの装束
0520
0521 彼らは霊的な死を求めており
0522 金属と、それに連なる文明を拒否している

0523 </text>
0524 <text id="300100">剛毛の毛皮を加工した上着
0525 シシ霊の信仰者たちの装束
0526
0527 彼らは霊的な死を求めており
0528 金属と、それに連なる文明を拒否している

0529 </text>
0530 <text id="300300">剛毛の毛皮を加工した脚絆
0531 シシ霊の信仰者たちの装束
0532
0533 彼らは霊的な死を求めており
0534 金属と、それに連なる文明を拒否している

0758 </text>
0759 <text id="271100">黄金樹に仕える重騎士
0760 ツリーガードの黄金の胴鎧
0761
0762 恐ろしく重厚だが、強固であり
0763 かつての祝福がまだ残っている
0764 </text>
0765 <text id="280000">ミケラの聖樹に仕えた騎士
0766 ローレッタの銀鉄の兜

0767
0768 かつて、カーリアの親衛騎士であった彼女は
0769 しろがねの安住の地を探し求め、旅に出た
0770 そして聖樹の未来に、それを託したのだ
0771 </text>
0772 <text id="280100">ミケラの聖樹に仕えた騎士
0773 ローレッタの銀鉄の胴鎧
0774
0775 彼女は、かつてカーリアの親衛騎士であり
0776 今でもその誇りを忘れてはない
0777 瑠璃青のマントは、その象徴であろう
0778 </text>
0779 <text id="280200">ミケラの聖樹に仕えた騎士
0780 ローレッタの銀鉄の手甲
0781
0782 かつて、カーリアの親衛騎士であった彼女は
0783 しろがねの安住の地を探し求め、旅に出た
0784 そして聖樹の未来に、それを託したのだ
0785 </text>
0786 <text id="280300">ミケラの聖樹に仕えた騎士
0787 ローレッタの銀鉄の足甲
0788
0789 かつて、カーリアの親衛騎士であった彼女は
0790 しろがねの安住の地を探し求め、旅に出た
0791 そして聖樹の未来に、それを託したのだ
0792 </text>
0793 <text id="281100">ミケラの聖樹に仕えた騎士
0794 ローレッタの銀鉄の胴鎧
0795
0796 かつて、カーリアの親衛騎士であった彼女は
0797 しろがねの安住の地を探し求め、旅に出た
0798 そして聖樹の未来に、それを託したのだ
0799 </text>
0800 <text id="290000">永遠の都の僧たちの絹のフード

0801
0802 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0803 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0804 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0805 王を。星の世紀、夜の王を
0806 </text>
0807 <text id="290100">永遠の都の僧たちの胴鎧
0808 絹のマントを纏っている

0809
0810 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0811 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0812 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0813 王を。星の世紀、夜の王を
0814 </text>
0815 <text id="290200">永遠の都の僧たちの腕輪

0816
0817 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0818 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0819 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0820 王を。星の世紀、夜の王を
0821 </text>
0822 <text id="290300">永遠の都の僧たちの足甲

0823
0824 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0825 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0826 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0827 王を。星の世紀、夜の王を
0828 </text>
0829 <text id="291000">永遠の都の僧たちのフード
0830
0831 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0832 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0833 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0834 王を。星の世紀、夜の王を
0835 </text>
0836 <text id="291100">永遠の都の僧たちの胴鎧
0837
0838 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0839 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0840 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0841 王を。星の世紀、夜の王を
0842 </text>
0843 <text id="292000">永遠の都の剣士たちの冠
0844 彼女たちは、夜巫女の衛士であり
0845 絹でその瞳を隠している
0846
0847 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0848 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0849 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0850 王を。星の世紀、夜の王を
0851 </text>
0852 <text id="292100">永遠の都の剣士たちの胴鎧
0853 彼女たちは、夜巫女の衛士であり
0854 絹のマントを纏っている
0855
0856 太古、大いなる意志の怒りに触れ

0535 </text>
0536 <text id="301000">一対の光角を飾った頭冠
0537 祖霊の民の、祭司の装束
0538
0539 芽吹きがあり、特にそれが光る角は
0540 祖霊に最も近い、特別な祭具である
0541 </text>
0542 <text id="301100">剛毛の毛皮を加工した服
0543 祖霊の民の、祭司の装束
0544
0545 黄金樹から距離を置く、祖霊の民は
0546 新たな芽吹きを待ち続けている
0547 自らの身体に。そして魂に
0548 </text>
0549 <text id="301300">剛毛の毛皮を巻き付けた脚絆
0550 祖霊の民の、祭司の装束
0551
0552 黄金樹から距離を置く、祖霊の民は
0553 新たな芽吹きを待ち続けている
0554 自らの身体に。そして魂に
0555 </text>
0556 <text id="310000">かつて闘技場で戦いをひさいだ
0557 剣闘士たちの青銅の兜
0558
0559 大量の蛇はこけおどしであり
0560 聖性なき戦いの証である
0561 蛇は神の反逆者なのだ
0562 </text>
0563 <text id="310100">かつて闘技場で戦いをひさいだ
0564 剣闘士たちが纏った、毛皮のマント
0565 </text>
0566 <text id="310300">かつて闘技場で戦いをひさいだ
0567 剣闘士たちの青銅の脚輪
0568
0569 絡みつく蛇を模した装飾具は
0570 聖性なき戦いの証である
0571 蛇は神の反逆者なのだ
0572 </text>
0573 <text id="311100">かつて闘技場で戦いをひさいだ
0574 剣闘士たちの上衣</text>
0575 <text id="320000">黒染めの布に金の刺繍が施されたフード
0576 血の君主と呼ばれる何者かに、仕える者たちの装束
0577
0578 彼らは、血溜まりから忍び寄る暗殺者であり
0579 おぞましい陰謀の先鋒であるという
0580 </text>
0581 <text id="320100">黒染めの布に金の刺繍が施されたローブ
0582 血の君主と呼ばれる何者かに、仕える者たちの装束

0857 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0858 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0859 王を。星の世紀、夜の王を
0860 </text>
0861 <text id="293000">永遠の都の夜巫女たちの双冠
0862 それは、最高位の聖職たる証であり
0863 絹でその瞳を隠している
0864
0865 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0866 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0867 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0868 王を。星の世紀、夜の王を
0869 </text>
0870 <text id="293100">永遠の都の夜巫女たちの胴鎧
0871 それは、最高位の聖職たる証であり
0872 絹のマントを纏っている
0873
0874 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0875 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0876 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0877 王を。星の世紀、夜の王を
0878 </text>
0879 <text id="294000">永遠の都の剣士たちの冠
0880 絹の目隠しを外したそれは
0881 本来許されるものではない
0882
0883 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0884 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0885 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0886 王を。星の世紀、夜の王を
0887 </text>
0888 <text id="294100">永遠の都の剣士たちの胴鎧
0889 彼女たちは、夜巫女の衛士である
0890
0891 太古、大いなる意志の怒りに触れ
0892 地下深くに滅ぼされた、ノクスの民は
0893 偽りの夜空を戴き、永遠に待っている
0894 王を。星の世紀、夜の王を
0895 </text>
0896 <text id="300000">一対の大角を飾った頭冠
0897 祖霊の民の、戦士の装束
0898
0899 黄金樹から距離を置く、祖霊の民は
0900 新たな芽吹きを待ち続けている
0901 自らの身体に。そして魂に
0902 </text>
0903 <text id="300100">剛毛の毛皮を加工した服
0904 祖霊の民の、戦士の装束
0905
0906 黄金樹から距離を置く、祖霊の民は
0907 新たな芽吹きを待ち続けている
0908 自らの身体に。そして魂に
0909 </text>
0910 <text id="300300">剛毛の毛皮を巻き付けた脚絆
0911 祖霊の民の、戦士の装束
0912
0913 黄金樹から距離を置く、祖霊の民は
0914 新たな芽吹きを待ち続けている
0915 自らの身体に。そして魂に
0916 </text>
0917 <text id="301000">一対の光角を飾った頭冠
0918 祖霊の民の、祭司の装束
0919
0920 芽吹きがあり、特にそれが光る角は
0921 祖霊に最も近い、特別な祭具であり
0922 「幼祖霊の頭」を強化する
0923 </text>
0924 <text id="301100">剛毛の毛皮を加工した服
0925 祖霊の民の、祭司の装束
0926
0927 黄金樹から距離を置く、祖霊の民は
0928 新たな芽吹きを待ち続けている
0929 自らの身体に。そして魂に
0930 </text>
0931 <text id="301300">剛毛の毛皮を巻き付けた脚絆
0932 祖霊の民の、祭司の装束
0933
0934 黄金樹から距離を置く、祖霊の民は
0935 新たな芽吹きを待ち続けている
0936 自らの身体に。そして魂に
0937 </text>
0938 <text id="310000">大量の蛇で飾られた青銅の兜
0939 闘技場を追われた、闘士たちの装備
0940 少々、敵に狙われやすくなる
0941
0942 蛇は、黄金樹の反逆者であるとされ
0943 人々は、その傷つく様を喜んだ
0944 </text>
0945 <text id="310100">ゴワゴワとした厚手のマント
0946 地下の墓守の証
0947
0948 かつて、闘いをひさいだ者たちは
0949 闘技場を追われ、還樹の番人となった
0950 </text>
0951 <text id="310300">青銅の蛇が巻き付いた足甲
0952 闘技場を追われた、闘士たちの装備
0953 少々、敵に狙われやすくなる
0954
0955 蛇は、黄金樹の反逆者であるとされ
0956 人々は、その傷つく様を喜んだ
0957 </text>
0958 <text id="311100">青銅の蛇が巻き付いた防具
0959 闘技場を追われた、闘士たちの装備
0960 少々、敵に狙われやすくなる
0961
0962 蛇は、黄金樹の反逆者であるとされ
0963 人々は、その傷つく様を喜んだ
0964 </text>
0965 <text id="320000">黒布に金の刺繍が施されたフード
0966 血の君主に仕える貴族たちの装束
0967
0968 彼らは、血溜まりから忍び寄る凶刃であり

0583
0584 金模様の豪華な肩当ては
0585 来るべき王朝における、貴族の印であるという
0586 </text>
0587 <text id="320300">黒染めの布で作られた腰巻き
0588 血の君主と呼ばれる何者かに、仕える者たちの装束
0589
0590 彼らは、血溜まりから忍び寄り暗殺者であり
0591 おぞましい陰謀の先鋒であるという
0592 </text>
0593 <text id="330000">腐敗した豊穡の民が身に着ける仮面</text>
0594 <text id="330100">腐敗した豊穡の民が身に着ける花鎧</text>
0595 <text id="330200">腐敗した豊穡の民が身に着ける手甲</text>
0596 <text id="330300">腐敗した豊穡の民が身に着ける足甲</text>
0597 <text id="331100">腐敗した豊穡の民が身に着けるベスト</text>
0598 <text id="340000">赤の女王マレニアに仕えた
0599 翼の騎士たちの兜
0600
0601 破碎戦争にて最強を謳われた騎士たちは
0602 将軍ラダーンとの大戦を腐りながら戦い
0603 やがて、朽ち果て倒れたという
0604
0605 蔓延る菌糸は、その名残であろう
0606 兜自体が腐っているのだ
0607 </text>
0608 <text id="340100">赤の女王マレニアに仕えた
0609 翼の騎士たちの胴鎧
0610
0611 破碎戦争にて最強を謳われた騎士たちは
0612 将軍ラダーンとの大戦を腐りながら戦い
0613 やがて、朽ち果て倒れたという
0614
0615 蔓延る菌糸は、その名残であろう
0616 胴鎧自体が腐っているのだ
0617
0618 </text>
0619 <text id="340200">赤の女王マレニアに仕えた
0620 翼の騎士たちの手甲
0621
0622 破碎戦争にて最強を謳われた騎士たちは
0623 将軍ラダーンとの大戦を腐りながら戦い
0624 やがて、朽ち果て倒れたという
0625
0626 蔓延る菌糸は、その名残であろう
0627 手甲自体が腐っているのだ
0628 </text>
0629 <text id="340300">赤の女王マレニアに仕えた
0630 翼の騎士たちの足甲
0631
0632 破碎戦争にて最強を謳われた騎士たちは
0633 将軍ラダーンとの大戦を腐りながら戦い
0634 やがて、朽ち果て倒れたという
0635
0636 蔓延る菌糸は、その名残であろう
0637 足甲自体が腐っているのだ
0638
0639 </text>
0640 <text id="341000">赤の女王マレニアに仕えた
0641 翼の騎士たちの軽兜
0642
0643 破碎戦争にて最強を謳われた騎士たちは
0644 将軍ラダーンとの大戦を腐りながら戦い
0645 やがて、朽ち果て倒れたという
0646
0647 蔓延る菌糸は、その名残であろう
0648 軽兜自体が腐っているのだ
0649
0650 </text>
0651 <text id="341100">赤の女王マレニアに仕えた
0652 翼の騎士たちの鎧
0653
0654 破碎戦争にて最強を謳われた騎士たちは
0655 将軍ラダーンとの大戦を腐りながら戦い
0656 やがて、朽ち果て倒れたという
0657
0658 蔓延る菌糸は、その名残であろう
0659 胴鎧自体が腐っているのだ
0660
0661 </text>
0662 <text id="350000">火を模した頭環の上から
0663 黒鉄の鎖兜を被ったもの
0664
0665 火の僧兵たちの装束
0666
0667 火を祀り炎術を振るう、大柄な僧兵たちは
0668 古い巨人の末裔であると称している
0669
0670 </text>
0671 <text id="350100">赤衣を纏った黒鉄の胴鎧
火の僧兵たちの装束
0672
0673 胸当てに象られた異形の顔面は
0674 滅びの火を守る一つ目の鬼であるという
0675
0676 </text>
0677 <text id="350200">炎紋を象った黒鉄の手甲

0969 呪われた血を分け与える宣教師である
0970 </text>
0971 <text id="320100">黒布に金の刺繍が施されたローブ
0972 血の君主に仕える貴族たちの装束
0973
0974 金模様の豪華な肩当ては
0975 来るべき王朝における、貴族の印であるという
0976 </text>
0977 <text id="320300">黒布で作られた腰巻き
0978 血の君主に仕える貴族たちの装束
0979
0980 彼らは、血溜まりから忍び寄り凶刃であり
0981 呪われた血を分け与える宣教師である
0982 </text>
0983 <text id="330000">紋様の刻まれた黄金の仮面
0984 小黄金樹の守人たちの装備
0985
0986 彼らは、黄金樹との古い契約により
0987 死してなお滅びぬ、永遠の守人になったという
0988 </text>
0989 <text id="330100">紋様の刻まれた黄金の服
0990 小黄金樹の守人たちの装備
0991
0992 緋雲の聖杯瓶の回復量が高まるが
0993 炎カット率が大幅に低下してしまう
0994
0995 背中に咲いた血色の花は
0996 古い契約、その綻びであるという
0997 彼らはもう、半ば樹であるのかもしれない
0998 </text>
0999 <text id="330200">紋様の刻まれた黄金の手甲
1000 小黄金樹の守人たちの装備
1001
1002 彼らは、黄金樹との古い契約により
1003 死してなお滅びぬ、永遠の守人になったという
1004 </text>
1005 <text id="330300">紋様の刻まれた黄金の足甲
1006 小黄金樹の守人たちの装備
1007
1008 彼らは、黄金樹との古い契約により
1009 死してなお滅びぬ、永遠の守人になったという
1010 </text>
1011 <text id="331100">紋様の刻まれた黄金の服
1012 小黄金樹の守人たちの装備
1013
1014 彼らは、黄金樹との古い契約により
1015 死してなお滅びぬ、永遠の守人になったという
1016 </text>
1017 <text id="340000">破碎戦争において不敗を謳われた
1018 貴腐の騎士たちの翼の兜
1019
1020 彼らは、マレニアと共に戦うことを望み
1021 ゆっくりと腐りゆくを受け容れた
1022 故にこそ、その戦いは熾烈であった
1023 </text>
1024 <text id="340100">破碎戦争において不敗を謳われた
1025 貴腐の騎士たちの胴鎧
1026
1027 彼らは、マレニアと共に戦うことを望み
1028 ゆっくりと腐りゆくを受け容れた
1029 故にこそ、その戦いは熾烈であった
1030 </text>
1031 <text id="340200">破碎戦争において不敗を謳われた
1032 貴腐の騎士たちの手甲
1033
1034 彼らは、マレニアと共に戦うことを望み
1035 ゆっくりと腐りゆくを受け容れた
1036 故にこそ、その戦いは熾烈であった
1037 </text>
1038 <text id="340300">破碎戦争において不敗を謳われた
1039 貴腐の騎士たちの足甲
1040
1041 彼らは、マレニアと共に戦うことを望み
1042 ゆっくりと腐りゆくを受け容れた
1043 故にこそ、その戦いは熾烈であった
1044 </text>
1045 <text id="341000">破碎戦争において不敗を謳われた
1046 貴腐の騎士たちの翼の兜
1047
1048 彼らは、マレニアと共に戦うことを望み
1049 ゆっくりと腐りゆくを受け容れた
1050 故にこそ、その戦いは熾烈であった
1051 </text>
1052 <text id="341100">破碎戦争において不敗を謳われた
1053 貴腐の騎士たちの胴鎧
1054
1055 彼らは、マレニアと共に戦うことを望み
1056 ゆっくりと腐りゆくを受け容れた
1057 故にこそ、その戦いは熾烈であった
1058 </text>
1059 <text id="350000">炎姿の頭冠の上から、鎖兜を被ったもの
1060 火の僧兵たちの装束
1061
1062 巨人たちの山嶺にあるという
1063 黄金樹の禁忌たる、滅びの火
1064 彼らは、その監視者である
1065 </text>
1066 <text id="350100">赤衣を纏った黒鉄の胴鎧
1067 火の僧兵たちの装束
1068
1069 胸当てに象られた異形の面は
1070 古い火の悪神であるという
1071 禁忌は、恐れによって刷り込まれる
1072 </text>
1073 <text id="350200">炎姿を象った黒鉄の手甲

0672 火の僧兵たちの装束
0673
0674 火を祀り炎術を振るう、大柄な僧兵たちは
0675 古い巨人の末裔であると称している

0676 </text>
0677 <text id="350300">炎紋を象った黒鉄の足甲
0678 火の僧兵たちの装束
0679
0680 火を祀り炎術を振るう、大柄な僧兵たちは
0681 古い巨人の末裔であると称している

0682 </text>
0683 <text id="351000">火を模した頭環の上から
0684 白鉄の鎖兜を被ったもの
0685 神肌の僧兵たちの装束</text>
0686 <text id="351100">白衣を纏った白鉄の胸鎧
0687 神肌の僧兵たちの装束</text>
0688 <text id="351200">白衣を纏った白鉄の手甲
0689 神肌の僧兵たちの装束</text>
0690 <text id="351300">白衣を纏った白鉄の足甲
0691 神肌の僧兵たちの装束</text>
0692 <text id="360000">老賢を象った黒鉄の兜
0693 火の僧兵を束ねる、司教たちの装束
0694
0695 頭頂に乗る大釜は、本来は火種を宿し
0696 信仰の絶頂と共に滾り噴火するという
0697 だが、この大釜に火種は宿っていない

0698 </text>
0699 <text id="360100">赤衣を纏った黒鉄の胸鎧
0700 火の僧兵を束ねる、司教たちの装束
0701
0702 巨人の末裔を称する者たちは、巨軀を尊ぶ
0703 故に司教の胸鎧は、でっぴりと太っている

0704 </text>
0705 <text id="360200">炎紋を象った黒鉄の手甲
0706 火の僧兵を束ねる、司教たちの装束
0707
0708 彼らはかつて、滅びの火の監視者であったという
0709 だがいつしか、その揺らめきに魅入られたのだと

0710 </text>
0711 <text id="360300">炎紋を象った黒鉄の足甲
0712 火の僧兵を束ねる、司教たちの装束
0713
0714 彼らはかつて、滅びの火の監視者であったという
0715 だがいつしか、その揺らめきに魅入られたのだと

0716 </text>
0717 <text id="361100">黒鉄の胸鎧
0718 火の僧兵を束ねる、司教たちの装束
0719
0720 巨人の末裔を称する者たちは、巨軀を尊ぶ
0721 故に司教の胸鎧は、でっぴりと太っている

0722 </text>
0723 <text id="370000">金細工で彩られた頭環
0724 黄金樹の王都の、王民たちの旅装束
0725
0726 彼らは破碎戦争の後、穢れた故郷を棄て
0727 やがてさまよえる亡者となった
0728 死なぬだけの長生の果てに
0729 </text>
0730 <text id="370100">繊細な金刺繍で彩られた上質の服
0731 黄金樹の王都の、王民たちの旅装束
0732 ひどく色褪せ傷んでいる
0733
0734 彼らは破碎戦争の後、穢れた故郷を棄て
0735 やがてさまよえる亡者となった
0736 死なぬだけの長生の果てに
0737 </text>
0738 <text id="370300">厚手の革で作られた上質のブーツ
0739 黄金樹の王都の、王民たちの旅装束
0740 ひどく色褪せ傷んでいる
0741
0742 彼らは破碎戦争の後、穢れた故郷を棄て
0743 やがてさまよえる亡者となった
0744 死なぬだけの長生の果てに
0745 </text>
0746 <text id="371100">繊細な金刺繍で彩られた上質の服
0747 黄金樹の王都の、王民たちの旅装束
0748 ひどく色褪せ傷んでいる
0749
0750 彼らは破碎戦争の後、穢れた故郷を棄て
0751 やがてさまよえる亡者となった
0752 死なぬだけの長生の果てに

1074 火の僧兵たちの装束
1075
1076 巨人たちの山嶺にあるという
1077 黄金樹の禁忌たる、滅びの火
1078 彼らは、その監視者である
1079 </text>
1080 <text id="350300">炎姿を象った黒鉄の足甲
1081 火の僧兵たちの装束
1082
1083 巨人たちの山嶺にあるという
1084 黄金樹の禁忌たる、滅びの火
1085 彼らは、その監視者である
1086 </text>
1087 <text id="351000">炎姿の頭冠の上から、鎖兜を被ったもの
1088 黒炎の僧兵たちの装束

1089
1090 彼らは、神狩りの黒炎に魅入られ
1091 監視者たるを捨てた、裏切り者である
1092 禁忌とは、抗い難い誘惑なのだ
1093 </text>
1094 <text id="351100">灰衣を纏った黒鉄の胸鎧
1095 黒炎の僧兵たちの装束
1096
1097 彼らは、神狩りの黒炎に魅入られ
1098 監視者たるを捨てた、裏切り者である
1099 禁忌とは、抗い難い誘惑なのだ
1100 </text>
1101 <text id="351200">炎姿を象った黒鉄の手甲
1102 黒炎の僧兵たちの装束
1103
1104 彼らは、神狩りの黒炎に魅入られ
1105 監視者たるを捨てた、裏切り者である
1106 禁忌とは、抗い難い誘惑なのだ
1107 </text>
1108 <text id="351300">炎姿を象った黒鉄の足甲
1109 黒炎の僧兵たちの装束
1110
1111 彼らは、神狩りの黒炎に魅入られ
1112 監視者たるを捨てた、裏切り者である
1113 禁忌とは、抗い難い誘惑なのだ
1114 </text>
1115 <text id="360000">頭盔を乗せた、尊顔の兜
1116 火の僧兵たちの指導者たる、司教の装束
1117
1118 その頭盔には、本来火種が宿り
1119 信仰の滾りを大いに噴き上げるという
1120 だが、それはもう消えている
1121 </text>
1122 <text id="360100">赤衣を纏った黒鉄の胸鎧
1123 火の僧兵たちの指導者たる、司教の装束
1124
1125 でっぴりと太ったその姿は
1126 火の監視者の任、その重さの象徴である
1127 しかと心に刻むがよい。我が姿、重石たるを
1128 </text>
1129 <text id="360200">炎姿を象った黒鉄の手甲
1130 火の僧兵たちの指導者たる、司教の装束
1131
1132 でっぴりと太ったその姿は
1133 火の監視者の任、その重さの象徴である
1134 しかと心に刻むがよい。我が姿、重石たるを
1135 </text>
1136 <text id="360300">炎姿を象った黒鉄の足甲
1137 火の僧兵たちの指導者たる、司教の装束
1138
1139 でっぴりと太ったその姿は
1140 火の監視者の任、その重さの象徴である
1141 しかと心に刻むがよい。我が姿、重石たるを
1142 </text>
1143 <text id="361100">黒鉄の胸鎧
1144 火の僧兵たちの指導者たる、司教の装束
1145
1146 でっぴりと太ったその姿は
1147 火の監視者の任、その重さの象徴である
1148 しかと心に刻むがよい。我が姿、重石たるを
1149 </text>
1150 <text id="370000">金細工で彩られた高価な頭冠
1151 王都の貴人たちの旅装束
1152
1153 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1154 やがて、さまよえる亡者となった
1155 死なぬだけの長生の果てに
1156 </text>
1157 <text id="370100">金刺繍で彩られた上質の服
1158 王都の貴人たちの旅装束
1159 ひどく色褪せ傷んでいる
1160
1161 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1162 やがて、さまよえる亡者となった
1163 死なぬだけの長生の果てに
1164 </text>
1165 <text id="370300">なめし革で作られたブーツ
1166 王都の貴人たちの旅装束

1167
1168 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1169 やがて、さまよえる亡者となった
1170 死なぬだけの長生の果てに
1171 </text>
1172 <text id="371100">金刺繍で彩られた上質の服
1173 王都の貴人たちの旅装束
1174 ひどく色褪せ傷んでいる
1175
1176 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1177 やがて、さまよえる亡者となった
1178 死なぬだけの長生の果てに

1179 </text>
1180 <text id="380000">萎びた飾り羽のついた革の帽子
1181 王都の貴人たちの旅装束
1182 かつて、騎士に連なった家系のもの
1183 </text>
1184 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1185 やがて、さまよえる亡者となった
1186 死なぬだけの長生の果てに
1187 </text>
1188 <text id="380100">金刺繍で彩られたなめし革のコート
1189 王都の貴人たちの旅装束
1190 かつて、騎士に連なった家系のもの
1191 </text>
1192 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1193 やがて、さまよえる亡者となった
1194 死なぬだけの長生の果てに
1195 </text>
1196 <text id="390000">柔らかな布で作られた頭巾
1197 王都の貴人たちの旅装束
1198 特に年長者が身につけるもの
1199 </text>
1200 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1201 やがて、さまよえる亡者となった
1202 死なぬだけの長生の果てに
1203 </text>
1204 <text id="390100">金刺繍で彩られた柔らかな長衣
1205 王都の貴人たちの旅装束
1206 特に年長者が身につけるもの
1207 </text>
1208 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1209 やがて、さまよえる亡者となった
1210 死なぬだけの長生の果てに
1211 </text>
1212 <text id="390300">革づくりの丈夫な短靴
1213 王都の貴人たちの旅装束
1214 特に年長者が身につけるもの
1215 </text>
1216 破碎戦争の後、故郷を捨てた彼らは
1217 やがて、さまよえる亡者となった
1218 死なぬだけの長生の果てに
1219 </text>
1220 <text id="420000">薄汚れた、小柄な卑兵たちの兜
1221 </text>
1222 少しでも、その体軀を大きく見せるために
1223 頭頂が長く尖っている
1224 </text>
1225 <text id="420100">薄汚れた、小柄な卑兵たちの胴鎧
1226 </text>
1227 誰も近付かぬ、悪臭の戦場跡
1228 あるいは、忘れられるべき禁域
1229 卑兵は、そうした場所の、名誉なき番人である
1230 </text>
1231 <text id="420200">薄汚れた、小柄な卑兵たちの手甲
1232 </text>
1233 誰も近付かぬ、悪臭の戦場跡
1234 あるいは、忘れられるべき禁域
1235 卑兵は、そうした場所の、名誉なき番人である
1236 </text>
1237 <text id="420300">薄汚れた、小柄な卑兵たちの足甲
1238 </text>
1239 誰も近付かぬ、悪臭の戦場跡
1240 あるいは、忘れられるべき禁域
1241 卑兵は、そうした場所の、名誉なき番人である
1242 </text>
1243 <text id="430000">えんじ色の尖ったフード
1244 異端の智者たる、賢者たちの装束
1245 </text>
1246 それは、街を追われた者の証でもある
1247 </text>
1248 <text id="430100">えんじ色の厚手のローブ
1249 異端の智者たる、賢者たちの装束
1250 </text>
1251 それは、街を追われた者の証でもある
1252 </text>
1253 <text id="430300">えんじ色の厚手のズボン
1254 異端の智者たる、賢者たちの装束
1255 </text>
1256 それは、街を追われた者の証でもある
1257 </text>
1258 <text id="440000">すっぽりと頭を覆う楕円形の兜
1259 とても重く、とても硬い
1260 </text>
1261 ヘッドショットのダメージと、衝撃を軽減する
1262 </text>
1263 その内は暗闇であり、狂兵の恐慌を抑える
1264 横方向に確保された空間も
1265 圧迫感を無くす工夫であろう
1266 </text>
1267 <text id="460000">最初のエルデの王、ゴッドフレイの王冠
1268 </text>
1269 黄金樹の始まりは、戦と共にあり
1270 ゴッドフレイは戦場の王であった
1271 </text>
1272 巨人戦争、嵐の王との一騎討ち...
1273 そして、好敵手がいなくなった時
1274 王の瞳は色褪せたという
1275 </text>
1276 <text id="460100">最初のエルデの王、ゴッドフレイの胴鎧
1277 </text>
1278 黄金樹の始まりは、戦と共にあり
1279 ゴッドフレイは戦場の王であった
1280 </text>
1281 巨人戦争、嵐の王との一騎討ち...
1282 そして、好敵手がいなくなった時
1283 王の瞳は色褪せたという
1284 </text>
1285 <text id="460200">最初のエルデの王、ゴッドフレイの手甲
1286 </text>
1287 黄金樹の始まりは、戦と共にあり
1288 ゴッドフレイは戦場の王であった
1289 </text>
1290 巨人戦争、嵐の王との一騎討ち...
1291 そして、好敵手がいなくなった時
1292 王の瞳は色褪せたという
1293 </text>

```
0835 <text id="540300">狂気に囚われ、墮落した調香師たちのブーツ</text>  
0836 <text id="541100">狂気に囚われ、墮落した調香師たちの上衣</text>  
0837 <text id="570000">最初のエルデの王、ゴッドフレイに仕えた  
0838 16人の古い騎士たちの兜
```

```
1294 <text id="460300">最初のエルデの王、ゴッドフレイの足甲  
1295  
1296 黄金樹の始まりは、戦と共にあり  
1297 ゴッドフレイは戦場の王であった  
1298  
1299 巨人戦争、嵐の王との一騎討ち...  
1300 そして、好敵手がなくなった時  
1301 王の瞳は色褪せたという  
1302 </text>  
1303 <text id="461100">最初のエルデの王、ゴッドフレイの胴鎧  
1304  
1305 黄金樹の始まりは、戦と共にあり  
1306 ゴッドフレイは戦場の王であった  
1307  
1308 巨人戦争、嵐の王との一騎討ち...  
1309 そして、好敵手がなくなった時  
1310 王の瞳は色褪せたという  
1311 </text>  
1312 <text id="470000">赤髪をなびかせた、黄金獅子の兜  
1313 将軍ラダーンの装備  
1314  
1315 父ラダゴンから受け継いだ、燃える赤髪を  
1316 ラダーンは、英雄の象徴として誇っている  
1317  
1318 我こそは、英雄の子。そして戦王の獅子である  
1319 </text>  
1320 <text id="470100">黄金獅子を象った胴鎧  
1321 将軍ラダーンの装備  
1322  
1323 黄金獅子は、最初の王ゴッドフレイと  
1324 その宰相の獣、セローシュに由来するという  
1325 幼き日、ラダーンは戦王に心奪われたのだ  
1326 </text>  
1327 <text id="470200">黄金獅子を象った手甲  
1328 将軍ラダーンの装備  
1329  
1330 黄金獅子は、最初の王ゴッドフレイと  
1331 その宰相の獣、セローシュに由来するという  
1332 幼き日、ラダーンは戦王に心奪われたのだ  
1333 </text>  
1334 <text id="470300">黄金獅子を象った足甲  
1335 将軍ラダーンの装備  
1336  
1337 黄金獅子は、最初の王ゴッドフレイと  
1338 その宰相の獣、セローシュに由来するという  
1339 幼き日、ラダーンは戦王に心奪われたのだ  
1340 </text>  
1341 <text id="471100">黄金獅子を象った胴鎧  
1342 将軍ラダーンの装備  
1343  
1344 黄金獅子は、最初の王ゴッドフレイと  
1345 その宰相の獣、セローシュに由来するという  
1346 幼き日、ラダーンは戦王に心奪われたのだ  
1347 </text>  
1348 <text id="480100">黒布に、豪華な金意匠が施された  
1349 血の君主、モーグの装束  
1350  
1351 来たるべき新王朝、モーグウインの  
1352 王にして大祭司たる者の証  
1353 あるいは、その見果てぬ妄想の証  
1354 </text>  
1355 <text id="481100">黒布に、豪華な金意匠が施された  
1356 血の君主、モーグの装束  
1357  
1358 来たるべき新王朝、モーグウインの  
1359 王にして大祭司たる者の証  
1360 あるいは、その見果てぬ妄想の証  
1361 </text>  
1362 <text id="510000">月姿を模した長冠  
1363 満月の女王、レナラの装束  
1364 知力を高める  
1365  
1366 魔術学院リアルカリア  
1367 そしてカーリア王家の長でもあったレナラは  
1368 伴侶であったラダゴンと共に、心を失くした  
1369  
1370 そして学院は気付いたのだ  
1371 彼女が、もはや英雄などでないことを  
1372 </text>  
1373 <text id="510100">最高位の魔術師たるを示すローブ  
1374 満月の女王、レナラの装束  
1375  
1376 魔術学院リアルカリア  
1377 そしてカーリア王家の長でもあったレナラは  
1378 伴侶であったラダゴンと共に、心を失くした  
1379  
1380 そして学院は気付いたのだ  
1381 彼女が、もはや英雄などでないことを  
1382 </text>  
1383 <text id="510200">最高位の魔術師たるを示す腕輪  
1384 満月の女王、レナラの装束  
1385  
1386 魔術学院リアルカリア  
1387 そしてカーリア王家の長でもあったレナラは  
1388 伴侶であったラダゴンと共に、心を失くした  
1389  
1390 そして学院は気付いたのだ  
1391 彼女が、もはや英雄などでないことを  
1392 </text>  
1393 <text id="510300">最高位の魔術師たるを示すズボン  
1394 満月の女王、レナラの装束  
1395  
1396 魔術学院リアルカリア  
1397 そしてカーリア王家の長でもあったレナラは  
1398 伴侶であったラダゴンと共に、心を失くした  
1399  
1400 そして学院は気付いたのだ  
1401 彼女が、もはや英雄などでないことを  
1402 </text>  
1403 <text id="520000">滑らかな皮膚を縫い合わせたフード  
1404 神肌の使徒たちの装束  
1405  
1406 神狩りの黒炎を操る使徒たちは  
1407 かつて、運命の死に仕えていたという  
1408 しかし、黒き剣のマリケスに敗れ
```

0839
0840 斧飾りは、騎士オールドビスと
0841 その部下たちの象徴である
0842
0843 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
0844 脈管がびっしりと浮き上がっている
0845 </text>
0846 <text id="570100">最初のエルデの王、ゴッドフレイに仕えた
0847 16人の古い騎士たちの胸鎧
0848
0849 騎士オールドビスと、その部下たちのもの
0850
0851 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
0852 脈管がびっしりと浮き上がっている
0853 </text>
0854 <text id="570200">最初のエルデの王、ゴッドフレイに仕えた
0855 16人の古い騎士たちの手甲
0856
0857 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
0858 脈管がびっしりと浮き上がっている
0859
0860 その姿、そして力は
0861 後に混沌に近いとして蔑まれた
0862 </text>

1409 それを封印してしまった
1410 </text>
1411 <text id="520100">滑らかな皮膚を縫い合わせたローブ
1412 神肌の使徒たちの装束
1413
1414 神狩りの黒炎を操る使徒たちは
1415 かつて、運命の死に仕えていたという
1416 しかし、黒き剣のマリケスに敗れ
1417 それを封印してしまった
1418 </text>
1419 <text id="520200">神肌の使徒たちの黒い腕輪
1420
1421 神狩りの黒炎を操る使徒たちは
1422 かつて、運命の死に仕えていたという
1423 しかし、黒き剣のマリケスに敗れ
1424 それを封印してしまった
1425 </text>
1426 <text id="520300">滑らかな皮膚を縫い合わせたズボン
1427 神肌の使徒たちの装束
1428
1429 神狩りの黒炎を操る使徒たちは
1430 かつて、運命の死に仕えていたという
1431 しかし、黒き剣のマリケスに敗れ
1432 それを封印してしまった
1433 </text>
1434 <text id="530000">滑らかな皮膚を縫い合わせたフード
1435 皮ぎしの脂を残しており、ぶよぶよと柔らかい
1436 神肌の貴種たちの装束
1437
1438 貴種とは、最も古い使徒たちであり
1439 人ならぬ諸相を、その身に宿しているという
1440 それは黄金樹の原初、坩堝にも似ている
1441 </text>
1442 <text id="530100">滑らかな皮膚を縫い合わせたローブ
1443 皮ぎしの脂を残しており、ぶよぶよと柔らかい
1444 七面の前掛けを纏った、神肌の貴種たちの装束
1445
1446 腹芸の祈禱を強化する
1447
1448 貴種とは、最も古い使徒たちであり
1449 人ならぬ諸相を、その身に宿しているという
1450 それは黄金樹の原初、坩堝にも似ている
1451 </text>
1452 <text id="530200">神肌の貴種たちの黒い腕輪
1453
1454 貴種とは、最も古い使徒たちであり
1455 人ならぬ諸相を、その身に宿しているという
1456 それは黄金樹の原初、坩堝にも似ている
1457 </text>
1458 <text id="530300">滑らかな皮膚を縫い合わせたズボン
1459 皮ぎしの脂を残しており、ぶよぶよと柔らかい
1460 神肌の貴種たちの装束
1461
1462 貴種とは、最も古い使徒たちであり
1463 人ならぬ諸相を、その身に宿しているという
1464 それは黄金樹の原初、坩堝にも似ている
1465 </text>
1466 <text id="540000">墮落した調香師たちの帽子
1467
1468 香粉を自ら飲み、身体と神経に作用させる
1469 調香師における墮落とは、そうした異端の一派であり
1470 ゆっくりと、自らを壊す者たちの呼び名である
1471 </text>
1472 <text id="540100">墮落した調香師たちのローブ
1473 前掛けの刺繍は、黄金樹を呪っている
1474
1475 香粉を自ら飲み、身体と神経に作用させる
1476 調香師における墮落とは、そうした異端の一派であり
1477 ゆっくりと、自らを壊す者たちの呼び名である
1478 </text>
1479 <text id="540200">墮落した調香師たちの手袋
1480
1481 香粉を自ら飲み、身体と神経に作用させる
1482 調香師における墮落とは、そうした異端の一派であり
1483 ゆっくりと、自らを壊す者たちの呼び名である
1484 </text>
1485 <text id="540300">墮落した調香師たちのズボン
1486
1487 香粉を自ら飲み、身体と神経に作用させる
1488 調香師における墮落とは、そうした異端の一派であり
1489 ゆっくりと、自らを壊す者たちの呼び名である
1490 </text>
1491 <text id="541100">墮落した調香師たちのローブ
1492 前掛けの刺繍は、黄金樹を呪っている
1493
1494 香粉を自ら飲み、身体と神経に作用させる
1495 調香師における墮落とは、そうした異端の一派であり
1496 ゆっくりと、自らを壊す者たちの呼び名である
1497 </text>
1498 <text id="570000">最初の王、ゴッドフレイに仕えた
1499 坩堝の騎士たちの兜
1500
1501 斧飾りは、騎士オールドビスと
1502 その部下たちの象徴である
1503
1504 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
1505 坩堝の諸相の祈禱を強化する
1506 </text>
1507 <text id="570100">最初の王、ゴッドフレイに仕えた
1508 坩堝の騎士たちの胸鎧
1509
1510 騎士オールドビスと、その部下たちの装備
1511
1512 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
1513 坩堝の諸相の祈禱を強化する
1514 </text>
1515 <text id="570200">最初の王、ゴッドフレイに仕えた
1516 坩堝の騎士たちの手甲
1517
1518 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
1519 坩堝の諸相の祈禱を強化する
1520
1521 その姿、そして力は
1522 後に秩序無きものとして蔑まれた
1523 </text>

1524 <text id="570300">最初の王、ゴッドフレイに仕えた
1525 坩堝の騎士たちの足甲
1526
1527 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
1528 坩堝の諸相の祈禱を強化する
1529
1530 その姿、そして力は
1531 後に秩序無きものとして蔑まれた
1532 </text>
1533 <text id="571000">最初の王、ゴッドフレイに仕えた
1534 坩堝の騎士たちの兜
1535
1536 大樹飾りは、騎士シルリアと
1537 その部下たちの象徴である
1538
1539 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
1540 坩堝の諸相の祈禱を強化する
1541 </text>
1542 <text id="571100">最初の王、ゴッドフレイに仕えた
1543 坩堝の騎士たちの胴鎧
1544
1545 騎士シルリアと、その部下たちの装備
1546
1547 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
1548 坩堝の諸相の祈禱を強化する
1549 </text>
1550 <text id="572100">最初の王、ゴッドフレイに仕えた
1551 坩堝の騎士たちの胴鎧
1552
1553 騎士オルドビスと、その部下たちの装備
1554
1555 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
1556 坩堝の諸相の祈禱を強化する
1557 </text>
1558 <text id="573100">最初の王、ゴッドフレイに仕えた
1559 坩堝の騎士たちの胴鎧
1560
1561 騎士シルリアと、その部下たちの装備
1562
1563 原初の黄金樹、生命の坩堝の力を宿し
1564 坩堝の諸相の祈禱を強化する
1565 </text>
1566 <text id="580000">源流の魔術師、ルーサット
1567 その巨大な青輝石の頭冠
1568
1569 脳を頭蓋ごと置き換えたそれは
1570 主から切り離された今、ほぼ死んでおり
1571 ルーサットの源流魔術の威力を高めるが
1572 消費FPも増加してしまう
1573 </text>
1574 <text id="580100">魔術学院レアルカリア
1575 その最高師範にのみ許されたローブ
1576 青い輝石に蝕まれている
1577
1578 アズールとルーサット
1579 両最高師範が学院を追放されて後
1580 その地位に着いた者は存在しない
1581 </text>
1582 <text id="580200">青い輝石に蝕まれた腕巻き
1583 源流の魔術師、ルーサットの装束
1584
1585 ルーサットは、もはや半ば無機物であった
1586 </text>
1587 <text id="580300">太腿まで、まばらに巻かれたボロ布
1588 それは古い魔術師たちのやり方である
1589 </text>
1590 <text id="581000">源流の魔術師、アズール
1591 その屹立した青緑輝石の頭冠
1592
1593 脳を頭蓋ごと置き換えたそれは
1594 主から切り離された今、ほぼ死んでおり
1595 アズールの源流魔術の威力を高めるが
1596 消費FPも増加してしまう
1597 </text>
1598 <text id="581100">魔術学院レアルカリア
1599 その最高師範にのみ許されたローブ
1600 青緑の輝石に蝕まれている
1601
1602 アズールとルーサット
1603 両最高師範が学院を追放されて後
1604 その地位に着いた者は存在しない
1605 </text>
1606 <text id="581200">青緑の輝石に蝕まれた腕巻き
1607 源流の魔術師、アズールの装束
1608
1609 アズールは、もはや半ば無機物であった
1610 </text>
1611 <text id="590000">無数の目と耳が散りばめられた兜
1612 百智卿、ギデオン＝オフニールの装束
1613
1614 知とは、自らの無知を知ることであり
1615 知ることの終わりなきを知ることである
1616 だが、女王マリカの遺志に触れた時
1617 ギデオンは恐れてしまった
1618
1619 あるはずのない終わりを
1620 </text>
1621 <text id="590100">無数の目と耳が散りばめられた胴鎧
1622 百智卿、ギデオン＝オフニールの装束
1623
1624 知とは、自らの無知を知ることであり
1625 知ることの終わりなきを知ることである
1626 だが、女王マリカの遺志に触れた時
1627 ギデオンは恐れてしまった
1628
1629 あるはずのない終わりを
1630 </text>
1631 <text id="590200">無数の目と耳が散りばめられた手甲
1632 百智卿、ギデオン＝オフニールの装束
1633
1634 知とは、自らの無知を知ることであり
1635 知ることの終わりなきを知ることである
1636 だが、女王マリカの遺志に触れた時
1637 ギデオンは恐れてしまった

```
0907 </text>
0908 <text id="580000">頭蓋と一体化した、水晶魔術師たちの魔術冠</text>
0909 <text id="580100">赤く濁った、水晶魔術師たちのローブ</text>
0910 <text id="580200">赤く濁った、水晶魔術師たちの腕帯</text>
0911 <text id="580300">赤く濁った、水晶魔術師たちの腰巻</text>
0912 <text id="581000">青く透き通った、水晶魔術師たちの魔術冠</text>
0913 <text id="581100">青く透き通った、水晶魔術師たちのローブ</text>
0914 <text id="581200">青く透き通った、水晶魔術師たちの腕帯</text>
0915 <text id="590000">百智卿、ギデオン＝オーフニールの兜</text>
0916 <text id="590100">百智卿、ギデオン＝オーフニールの胴鎧</text>
0917 <text id="590200">百智卿、ギデオン＝オーフニールの手甲</text>
0918 <text id="590300">百智卿、ギデオン＝オーフニールの足甲</text>
0919 <text id="591100">百智卿、ギデオン＝オーフニールの鎧</text>
0920 <text id="600000">黄金律の騎士、Dが身に着けていた兜</text>
0921 <text id="600100">黄金律の騎士、Dが身に着けていた胴鎧</text>
0922 <text id="600200">黄金律の騎士、Dが身に着けていた手甲</text>
0923 <text id="600300">黄金律の騎士、Dが身に着けていた足甲</text>
0924 <text id="601100">黄金律の騎士、Dが身に着けていた鎧</text>
0925 <text id="601300">黄金律の騎士、Dが身に着けていた足甲</text>
0926 <text id="610000">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ兜</text>
0927 <text id="610100">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ胴鎧</text>
0928 <text id="610200">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ手甲</text>
0929 <text id="610300">戦場で拾い集めた布で継ぎ接いだ足袋</text>
0930 <text id="611000">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ兜</text>
0931 <text id="611100">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ鎧</text>
0932 <text id="620000">信仰の果てに火を見出し
0933 故に迫害され、故郷を追われた
0934 預言者たちの目隠し
0935
0936 道に迷わぬというのなら
0937 目など塞いで進むがよい
0938
0939 <text id="620100">信仰の果てに火を見出し
0940 故に迫害され、故郷を追われた
0941 預言者たちのローブ
0942
0943 その布地はヤスリのように皮膚を苛み
0944 不恰好な車輪の首かせは、目印である
0945 誰もその言葉に、耳を傾けぬように
```

```
1639 あるはずのない終わりを
1640 </text>
1641 <text id="590300">無数の目と耳が散りばめられた足甲
1642 百智卿、ギデオン＝オーフニールの装束
1643
1644 知とは、自らの無知を知ることであり
1645 知ることの終わりなきを知ることである
1646 だが、女王マリカの遺志に触れた時
1647 ギデオンは恐れてしまった
1648
1649 あるはずのない終わりを
1650 </text>
1651 <text id="591100">無数の目と耳が散りばめられた胴鎧
1652 百智卿、ギデオン＝オーフニールの装束
1653
1654 知とは、自らの無知を知ることであり
1655 知ることの終わりなきを知ることである
1656 だが、女王マリカの遺志に触れた時
1657 ギデオンは恐れてしまった
1658
1659 あるはずのない終わりを
1660 </text>
1661 <text id="600000">黄金と白銀、絡みあう双児を象った兜
1662
1663 分かれぬ双児、Dは二人いる
1664 二つの身体、二つの意志、そしてひとつの魂
1665 共に起きることはなく、言葉を交わすこともない
1666
1667 ...この鎧は望んでいるだろうか
1668 もう一人の、Dの元にあることを
1669 </text>
1670 <text id="600100">黄金と白銀、絡みあう双児を象った胴鎧
1671
1672 分かれぬ双児、Dは二人いる
1673 二つの身体、二つの意志、そしてひとつの魂
1674 共に起きることはなく、言葉を交わすこともない
1675
1676 ...この鎧は望んでいるだろうか
1677 もう一人の、Dの元にあることを
1678 </text>
1679 <text id="600200">黄金と白銀、絡みあう双児を象った手甲
1680
1681 分かれぬ双児、Dは二人いる
1682 二つの身体、二つの意志、そしてひとつの魂
1683 共に起きることはなく、言葉を交わすこともない
1684
1685 ...この鎧は望んでいるだろうか
1686 もう一人の、Dの元にあることを
1687 </text>
1688 <text id="600300">黄金と白銀、絡みあう双児を象った足甲
1689
1690 分かれぬ双児、Dは二人いる
1691 二つの身体、二つの意志、そしてひとつの魂
1692 共に起きることはなく、言葉を交わすこともない
1693
1694 ...この鎧は望んでいるだろうか
1695 もう一人の、Dの元にあることを
1696 </text>
1697 <text id="601100">黄金と白銀、絡みあう双児を象った胴鎧
1698
1699 分かれぬ双児、Dは二人いる
1700 二つの身体、二つの意志、そしてひとつの魂
1701 共に起きることはなく、言葉を交わすこともない
1702
1703 ...この鎧は望んでいるだろうか
1704 もう一人の、Dの元にあることを
1705 </text>
1706 <text id="601300">黄金と白銀、絡みあう双児を象った足甲
1707
1708 分かれぬ双児、Dは二人いる
1709 二つの身体、二つの意志、そしてひとつの魂
1710 共に起きることはなく、言葉を交わすこともない
1711
1712 ...この鎧は望んでいるだろうか
1713 もう一人の、Dの元にあることを
1714 </text>
1715
1715 <text id="610000">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ兜</text>
1716 <text id="610100">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ胴鎧</text>
1717 <text id="610200">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ手甲</text>
1718 <text id="610300">戦場で拾い集めた布で継ぎ接いだ足袋</text>
1719 <text id="611000">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ兜</text>
1720 <text id="611100">戦場で拾い集めた金属で継ぎ接いだ鎧</text>
1721 <text id="620000">不吉な預言により
1722 迫害され、故郷を追われた者の目隠し
1723
1724
1724 未来が見えるというのなら
1725 道に迷うことなどあるまい
1726 目など塞いで歩くがよい
1727 </text>
1728 <text id="620100">聖職者コリンのローブ
1729
1729
1730 迫害され、だが預言を翻さなかった彼に
1731 祝福の導きはもたらされた
1732
```

0946 </text>
0947 <text id="620300">信仰の果てに火を見出し
0948 故に迫害され、故郷を追われた
0949 預言者たちのズボン
0950
0951 その布地はヤスリのように皮膚を苛み
0952 不恰好な車輪の首かせは、目印である

0953 誰もその言葉に、耳を傾けぬように
0954 </text>
0955 <text id="621100">信仰の果てに火を見出し
0956 故に迫害され、故郷を追われた
0957 預言者たちの上衣</text>
0958 <text id="622100">信仰の果てに火を見出し
0959 故に迫害され、故郷を追われた
0960 預言者たちの上衣</text>
0961 <text id="630000">柔らかな厚手の布で作られたフード
0962 貴重な輝石を磨く職人たちの装束
0963
0964 彼らはいつしか石に魅入られ
0965 最上のそれを探し求めるという
0966 故に石見は、皆探索者である
0967 </text>
0968 <text id="630100">柔らかな厚手の布で作られたローブ
0969 貴重な輝石を磨く職人たちの装束
0970
0971 彼らはいつしか石に魅入られ
0972 最上のそれを探し求めるという
0973 故に石見は、皆探索者である
0974 </text>
0975 <text id="630200">薄く滑らかな布手袋
0976 貴重な輝石を磨く職人たちの装束
0977
0978 うっすらと色づき摩耗したそれは
0979 多くの石に触れ、磨いた証である

0980 </text>
0981 <text id="630300">ローブの内に纏うズボン
0982 貴重な輝石を磨く職人たちの装束
0983
0984 探索の旅に適した丈夫なもの

0985 </text>
0986 <text id="631100">柔らかな厚手の布で作られたローブ
0987 貴重な輝石を磨く職人たちの装束
0988
0989 彼らはいつしか石に魅入られ
0990 最上のそれを探し求めるという
0991 故に石見は、皆探索者である
0992 </text>
0993 <text id="640000">独特の形状をした、異国の騎士たちの兜</text>
0994 <text id="640100">独特の形状をした、異国の騎士たちの胸鎧</text>
0995 <text id="640200">独特の形状をした、異国の騎士たちの手甲</text>
0996 <text id="640300">独特の形状をした、異国の騎士たちの足甲</text>
0997 <text id="641100">独特の形状をした、異国の騎士たちの胸鎧</text>
0998 <text id="650000">ホスロー家に代々伝わる、伝統の重兜</text>
0999 <text id="650100">ホスロー家に代々伝わる、伝統の胸鎧</text>
1000 <text id="650200">ホスロー家に代々伝わる、伝統の手甲</text>
1001 <text id="650300">ホスロー家に代々伝わる、伝統の足甲</text>
1002 <text id="651000">ホスロー家に代々伝わる、伝統の兜</text>
1003 <text id="652100">ホスロー家に代々伝わる、伝統の鎧</text>
1004 <text id="660000">祖国を追われた騎士の兜
1005 長い放浪の旅で劣化し、薄汚れている

1733 以来、車輪の首枷を見るたびに、コリンは思い出す
1734 疑わず、意志を曲げぬ先にこそ、導きがあるのだと
1735 </text>
1736 <text id="620300">不吉な預言により
1737 迫害され、故郷を追われた者のズボン

1738
1739 その布地はヤスリのように皮膚を苛む
1740 </text>
1741 <text id="621100">不吉な預言により
1742 迫害され、故郷を追われた者のローブ
1743
1744 その布地はヤスリのように皮膚を苛む
1745 </text>
1746 <text id="622100">不吉な預言により
1747 迫害され、故郷を追われた者のローブ
1748
1749 重い金属の首かせは、目印である
1750 誰もその言葉に、耳を傾けぬように
1751 </text>
1752 <text id="630000">柔らかな布で作られたフード
1753 星を見上げる者たちの装束

1754
1755 彼らは、星に運命を見出そうした
1756 輝石の魔術師の末裔であるという
1757 だが今や、運命は夜空にはない
1758 </text>
1759 <text id="630100">柔らかな布で作られたローブ
1760 星を見上げる者たちの装束
1761
1762 彼らは、星に運命を見出そうした
1763 輝石の魔術師の末裔であるという
1764 だが今や、運命は夜空にはない
1765 </text>
1766 <text id="630200">薄く滑らかな布手袋
1767 星を見上げる者たちの装束
1768
1769 彼らは、星に運命を見出そうした
1770 輝石の魔術師の末裔であるという
1771 だが今や、運命は夜空にはない
1772 </text>
1773 <text id="630300">ローブの内に纏うズボン
1774 星を見上げる者たちの装束
1775
1776 彼らは、星に運命を見出そうした
1777 輝石の魔術師の末裔であるという
1778 だが今や、運命は夜空にはない
1779 </text>
1780 <text id="631100">柔らかな布で作られたローブ
1781 星を見上げる者たちの装束
1782
1783 彼らは、星に運命を見出そうした
1784 輝石の魔術師の末裔であるという
1785 だが今や、運命は夜空にはない
1786 </text>
1787 <text id="640000">大きな鍔の付いた丸っこい鉄兜
1788 豪胆ライオネルの装備
1789
1790 恐れを知らぬ気取った騎士は
1791 故郷を追われたフィアに出会い
1792 彼女の父たるを、自らに任じたという
1793 </text>
1794 <text id="640100">軍旗を背負った丸っこい鉄の胸鎧
1795 豪胆ライオネルの装備
1796
1797 恐れを知らぬ気取った騎士は
1798 故郷を追われたフィアに出会い
1799 彼女の父たるを、自らに任じたという
1800 </text>
1801 <text id="640200">丸みを帯びた鉄の手甲
1802 豪胆ライオネルの装備
1803
1804 恐れを知らぬ気取った騎士は
1805 故郷を追われたフィアに出会い
1806 彼女の父たるを、自らに任じたという
1807 </text>
1808 <text id="640300">丸みを帯びた鉄の足甲
1809 豪胆ライオネルの装備
1810
1811 恐れを知らぬ気取った騎士は
1812 故郷を追われたフィアに出会い
1813 彼女の父たるを、自らに任じたという
1814 </text>
1815 <text id="641100">丸っこい鉄の胸鎧
1816 豪胆ライオネルの装備
1817
1818 恐れを知らぬ気取った騎士は
1819 故郷を追われたフィアに出会い
1820 彼女の父たるを、自らに任じたという
1821 </text>
1822 <text id="650000">双尾を花で飾った銀鉄の兜
1823 名門ホスローの、当主の証
1824
1825 ユーノ・ホスローには、弟がいた
1826 口先ばかりの、意気地のない弟が
1827
1828 そして、弟の無能が故に
1829 兄弟で当主の座を争うことはなく
1830 兄は、弟を愛することを許された
1831 </text>
1832 <text id="650100">銀鉄を赤で飾った、豪華な胸鎧
1833 名門ホスローに受け継がれる装備
1834
1835 火山館の勧誘を受けた時
1836 ユーノ・ホスローは、静かに断った
1837
1838 血塗られた道なら、既に歩いている
1839 だが俺は自分を、決して英雄とは呼ばない
1840 </text>

壊れかけの面甲は、もはや下りることはない

</text>
<text id="660100">祖国を追われた騎士の胴鎧
長い放浪の旅で劣化し、薄汚れている

背負い袋に隠れた凝った意匠は
もはや擦り切れてぼやけている
感傷の他には、何の役にも立たぬものだ

</text>
<text id="660200">祖国を追われた騎士の手甲
長い放浪の旅で劣化し、薄汚れている

凝った意匠は擦り切れてぼやけている
感傷の他には、何の役にも立たぬものだ

</text>
<text id="660300">祖国を追われた騎士の足甲
長い放浪の旅で劣化し、薄汚れている

歩き続けるためだろうか
鉄の脛当などは取り外されている

</text>
<text id="661100">祖国を追われた騎士の胴鎧
長い放浪の旅で劣化し、薄汚れている

背負い袋に隠れた凝った意匠は
もはや擦り切れてぼやけている
感傷の他には、何の役にも立たぬものだ

</text>
<text id="670000">遊牧の民の剣士の頭巾
布地の青は、清涼な流水の象徴であり
その剣もまた流れる水がごとくである

停滞はやがて淀みとなり、腐りゆく
常に流れ行き、留まることなかれ

</text>
<text id="670100">遊牧の民の剣士の胴衣
布地の青は、清涼な流水の象徴であり
その剣もまた流れる水がごとくである

停滞はやがて淀みとなり、腐りゆく
常に流れ行き、留まることなかれ

</text>
<text id="670200">遊牧の民の剣士の手甲
丈夫な革を加工したもの

</text>
<text id="670300">遊牧の民の剣士の足甲
丈夫な革を加工したもの

</text>
<text id="680000">表情を隠す、怪しげな白木の仮面</text>
<text id="680100">血に塗れた、使い古しの白衣</text>
<text id="680200">厚手の革で作られた、放浪医師の手袋</text>
<text id="680300">厚手の革で作られた、放浪医師のズボン</text>
<text id="681100">厚手の革で作られた、放浪医師のベスト</text>
<text id="690000">高名な先祖の遺体を媒介にした狂人の面</text>
<text id="690100">高名な先祖の遺体を媒介にした狂人の鎧</text>
<text id="690200">高名な先祖の遺体を媒介にした狂人の手甲</text>
<text id="690300">高名な先祖の遺体を媒介にした狂人の足甲</text>

<text id="650200">銀鉄を赤で飾った、豪華な手甲
名門ホスローに受け継がれる装備

火山館の勧誘を受けた時
ユーノ・ホスローは、静かに断った

血塗られた道なら、既に歩いている
だが俺は自分を、決して英雄とは呼ばない

</text>
<text id="650300">銀鉄を赤で飾った、豪華な足甲
名門ホスローに受け継がれる装備

火山館の勧誘を受けた時
ユーノ・ホスローは、静かに断った

血塗られた道なら、既に歩いている
だが俺は自分を、決して英雄とは呼ばない

</text>
<text id="651000">双尾を花で飾った銀鉄の兜
その、双尾なきレプリカ

ディアロス・ホスローには、兄がいた
寡黙にして冷徹な、遠く及ばぬ兄が

弟は、兄のようになりたかった
血潮で物語る、ホスローになりたかった
兄が、それを望まぬと知っていても

</text>
<text id="652100">銀鉄を赤で飾った、豪華な胴鎧
名門ホスローに受け継がれる装備

火山館の勧誘を受けた時
ユーノ・ホスローは、静かに断った

血塗られた道なら、既に歩いている
だが俺は自分を、決して英雄とは呼ばない

</text>
<text id="660000">放浪の旅にくたびれた鉄兜
故国を追放された騎士の装備

壊れかけの面甲は、もはや下りることはない

金属の鎧は、重量があるが
カット率が高く堅牢である

</text>
<text id="660100">放浪の旅にくたびれた鉄の胴鎧
故国を追放された騎士の装備

胸当ての紋章は掠れた上に薄汚れ
もはや、感傷の役にも立たない

金属の鎧は、重量があるが
カット率が高く堅牢である

</text>
<text id="660200">放浪の旅にくたびれた鉄の手甲
故国を追放された騎士の装備

金属の鎧は、重量があるが
カット率が高く堅牢である

</text>
<text id="660300">放浪の旅にくたびれた鉄の足甲
故国を追放された騎士の装備

金属の鎧は、重量があるが
カット率が高く堅牢である

</text>
<text id="661100">放浪の旅にくたびれた鉄の胴鎧
故国を追放された騎士の装備

胸当ての紋章は掠れた上に薄汚れ
もはや、感傷の役にも立たない

金属の鎧は、重量があるが
カット率が高く堅牢である

</text>
<text id="670000">遊牧の民の剣士の頭巾
布地の青は、清涼な流水の象徴であり
その剣もまた流れる水がごとくである

停滞はやがて淀みとなり、腐りゆく
常に流れ行き、留まることなかれ

</text>
<text id="670100">遊牧の民の剣士の胴衣
布地の青は、清涼な流水の象徴であり
その剣もまた流れる水がごとくである

停滞はやがて淀みとなり、腐りゆく
常に流れ行き、留まることなかれ

</text>
<text id="670200">遊牧の民の剣士の手甲
丈夫な革を加工したもの

</text>
<text id="670300">遊牧の民の剣士の足甲
丈夫な革を加工したもの

</text>
<text id="680000">血に汚れた薄笑いの白仮面
戦場の介錯者たる、従軍医師たちの装束

血の君主の、呪われた血の影響で
周囲で出血状態が発生すると
僅かに攻撃力が高まる

</text>
<text id="680100">血に薄汚れた白衣
戦場の介錯者たる、従軍医師たちの装束

血の君主に攫われた彼らは
誰も、呪われた血を受け容れることができなかった
唯一人、ヴァレーを除いて

</text>
<text id="680200">血に薄汚れた白い手袋
戦場の介錯者たる、従軍医師たちの装束

血の君主に攫われた彼らは
誰も、呪われた血を受け容れることができなかった
唯一人、ヴァレーを除いて

1064 <text id="700000">革紐を編み込んだ戦冠
1065 寒冷な高地の、戦士の装束
1066
1067 垂れ下がる白布、麦穂、枯葉などは
1068 故郷の皆の祈りの饞別である
1069 帰らぬ旅立ちに、気休めにすぎずとも
1070 </text>
1071 <text id="700100">革鎧の上に大布を纏った戦衣
1072 寒冷な高地の、戦士の装束
1073
1074 赤い大布は、遠い昔長征を共にしたという
1075 戦王の加護を得んとする儀装である
1076 </text>
1077 <text id="700200">厚手の革を巻き付けた手甲
1078 寒冷な高地の、戦士の装束
1079
1080 内には毛皮があり、防寒性に優れる
1081 </text>
1082 <text id="700300">厚手の革を巻き付けた足甲
1083 寒冷な高地の、戦士の装束
1084
1085 内には毛皮があり、防寒性に優れる
1086 </text>
1087 <text id="701000">革紐を編み込んだ戦衣
1088 寒冷な高地の、戦士の装束</text>
1089 <text id="702000">革紐を編み込んだ兜
1090 寒冷な高地の、戦士の装束</text>
1091 <text id="720000">背律者、ベルナルの兜</text>
1092 <text id="720100">背律者、ベルナルの胸鎧</text>
1093 <text id="720200">背律者、ベルナルの手甲</text>
1094 <text id="720300">背律者、ベルナルの足甲</text>
1095 <text id="721100">背律者、ベルナルの鎧</text>

1956 </text>
1957 <text id="680300">血に薄汚れたズボン
1958 戦場の介錯者たる、従軍医師たちの装束
1959
1960 血の君主に攫われた彼らは
1961 誰も、呪われた血を受け容れることができなかった
1962 唯一人、ヴァレーを除いて
1963 </text>
1964 <text id="681100">血に薄汚れた白衣
1965 戦場の介錯者たる、従軍医師たちの装束
1966
1967 血の君主に攫われた彼らは
1968 誰も、呪われた血を受け容れることができなかった
1969 唯一人、ヴァレーを除いて
1970 </text>
1971 <text id="690000">黄金の人骨を設えた兜
1972 百智卿ギデオンの、物言わぬ従者の装備
1973
1974 HPが減少したときだけ
1975 HPをゆっくりと回復する
1976
1977 その人骨は、古い王の遺骸であるという
1978 魂無き王、縋り付く者たちの王
1979 その名をエンシャという
1980 </text>
1981 <text id="690100">黄金の人骨を設えた胸鎧
1982 百智卿ギデオンの、物言わぬ従者の装備
1983
1984 HPが減少したときだけ
1985 HPをゆっくりと回復する
1986
1987 その人骨は、古い王の遺骸であるという
1988 魂無き王、縋り付く者たちの王
1989 その名をエンシャという
1990 </text>
1991 <text id="690200">黄金の人骨を設えた手甲
1992 百智卿ギデオンの、物言わぬ従者の装備
1993
1994 HPが減少したときだけ
1995 HPをゆっくりと回復する
1996
1997 その人骨は、古い王の遺骸であるという
1998 魂無き王、縋り付く者たちの王
1999 その名をエンシャという
2000 </text>
2001 <text id="690300">黄金の人骨を設えた足甲
2002 百智卿ギデオンの、物言わぬ従者の装備
2003
2004 HPが減少したときだけ
2005 HPをゆっくりと回復する
2006
2007 その人骨は、古い王の遺骸であるという
2008 魂無き王、縋り付く者たちの王
2009 その名をエンシャという
2010 </text>
2011 <text id="700000">革紐を編み込んだ戦冠
2012 寒冷な高地の、戦士の装束
2013
2014 垂れ下がる白布、麦穂、枯葉などは
2015 故郷の皆の祈りの饞別である
2016 帰らぬ旅立ちに、気休めにすぎずとも
2017 </text>
2018 <text id="700100">革鎧の上に大布を纏った戦衣
2019 寒冷な高地の、戦士の装束
2020
2021 赤い大布は、遠い昔長征を共にしたという
2022 戦王の加護を得んとする儀装である
2023 </text>
2024 <text id="700200">厚手の革を巻き付けた手甲
2025 寒冷な高地の、戦士の装束
2026
2027 内には毛皮があり、防寒性に優れる
2028 </text>
2029 <text id="700300">厚手の革を巻き付けた足甲
2030 寒冷な高地の、戦士の装束
2031
2032 内には毛皮があり、防寒性に優れる
2033 </text>
2034 <text id="701000">革紐を編み込んだ戦衣
2035 寒冷な高地の、戦士の装束</text>
2036 <text id="702000">革紐を編み込んだ兜
2037 寒冷な高地の、戦士の装束</text>
2038 <text id="720000">小さな獣たちを刻んだ銀兜
2039 背律者ベルナルの装備
2040
2041 耳目を塞ぐ獣たちは、誓いである
2042 何も見ず、何も聞かず、もはや迷うことはない
2043 ただ、決めた道を行くだけだ
2044 </text>
2045 <text id="720100">小さな獣たちを刻んだ銀の胸鎧
2046 背律者ベルナルの装備
2047
2048 獣は英雄に惹かれ、王に惹かれる
2049 故にこれは、王たる英雄の鎧であり
2050 ベルナルはそれに相応しかった
2051
2052 彼の巫女が、火に身を投げるまでは
2053 </text>
2054 <text id="720200">小さな獣たちを刻んだ銀の手甲
2055 背律者ベルナルの装備
2056
2057 獣は英雄に惹かれ、王に惹かれる
2058 故にこれは、王たる英雄の鎧であり
2059 ベルナルはそれに相応しかった
2060
2061 彼の巫女が、火に身を投げるまでは
2062 </text>
2063 <text id="720300">小さな獣たちを刻んだ銀の足甲
2064 背律者ベルナルの装備
2065
2066 獣は英雄に惹かれ、王に惹かれる
2067 故にこれは、王たる英雄の鎧であり
2068 ベルナルはそれに相応しかった
2069
2070 彼の巫女が、火に身を投げるまでは

1096 <text id="730000">蛮地にて勇者にのみ許される頭環
1097 多くの敵を屠った証
1098
1099 そして勇者は、余分なものは纏わない
1100 彼らの王、ホーラ・ルーのように
1101 </text>
1102 <text id="730100">蛮地にて勇者にのみ許される肩鎧
1103 多くの敵を屠った証
1104
1105 そして勇者は、余分なものは纏わない
1106 彼らの王、ホーラ・ルーのように
1107 </text>
1108 <text id="730200">蛮地にて勇者にのみ許される手甲
1109 多くの敵を屠った証
1110
1111 そして勇者は、余分なものは纏わない
1112 彼らの王、ホーラ・ルーのように
1113 </text>
1114 <text id="730300">革帯を巻きつけだけの脚絆
1115 蛮地ではごくありふれたもの
1116 </text>
1117 <text id="740000">鮮やかな青の、フード付きマント
1118 流離する王族の装束
1119
1120 それは、使命の旅の象徴である
1121 遥かな使命のため独り旅立ち、故郷には戻れない
1122 それは大抵、体の良い厄介払いだった
1123
1124 </text>
1125 <text id="740100">白絹の金属糸で編まれた鎧
1126 流離する王族の装束
1127
1128 それは柔らかく、肌触りも滑らかで
1129 魔法に対して高い効果を発揮する
1130
1131 それは美しい贈り物である
1132 どこかで野垂れ死ぬときに
1133 王族の恥とならぬように
1134 </text>
1135 <text id="740200">柔らかな革の手袋
流離する王族の装束
1136
1137 </text>
1138 <text id="740300">上質な白いズボン
流離する王族の装束
1139
1140 </text>
1141 <text id="741000">鮮やかな青の、フード付きマント
流離する王族の装束
1142
1143 それは、使命の旅の象徴である
1144 遥かな使命のため独り旅立ち、故郷には戻れない
1145 それは大抵、体の良い厄介払いだった
1146 </text>
1147 <text id="760000">黒き剣、マリケスの兜</text>
1148 <text id="760100">黒き剣、マリケスの胸鎧</text>
1149 <text id="760200">黒き剣、マリケスの手甲</text>
1150 <text id="760300">黒き剣、マリケスの足甲</text>
1151 <text id="761100">黒き剣、マリケスの鎧</text>
1152 <text id="770000">調停者マレニアの兜</text>
1153 <text id="770100">調停者マレニアの鎧</text>
1154 <text id="770200">調停者マレニアの手甲</text>
1155 <text id="770300">調停者マレニアの足甲</text>
1156 <text id="771100">調停者マレニアの鎧</text>
1157 <text id="780000">歴戦の老将が使い込んだ兜</text>
1158 <text id="780100">歴戦の老将が使い込んだ胸鎧</text>
1159 <text id="780200">歴戦の老将が使い込んだ手甲</text>
1160 <text id="780300">歴戦の老将が使い込んだ足甲</text>
1161 <text id="781100">歴戦の老将が使い込んだ鎧</text>
1162 <text id="790000">獣の如き、猟犬騎士たちが用いる兜</text>
1163 <text id="790100">獣の如き、猟犬騎士たちが用いる手甲</text>
1164 <text id="790200">獣の如き、猟犬騎士たちが用いる胸鎧</text>
1165 <text id="790300">獣の如き、猟犬騎士たちが用いる足甲</text>
1166 <text id="791100">獣の如き、猟犬騎士たちが用いる鎧</text>
1167 <text id="800000">青く染め上げられた美しいフード
1168 恵みを祝う、ささやかな祭りのための装束
1169
1170 祭りの主役、年乙女にだけ許されたそれは
1171 可憐に色づいた野花の花冠で飾られている</text>
1172 <text id="800100">丁寧な刺繍で彩られた礼服
1173 恵みを祝う、ささやかな祭りのための装束
1174
1175 青く染め上げられた美しいマントは
1176 祭りの主役、年乙女にだけ許されるものだ
1177 </text>
1178 <text id="801000">可憐に色づいた、野花の花冠
1179 恵みを祝う、ささやかな祭りのための装束
1180
1181 いまや枯れ萎びても、それはまだ美しい
1182
1183 </text>
<text id="801100">丁寧な刺繍で彩られた礼服

2071 </text>
2072 <text id="721100">小さな獣たちを刻んだ銀の胸鎧
2073 背律者ベルナルの装備
2074
2075 獣は英雄に惹かれ、王に惹かれる
2076 故にこれは、王たる英雄の鎧であり
2077 ベルナルはそれに相応しかった
2078
2079 彼の巫女が、火に身を投げるまでは
2080 </text>
2081 <text id="730000">蛮地にて勇者にのみ許される頭環
2082 多くの敵を屠った証
2083
2084 そして勇者は、余分なものは纏わない
2085 彼らの王、ホーラ・ルーのように
2086 </text>
2087 <text id="730100">蛮地にて勇者にのみ許される肩鎧
2088 多くの敵を屠った証
2089
2090 そして勇者は、余分なものは纏わない
2091 彼らの王、ホーラ・ルーのように
2092 </text>
2093 <text id="730200">蛮地にて勇者にのみ許される手甲
2094 多くの敵を屠った証
2095
2096 そして勇者は、余分なものは纏わない
2097 彼らの王、ホーラ・ルーのように
2098 </text>
2099 <text id="730300">革帯を巻きつけだけの脚絆
2100 蛮地ではごくありふれたもの
2101 </text>
2102 <text id="740000">鮮やかな深紅のフード付きマント
2103 流離する王族の装束
2104 生命力を高める
2105
2106 それは、使命なき旅へと贈られる
2107 遥か彼方、二度と帰ることのない旅立ちに
2108 つまりは、体のよい厄介払い
2109
2110 ローデリカは、導きなど見えていなかった
2111 </text>
2112 <text id="740100">白絹の金属糸で編まれた旅装
2113 流離する王族の装束
2114
2115 それは美しい贈り物である
2116 どこかで野垂れ死ぬときに
2117 王族の恥とならぬように
2118 </text>
2119 <text id="740200">柔らかな革の手袋
2120 流離する王族の装束
2121
2122 それは美しい贈り物である
2123 どこかで野垂れ死ぬときに
2124 王族の恥とならぬように
2125 </text>
2126 <text id="740300">上質な白いズボン
2127 流離する王族の装束
2128
2129 それは美しい贈り物である
2130 どこかで野垂れ死ぬときに
2131 王族の恥とならぬように
2132 </text>
2133 <text id="741000">鮮やかな濃紺のフード付きマント
2134 流離する王族の装束
2135 精神力を高める
2136
2137 それは、使命の旅へと贈られる
2138 遥か彼方、二度と帰ることのない旅立ちに
2139 仕方ない。導きが、見えてしまったのだから
2140 </text>
2141 <text id="760000">黒鉄を金で装飾した獣の兜
2142 黒き剣のマリケスの装備
2143
2144 女王マリカの忠実な義弟にして
2145 その剣に運命の死を宿したマリケスは
2146 すべてのデミゴッドの、怖れであった
2147
2148 怖れを知るからこそ
2149 彼らは英雄だった
2150 </text>
2151 <text id="760100">黒鉄を金で装飾した獣の胸鎧
2152 黒き剣のマリケスの装備
2153
2154 女王マリカの忠実な義弟にして
2155 その剣に運命の死を宿したマリケスは
2156 すべてのデミゴッドの、怖れであった
2157
2158 怖れを知るからこそ
2159 彼らは英雄だった
2160 </text>
2161 <text id="760200">黒鉄を金で装飾した獣の手甲

1184 恵みを祝う、ささやかな祭りのための装束
1185
1186 ほんのりと色づく白い花の刺繍は
1187 恵みの清廉、そして艶やかさを感じさせる

1188 </text>
1189 <text id="802000">赤く染め上げられた美しいフード
1190 恵みを祝う、ささやかな祭りのための装束
1191
1192 祭りの主役、年乙女にだけ許されたそれは
1193 可憐に色づいた野花の花冠で飾られている</text>
1194 <text id="802100">丁寧な刺繍で彩られた礼服
1195 恵みを祝う、ささやかな祭りのための装束

2162 黒き剣のマリケスの装備
2163
2164 女王マリカの忠実な義弟にして
2165 その剣に運命の死を宿したマリケスは
2166 すべてのデミゴッドの、怖れであった
2167
2168 怖れを知るからこそ
2169 彼らは英雄だった
2170 </text>
2171 <text id="760300">黒鉄を金で装飾した獣の足甲
2172 黒き剣のマリケスの装備
2173
2174 女王マリカの忠実な義弟にして
2175 その剣に運命の死を宿したマリケスは
2176 すべてのデミゴッドの、怖れであった
2177
2178 怖れを知るからこそ
2179 彼らは英雄だった
2180 </text>
2181 <text id="761100">黒鉄を金で装飾した獣の胴鎧
2182 黒き剣のマリケスの装備
2183
2184 女王マリカの忠実な義弟にして
2185 その剣に運命の死を宿したマリケスは
2186 すべてのデミゴッドの、怖れであった
2187
2188 怖れを知るからこそ
2189 彼らは英雄だった
2190 </text>
2191 <text id="770000">無垢金で作られた翼の兜
2192 ミケラの刃、マレニアの装備
2193
2194 彼女は、抜け殻の足元でミケラを待ち続けた
2195
2196 兄さまが、約束を違えるはずがない
2197 神の知恵、神の誘惑。ミケラこそ
2198 もっとも恐ろしい神人なのだから
2199 </text>
2200 <text id="770100">無垢金で作られた胴鎧
2201 ミケラの刃、マレニアの装備
2202
2203 彼女は、抜け殻の足元でミケラを待ち続けた
2204
2205 兄さまが、約束を違えるはずがない
2206 神の知恵、神の誘惑。ミケラこそ
2207 もっとも恐ろしい神人なのだから
2208 </text>
2209 <text id="770200">無垢金で作られた手甲
2210 ミケラの刃、マレニアの装備
2211
2212 彼女は、抜け殻の足元でミケラを待ち続けた
2213
2214 兄さまが、約束を違えるはずがない
2215 神の知恵、神の誘惑。ミケラこそ
2216 もっとも恐ろしい神人なのだから
2217 </text>
2218 <text id="770300">無垢金で作られた足甲
2219 ミケラの刃、マレニアの装備
2220
2221 彼女は、抜け殻の足元でミケラを待ち続けた
2222
2223 兄さまが、約束を違えるはずがない
2224 神の知恵、神の誘惑。ミケラこそ
2225 もっとも恐ろしい神人なのだから
2226 </text>
2227 <text id="771100">無垢金で作られた胴鎧
2228 ミケラの刃、マレニアの装備
2229
2230 彼女は、抜け殻の足元でミケラを待ち続けた
2231
2232 兄さまが、約束を違えるはずがない
2233 神の知恵、神の誘惑。ミケラこそ
2234 もっとも恐ろしい神人なのだから
2235 </text>
2236 <text id="780000">使い込まれた歴戦の兜
2237 ソールの宿将、ニアールの装備
2238
2239 ただ一人生き残り、霊たちを率い
2240 とうの昔に死した主を守る
2241 それがニアールの、あり様であった
2242
2243 老将は死なず。去り行く先もなかった
2244 </text>
2245 <text id="780100">使い込まれた歴戦の胴鎧
2246 ソールの宿将、ニアールの装備
2247
2248 ただ一人生き残り、霊たちを率い
2249 とうの昔に死した主を守る
2250 それがニアールの、あり様であった
2251
2252 老将は死なず。去り行く先もなかった
2253 </text>
2254 <text id="780200">使い込まれた歴戦の手甲
2255 ソールの宿将、ニアールの装備
2256
2257 ただ一人生き残り、霊たちを率い
2258 とうの昔に死した主を守る
2259 それがニアールの、あり様であった
2260
2261 老将は死なず。去り行く先もなかった
2262 </text>
2263 <text id="780300">使い込まれた歴戦の足甲
2264 ソールの宿将、ニアールの装備
2265
2266 ただ一人生き残り、霊たちを率い
2267 とうの昔に死した主を守る
2268 それがニアールの、あり様であった
2269
2270 老将は死なず。去り行く先もなかった
2271 </text>
2272 <text id="781100">使い込まれた歴戦の胴鎧
2273 ソールの宿将、ニアールの装備
2274
2275 ただ一人生き残り、霊たちを率い
2276 とうの昔に死した主を守る

1196
1197
1198
青く染め上げられた美しいマントは
祭りの主役、年乙女にだけ許されるものだ

2277
2278
2279
2280
2281
2282
2283
2284
2285
2286
2287
2288
2289
2290
2291
2292
2293
2294
2295
2296
2297
2298
2299
2300
2301
2302
2303
2304
2305
2306
2307
2308
2309
2310
2311
2312
2313
2314
2315
2316
2317
2318
2319
2320
2321
2322
2323
2324
2325
2326
2327
2328
2329
2330
2331
2332
2333
2334
2335
2336
2337
2338
2339
2340
2341
2342
2343
2344
2345
2346
2347
2348
2349
2350
2351
2352
2353
2354
2355
2356
2357
2358
2359
2360
2361
2362
2363
2364
2365
2366
2367
2368
2369
2370
2371
2372
2373
2374
2375
2376
2377
2378
2379
2380
2381
2382
2383
2384
2385
2386
2387
2388
2389
2390
2391
それがニアルの、あり様であった
老将は死なず。去り行く先もなかった
</text>
<text id="790000">嘴の尖った金属兜
獵犬騎士たちの装備
獵犬として訓練を受けた彼らは
執念深い追跡者として知られる
人語は介さず、各々が主を選んで仕え
仕えた後は決して裏切らぬという
</text>
<text id="790100">胸の尖った金属の胴鎧
獵犬騎士たちの装備
獵犬として訓練を受けた彼らは
執念深い追跡者として知られる
人語は介さず、各々が主を選んで仕え
仕えた後は決して裏切らぬという
</text>
<text id="790200">獵犬騎士たちの金属の手甲
獵犬として訓練を受けた彼らは
執念深い追跡者として知られる
人語は介さず、各々が主を選んで仕え
仕えた後は決して裏切らぬという
</text>
<text id="790300">獵犬騎士たちの金属の足甲
獵犬として訓練を受けた彼らは
執念深い追跡者として知られる
人語は介さず、各々が主を選んで仕え
仕えた後は決して裏切らぬという
</text>
<text id="791100">胸の尖った金属の胴鎧
獵犬騎士たちの装備
獵犬として訓練を受けた彼らは
執念深い追跡者として知られる
人語は介さず、各々が主を選んで仕え
仕えた後は決して裏切らぬという
</text>
<text id="800000">風車の村、ドミヌラの祝祭で用いられる
踊り子たちのフード
色とりどりの花で、可憐に飾られている
</text>
<text id="800100">風車の村、ドミヌラの祝祭で用いられる
踊り子たちの礼服
うっすらと血汚れが見られる
</text>
<text id="801000">風車の村、ドミヌラの祝祭で用いられる
踊り子たちのフード
色とりどりの花で、可憐に飾られている
</text>
<text id="801100">風車の村、ドミヌラの祝祭で用いられる
踊り子たちの礼服
うっすらと血汚れが見られる
</text>
<text id="802000">風車の村、ドミヌラの祝祭で用いられる
踊り子たちのフード
青く染め上げられた美しいそれは
祝祭の主役、年乙女にだけ許されるものだ
</text>
<text id="810000">頭冠で布を留めたもの
狭間の地の、あり触れた市民の装束
だが、まともな市民など
もうどこにもいない
</text>
<text id="810100">厚手の刺繍マントを纏った服
狭間の地の、あり触れた市民の装束
首から掛けた、穴あきの樹板は
自らが黄金樹の民であることを示す
自縛の枷であるといい、信仰を高める
</text>
<text id="810300">簡素な布製の靴
狭間の地の、あり触れた市民の装束
だが、まともな市民など
もうどこにもいない
</text>
<text id="811000">布を取り去った頭冠
狭間の地の、あり触れた市民の装束
だが、まともな市民など
もうどこにもいない
</text>
<text id="811100">細かな刺繍の施された服
狭間の地の、あり触れた市民の装束
首から掛けた、穴あきの樹板は
自らが黄金樹の民であることを示す
自縛の枷であるといい、信仰を高める
</text>
<text id="812000">簡素な布マントを纏った服
狭間の地の、あり触れた市民の装束
首から掛けた、穴あきの樹板は

1199 </text>
1200 <text id="810000">ルーンに呪われた市民たちのフード</text>
1201 <text id="810100">ルーンに呪われた市民たちの服</text>
1202 <text id="810300">ルーンに呪われた市民たちの腰巻き</text>
1203 <text id="811000">ルーンに呪われた市民たちの服</text>
1204 <text id="811100">ルーンに呪われた市民たちの服</text>
1205 <text id="812000">ルーンに呪われた市民たちの冠</text>
1206 <text id="812100">ルーンに呪われた市民たちの服</text>
1207 <text id="820000">頭をすっぽりと覆った、白銀の頭冠</text>
1208 <text id="830000">双水晶の賢者が象られた、石の仮面</text>
1209 <text id="830100">レアルカリアの魔術学徒が纏うローブ
1210
1211 上質だが簡素な濃紺のそれは
1212 星の琥珀たる輝石の探究に一生を捧げる
1213 賢貧の宣誓と共に与えられる
1214
1215 だが長き生では、誰もが誓いを忘れてしまう
1216 </text>
1217 <text id="830200">レアルカリアの魔術学徒が用いる腕巻き
1218 ありふれた布を巻きつけただけのもの
1219 </text>
1220 <text id="830300">レアルカリアの魔術学徒が用いる脚巻き
1221 ありふれた布を巻きつけただけのもの
1222 </text>
1223 <text id="831000">金琥珀の賢者が象られた、石の仮面</text>
1224 <text id="832000">赤い輝石の賢者が象られた、石の仮面</text>
1225 <text id="833000">レアルカリア中興の祖の一人
1226 賢者カロロスが象られた石膏の仮面
1227
1228 魔術学徒が被り、自らの輝石の系譜と
1229 賢貧の宣誓の在り処を示すもの
1230
1231 ものを見る目と、思考する頭
1232 魔術師とは、まずそれを捧げることだ
1233
1234 <text id="834000">緑の輝石の賢者が象られた、石の仮面</text>
1235 <text id="834100">緑の輝石の賢者が象られた、石の仮面
1236 しかし、輝石は砕かれ、壊れている
1237 </text>
1238 <text id="840000">板金の格子で補強された円筒の兜
1239 輝石魔術師の従者としても知られる
1240 人形兵たちのもの
1241
1242 その造りは、ごくぞんざいである
1243
1244 人形など、壊れなければそれでよい
1245 </text>
1246 <text id="840100">板金の格子で作られた胴鎧
1247 輝石魔術師の従者としても知られる
1248 人形兵たちのもの
1249
1250 その造りは、ごくぞんざいであり
1251 ひどく錆び付き歪んでいる
1252
1253 人形など、壊れなければそれでよい
1254 </text>
1255 <text id="850000">人形兵たちの鉄仮面</text>

2392 自らが黄金樹の民であること示す
2393 自縛の枷であるといい、信仰を高める
2394 </text>
2395 <text id="812100">簡素な布製の服
2396 狭間の地の、あり触れた市民の装束
2397
2398 首から掛けた、穴あきの樹板は
2399 自らが黄金樹の民であること示す
2400 自縛の枷であるといい、信仰を高める
2401 </text>
2402 <text id="820000">神託の使者たちが、頭に乘せる柔らかな塊
2403 何重にも布で巻かれ、ぎゅっと固定されている
2404
2405 シャボンの戦技を強化する
2406
2407 その中身は定かではないが
2408 微かな泣き声が、聞こえたことがあるという
2409 きつと空耳だろう
2410 </text>
2411 <text id="830000">魔術学院レアルカリアにおいて
2412 探求を認められた学徒が被る輝石頭のひとつ
2413
2414 HP、スタミナと引き換えに、知力を大きく高める
2415
2416 特に、双賢の教室に学ぶ者は選良であり
2417 系統を選ばず魔術を修めることが許された
2418 </text>
2419 <text id="830100">レアルカリアの魔術学徒が纏うローブ
2420
2421 上質だが簡素な濃紺のそれは
2422 星の琥珀たる輝石の探究に一生を捧げる
2423 賢貧の宣誓と共に与えられる
2424
2425 だが長き生では、誰もが誓いを忘れてしまう
2426 </text>
2427 <text id="830200">レアルカリアの魔術学徒が用いる腕巻き
2428 ありふれた布を巻きつけただけのもの
2429 </text>
2430 <text id="830300">レアルカリアの魔術学徒が用いる脚巻き
2431 ありふれた布を巻きつけただけのもの
2432 </text>
2433 <text id="831000">魔術学院レアルカリアにおいて
2434 探求を認められた学徒が被る輝石頭のひとつ
2435
2436 HPと引き換えに、知力を高める
2437
2438 オリヴィニスの教室は
2439 魔術師ルーサットをその起源とし
2440 流星の魔術を探求する
2441 </text>
2442 <text id="832000">魔術学院レアルカリアにおいて
2443 探求を認められた学徒が被る輝石頭のひとつ
2444
2445 HPと引き換えに、知力と技量を高める
2446
2447 ラズリの教室に学ぶ者は
2448 カーリアの魔術を修めんとし
2449 月を星と同等に見る、異端である
2450 </text>
2451 <text id="833000">魔術学院レアルカリアにおいて
2452 探求を認められた学徒が被る輝石頭のひとつ
2453
2454 スタミナと引き換えに、知力を高める
2455
2456 最古の教室たるカロロスは
2457 魔術師アズールをその起源とし
2458 彗星の魔術を探求する
2459 </text>
2460 <text id="834000">魔術学院レアルカリアにおいて
2461 探求を認められた学徒が被る輝石頭のひとつ
2462
2463 スタミナと引き換えに、知力と神秘を高める
2464
2465 この優しげな輝石頭は
2466 特に、卓越した女性の魔術学徒に
2467 魔女の二つ名と共に与えられた
2468 </text>
2469 <text id="834100">緑の輝石の賢者が象られた、石の仮面
2470 しかし、輝石は砕かれ、壊れている
2471 </text>
2472 <text id="840000">板金の格子で補強された円筒の兜
2473 魔術師の従者として作られた、人形兵の装備
2474
2475 その造りは、ごくぞんざいである
2476
2477 人形など、壊れなければそれでよい
2478 </text>
2479 <text id="840100">板金の格子で作られた胴鎧
2480 魔術師の従者として作られた、人形兵の装備
2481
2482 その造りは、ごくぞんざいであり
2483 ひどく錆び付き歪んでいる
2484
2485 人形など、壊れなければそれでよい
2486 </text>
2487 <text id="850000">鳥の顔を模したらしい金属の兜
2488 魔術師の従者として作られた、鳥人形兵の装備
2489
2490 その造りは、ごくぞんざいである
2491

1256 <text id="860000">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
1257 狼の戦鬼バルグラムの兜
1258
1259 その異名の故となる、**白狼の鬘があしらわれている**

1260 </text>
1261 <text id="860100">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
1262 狼の戦鬼バルグラムの胴鎧
1263
1264 古い伝承によれば、狼は神人の影であり
1265 バルグラムもまた、そういうあり様を望んだ
1266 </text>
1267 <text id="860200">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
1268 狼の戦鬼バルグラムの手甲
1269
1270 古い伝承によれば、狼は神人の影であり
1271 バルグラムもまた、そういうあり様を望んだ
1272 </text>
1273 <text id="860300">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
1274 狼の戦鬼バルグラムの足甲
1275
1276 古い伝承によれば、狼は神人の影であり
1277 バルグラムもまた、そういうあり様を望んだ
1278 </text>
1279 <text id="861100">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
1280 狼の戦鬼バルグラムの胴鎧
1281
1282 古い伝承によれば、狼は神人の影であり
1283 バルグラムもまた、そういうあり様を望んだ
1284 </text>
1285 <text id="870000">鉄片を繋ぎ合わせ作られた兜
1286 葦の地の戦士の装束
1287
1288 文化的な断絶が長く続いたその地では
1289 悲惨な内戦が、ずっと続いているという
1290 故に皆、血生臭い狂気を孕むのだと
1291 </text>
1292 <text id="870100">鉄片を繋ぎ合わせ作られた胴鎧
1293 葦の地の戦士の装束
1294
1295 薄汚れた、枯れた植物の外套は
1296 故郷の葦で編まれている
1297 あるいは、偲ぶ思いも残ってだろうか
1298 </text>
1299 <text id="870200">硬い革を巻き付けた手甲
1300 葦の地の戦士の装束
1301 </text>
1302 <text id="870300">硬い革を巻き付けた足甲
1303 葦の地の戦士の装束
1304 </text>
1305 <text id="871100">鉄片を繋ぎ合わせ作られた胴鎧
1306 葦の地の戦士の装束
1307
1308 **薄汚れた、枯れた植物の外套は**
1309 **故郷の葦で編まれている**
1310 **あるいは、偲ぶ思いも残ってだろうか**

2492 **人形など、壊れなければそれでよい**
2493 </text>
2494 <text id="860000">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
2495 狼の戦鬼バルグラムの兜
2496
2497 その異名の故となる
2498 **白狼の鬘があしらわれている**
2499 </text>
2500 <text id="860100">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
2501 狼の戦鬼バルグラムの胴鎧
2502
2503 古い伝承によれば、狼は神人の影であり
2504 バルグラムもまた、そういうあり様を望んだ
2505 </text>
2506 <text id="860200">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
2507 狼の戦鬼バルグラムの手甲
2508
2509 古い伝承によれば、狼は神人の影であり
2510 バルグラムもまた、そういうあり様を望んだ
2511 </text>
2512 <text id="860300">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
2513 狼の戦鬼バルグラムの足甲
2514
2515 古い伝承によれば、狼は神人の影であり
2516 バルグラムもまた、そういうあり様を望んだ
2517 </text>
2518 <text id="861100">円卓を訪れた、最初の褪せ人たちの一人
2519 狼の戦鬼バルグラムの胴鎧
2520
2521 古い伝承によれば、狼は神人の影であり
2522 バルグラムもまた、そういうあり様を望んだ
2523 </text>
2524 <text id="870000">鉄片を繋ぎ合わせ作られた兜
2525 葦の地の戦士の装束
2526
2527 文化的な断絶が長く続いたその地では
2528 悲惨な内戦が、ずっと続いているという
2529 故に皆、血生臭い狂気を孕むのだと
2530 </text>
2531 <text id="870100">鉄片を繋ぎ合わせ作られた胴鎧
2532 葦の地の戦士の装束
2533
2534 薄汚れた、枯れた植物の外套は
2535 故郷の葦で編まれている
2536 あるいは、偲ぶ思いも残ってだろうか
2537 </text>
2538 <text id="870200">硬い革を巻き付けた手甲
2539 葦の地の戦士の装束
2540 </text>
2541 <text id="870300">硬い革を巻き付けた足甲
2542 葦の地の戦士の装束
2543 </text>
2544 <text id="871100">鉄片を繋ぎ合わせ作られた胴鎧
2545 葦の地の戦士の装束
2546
2547 文化的な断絶が長く続いたその地では
2548 悲惨な内戦が、ずっと続いているという
2549 故に皆、血生臭い狂気を孕むのだと
2550 </text>
2551 <text id="872000">齒を剥く老人を象った木の仮面
2552 葦の地の大剣客、その通り名の由来
2553 技量を高めるが、正気耐性が下がってしまう
2554
2555 心を研ぎ澄ますほどに、下らぬものが見えてくる
2556 それらすべてを捨て去った先に、「翁」は生きた
2557 一振りの刀と一人の己。ただそれだけを極めん
2558
2559 そして「翁」は、修羅となった
2560 </text>
2561 <text id="872100">鉄片を繋ぎ合わせ作られた、白備えの胴鎧
2562 大剣客「翁」の高弟たるイナバ衆の装束
2563
2564 イナバ衆は、彼らを捨てた師を追い続けた
2565 尋常に斬り結び、屍山血河に死すために
2566
2567 白備えは、つまり死に装束であり
2568 剣客とは死狂いである
2569 </text>
2570 <text id="872200">鉄片を繋ぎ合わせ作られた、白備えの手甲
2571 大剣客「翁」の高弟たるイナバ衆の装束
2572
2573 イナバ衆は、彼らを捨てた師を追い続けた
2574 尋常に斬り結び、屍山血河に死すために
2575
2576 白備えは、つまり死に装束であり
2577 剣客とは死狂いである
2578 </text>
2579 <text id="872300">鉄片を繋ぎ合わせ作られた、白備えの足甲
2580 大剣客「翁」の高弟たるイナバ衆の装束
2581
2582 イナバ衆は、彼らを捨てた師を追い続けた
2583 尋常に斬り結び、屍山血河に死すために
2584
2585 白備えは、つまり死に装束であり
2586 剣客とは死狂いである
2587 </text>
2588 <text id="880000">闇に溶け込む黒のフード
2589 教会の密使の装備
2590
2591 狭間の外、二本指の教えを伝える教会は
2592 密使たちを祝福の導きに送り出す
2593
2594 決して二本指を裏切らぬ僕として
2595 そして、その敵を密かに狩る刃として
2596 </text>
2597 <text id="880100">闇に溶け込む黒革の胴鎧
2598 教会の密使の装備
2599
2600 狭間の外、二本指の教えを伝える教会は
2601 密使たちを祝福の導きに送り出す
2602
2603 決して二本指を裏切らぬ僕として
2604 そして、その敵を密かに狩る刃として
2605 </text>
2606 <text id="880200">教会の密使の用いる革手袋

```
1311 </text>
1312 <text id="872000">葦の地の老練の戦士を模した仮面</text>
1313 <text id="872100">葦の地の老練の戦士の腹当</text>
1314 <text id="872200">葦の地の老練の戦士の手甲</text>
1315 <text id="872300">葦の地の老練の戦士の足甲</text>
1316 <text id="880000">殺しを生業とするものたちが用いる黒いフード</text>
1317 <text id="880100">殺しを生業とするものたちが用いる黒いローブ</text>
1318 <text id="880200">殺しを生業とするものたちが用いる手袋</text>
1319 <text id="880300">殺しを生業とするものたちが用いるブーツ</text>
1320 <text id="881000">殺しを生業とするものたちが用いるマスク</text>
1321 <text id="881100">殺しを生業とするものたちが用いるベスト</text>
1322 <text id="890000">重罪を侵した囚人が、被せられる鉄の仮面
1323 分厚く、重く、狭苦しい
1324
1325 それは被る者を苛む悪意の塊であり
1326 ゆっくりと、心に何かを醸成する
1327 憎悪を。あるいはそれに似た信仰を
1328 </text>
1329 <text id="890100">ボロボロの布服
1330 重罪を侵した囚人のもの
1331
1332 一度も洗われず、汚れきっている
1333 </text>
1334 <text id="890300">ボロボロのズボン
1335 重罪を侵した囚人のもの
1336
1337 一度も洗われず、汚れきっており
1338 ひどく臭う
1339 </text>
1340 <text id="891000">凶暴な囚人にのみ付けられる鉄の仮面</text>
1341 <text id="900000">旅の聖女が身に着けるフード</text>
1342 <text id="900100">旅の聖女が身に着けるローブ</text>
1343 <text id="900200">旅の聖女が身に着ける手袋</text>
1344 <text id="900300">旅の聖女が身に着けるスカート</text>
1345 <text id="901100">旅の聖職者が身に着ける上衣</text>
1346 <text id="902000">聖女が身に着ける頭冠</text>
1347 <text id="902100">聖女が身に着けるドレス</text>
1348 <text id="902300">聖女が身に着けるスカート</text>
1349 <text id="903100">聖女が身に着ける上衣</text>
1350 <text id="910000">冷酷な教戒師たちが身にまとう帽子</text>
1351 <text id="910100">冷酷な教戒師たちが身にまとう長衣</text>
1352 <text id="910200">冷酷な教戒師たちが身にまとう手袋</text>
1353 <text id="910300">冷酷な教戒師たちが身にまとうブーツ</text>
1354 <text id="911000">冷酷な教戒師たちが身にまとうフード</text>
1355 <text id="911100">冷酷な教戒師たちが身にまとうベスト</text>
```

```
2607
2608 狭間の外、二本指の教えを伝える教会は
2609 密使たちを祝福の導きに送り出す
2610
2611 決して二本指を裏切らぬ僕として
2612 そして、その敵を密かに狩る刃として
2613 </text>
2614 <text id="880300">教会の密使の用いる革のブーツ
2615
2616 狭間の外、二本指の教えを伝える教会は
2617 密使たちを祝福の導きに送り出す
2618
2619 決して二本指を裏切らぬ僕として
2620 そして、その敵を密かに狩る刃として
2621 </text>
2622 <text id="881000">闇に溶け込む黒のフード
2623 その内に纏う頭巾
2624 </text>
2625 <text id="881100">闇に溶け込む黒革の胴鎧
2626 教会の密使の装備
2627
2628 狭間の外、二本指の教えを伝える教会は
2629 密使たちを祝福の導きに送り出す
2630
2631 決して二本指を裏切らぬ僕として
2632 そして、その敵を密かに狩る刃として
2633 </text>
2634
2635 <text id="890000">重罪を侵した囚人が、被せられる鉄の仮面
2636 分厚く、重く、狭苦しい
2637
2638 それは被る者を苛む悪意の塊であり
2639 ゆっくりと、心に何かを醸成する
2640 憎悪を。あるいは、それによく似た強い意志を
2641 </text>
2642 <text id="890100">ボロボロの布服
2643 重罪を侵した囚人のもの
2644
2645 一度も洗われず、汚れきっている
2646 </text>
2647 <text id="890300">ボロボロのズボン
2648 重罪を侵した囚人のもの
2649
2650 一度も洗われず、汚れきっており
2651 ひどく臭う
2652 </text>
2653 <text id="891000">罪を侵した囚人が、被せられる鉄の仮面
2654 ならず者こと、ピック・ボギーの装備
2655
2656 それは彼にとって
2657 己の危うさを誇張する、脅しの道具であり
2658 虚勢の殻でもあったのだろう
2659 </text>
2660 <text id="900000">旅をする巫女たちのフード
2661
2662 ある者は、指に見えんために
2663 またある者は、導くべき褪せ人に出会うために
2664 巫女たちは狭間の地を旅する
2665 </text>
2666 <text id="900100">旅をする巫女たちのローブ
2667
2668 ある者は、指に見えんために
2669 またある者は、導くべき褪せ人に出会うために
2670 巫女たちは狭間の地を旅する
2671 </text>
2672 <text id="900200">旅をする巫女たちの手袋
2673
2674 ある者は、指に見えんために
2675 またある者は、導くべき褪せ人に出会うために
2676 巫女たちは狭間の地を旅する
2677 </text>
2678 <text id="900300">旅をする巫女たちのブーツ
2679
2680 ある者は、指に見えんために
2681 またある者は、導くべき褪せ人に出会うために
2682 巫女たちは狭間の地を旅する
2683 </text>
2684 <text id="901100">旅をする巫女たちのローブ
2685 その内に纏う簡素な服
2686 </text>
2687 <text id="902000">二本指に仕える、巫女たちの帽子
2688
2689 彼女たちは、ただ一人の褪せ人に仕え
2690 導きと、二本指の言葉を伝える
2691
2692 祝福の導きが、二人を出会わせる
2693 かつては、そうであったという
2694 </text>
2695 <text id="902100">二本指に仕える、巫女たちのローブ
2696
2697 彼女たちは、ただ一人の褪せ人に仕え
2698 導きと、二本指の言葉を伝える
2699
2700 祝福の導きが、二人を出会わせる
2701 かつては、そうであったという
2702 </text>
2703 <text id="902300">二本指に仕える、巫女たちの靴
2704
2705 彼女たちは、ただ一人の褪せ人に仕え
2706 導きと、二本指の言葉を伝える
2707
2708 祝福の導きが、二人を出会わせる
2709 かつては、そうであったという
2710 </text>
2711 <text id="903100">二本指に仕える、巫女たちのローブ
```

```
1356 <text id="920000">野草で作られた被り物
1357 身に着けると、敵に発見されにくくなるかもしれない
1358 </text>
1359 <text id="930000">死の鳥に仕えるものたちのフード</text>
1360 <text id="930100">死の鳥に仕えるものたちのマント</text>
1361 <text id="930200">死の鳥に仕えるものたちの腕帯</text>
1362 <text id="930300">死の鳥に仕えるものたちのズボン</text>
1363 <text id="931100">死の鳥に仕えるものたちのベスト</text>
1364 <text id="940000">見取り人、ジェーレンのフード</text>
1365 <text id="940100">見取り人、ジェーレンの鎧</text>
1366 <text id="940200">見取り人、ジェーレンの手甲</text>
1367 <text id="940300">見取り人、ジェーレンのタイツ</text>
1368 <text id="941000">見取り人、ジェーレンのフード</text>
1369 <text id="950000">絶望と狂気に飲まれた、異形の騎士の兜</text>
1370 <text id="950100">絶望と狂気に飲まれた、異形の騎士の鎧</text>
1371 <text id="950200">絶望と狂気に飲まれた、異形の騎士の手甲</text>
1372 <text id="950300">絶望と狂気に飲まれた、異形の騎士の足甲</text>
1373 <text id="951100">絶望と狂気に飲まれた、異形の騎士の鎧</text>
1374 <text id="960000">火山館の主人、タニスの白仮面</text>
1375 <text id="960100">火山館の主人、タニスのドレス</text>
1376 <text id="960300">火山館の主人、タニスのスカート</text>
1377 <text id="961000">火山館の招き手、ラーヤの石仮面</text>
1378 <text id="961100">豪華な刺繍が編まれた貴族のローブ</text>
1379 <text id="962100">豪華な刺繍が編まれた貴族の長衣</text>
1380 <text id="963000">白髪の埋め込まれた、不気味な銀の仮面</text>
1381 <text id="963100">丈夫な布で織られた地方貴族のケープ</text>
1382 <text id="963200">丈夫な布で織られた地方貴族の腕帯</text>
1383 <text id="964000">血で汚れた、古い包帯</text>
1384 <text id="964100">丈夫な布で織られた地方貴族の長衣</text>
1385 <text id="970000">呪いに蝕まれた、忌み子の兜</text>
1386 <text id="970100">呪いに蝕まれた、忌み子の胸鎧</text>
1387 <text id="970200">呪いに蝕まれた、忌み子の手甲</text>
1388 <text id="970300">呪いに蝕まれた、忌み子の足甲</text>
```

```
2712 彼女たちは、ただ一人の褪せ人に仕え
2713 導きと、二本指の言葉を伝える
2714
2715 祝福の導きが、二人を出会わせる
2716 かつては、そうであったという
2717 </text>
2718 <text id="910000">鏢の内に、星の運行が描かれた大帽子
2719 カーリア王家に仕える、魔術教授の装束
2720
2721 スタミナと引き換えに、精神力を高める
2722
2723 輝石の魔術師とは、星見の末であり
2724 カーリアはそれを忘れない
2725 今はもう、運命が星と共にないとしても
2726 </text>
2727 <text id="910100">星の運行が描かれた、鮮やかな青の長衣
2728 カーリア王家に仕える、魔術教授の装束
2729
2730 輝石の魔術師とは、星見の末であり
2731 カーリアはそれを忘れない
2732 今はもう、運命が星と共にないとしても
2733 </text>
2734 <text id="910200">カーリア王家に仕える、魔術教授の手袋
2735 黒く、ごく目立たぬもの
2736 </text>
2737 <text id="910300">カーリア王家に仕える、魔術教授のズボン
2738 黒く、ごく目立たぬもの
2739 </text>
2740 <text id="911000">黄金の糸で、その口を縫い塞がれた仮面
2741 神秘を高める
2742
2743 レナラの夫となったラダゴンが
2744 カーリアの魔術教授たちに強いたもの
2745 我が事は、すべて秘匿と心得よ
2746 </text>
2747 <text id="911100">星の運行が描かれた、鮮やかな青の長衣
2748 その下に纏う、ごく目立たぬ服
2749 </text>
2750 <text id="920000">野草で作られた被り物
2751 身に着けると、敵に発見されにくくなるかもしれない
2752 </text>
2753 <text id="930000">食い込むように顔を覆う、死骨の仮面
2754 カラス山の凶手たちの装束
2755
2756 自らを死の猛禽に擬す時に
2757 人たる意識を残すための呪具であり
2758 被る者を、締め付け続ける
2759 </text>
2760 <text id="930100">猛禽の黒羽で作られたローブ
2761 カラス山の凶手たちの装束
2762
2763 自らを死の猛禽に擬すための呪具であり
2764 ジャンプ攻撃が強化される
2765 我がこは、死の鳥なり
2766 </text>
2767 <text id="930200">汚れた布を巻いただけの装備
2768 盗賊たちの腕巻き
2769 </text>
2770 <text id="930300">盗賊たちの革製のブーツ
2771
2772 動きを邪魔しない軽さ、音を立てぬ滑らかさ
2773 そういったものが重視され、カット率は低い
2774 </text>
2775 <text id="931100">盗賊たちの革製の胴着
2776
2777 動きを邪魔しない軽さ、音を立てぬ滑らかさ
2778 そういったものが重視され、カット率は低い
2779 </text>
2780 <text id="940000">頭頂を尖らせた、ボロ布のフード
2781 騎士ジェーレンの装備
2782
2783 その下には、老いた髭面の仮面が隠されている
2784
2785 ジェーレンは、將軍ラダゴンの客将であり
2786 互いに「名譽の死」を約束したという
2787
2788 </text>
2789 <text id="940100">色鮮やかな奇矯の胸鎧
2790 騎士ジェーレンの装備
2791
2792 放浪を好んだジェーレンは
2793 カーリア王家の客人として過ごした後
2794 將軍ラダゴンの客将となった
2795
2796 そして根無し草は、律義にも
2797 約束に縛られていった
2798 </text>
2799 <text id="940200">騎士ジェーレンの腕帯
2800
2801 放浪を好んだジェーレンは
2802 カーリア王家の客人として過ごした後
2803 將軍ラダゴンの客将となった
2804
2805 そして根無し草は、律義にも
2806 約束に縛られていった
2807 </text>
2808 <text id="940300">色鮮やかな奇矯のズボン
2809 騎士ジェーレンの装備
2810
2811 放浪を好んだジェーレンは
2812 カーリア王家の客人として過ごした後
2813 將軍ラダゴンの客将となった
2814
2815 そして根無し草は、律義にも
2816 約束に縛られていった
2817 </text>
2818 <text id="941000">頭頂を尖らせた、ボロ布のフード
2819 騎士ジェーレンの装備
2820
2821 その下には、老いた髭面の仮面が隠されている
2822
2823 ジェーレンは、將軍ラダゴンの客将であり
2824 互いに「名譽の死」を約束したという
2825 </text>
2826 <text id="950000">指痕に焼け爛れた鉄兜
```

円卓の騎士、ヴァイクの装備

ヴァイクは、かつて
エルデの王に最も近づいた褪せ人の一人であったが
突然に王都の奥深くに潜り、狂い火に焼け爛れた

それは、己の巫女のためだったろうか
あるいは何者かが、唆しを囁いたのだろうか

</text>
<text id="950100">指痕に焼け爛れた鉄の胴鎧
円卓の騎士、ヴァイクの装備

ヴァイクは、かつて
エルデの王に最も近づいた褪せ人の一人であったが
突然に王都の奥深くに潜り、狂い火に焼け爛れた

それは、己の巫女のためだったろうか
あるいは何者かが、唆しを囁いたのだろうか

</text>
<text id="950200">指痕に焼け爛れた鉄の手甲
円卓の騎士、ヴァイクの装備

ヴァイクは、かつて
エルデの王に最も近づいた褪せ人の一人であったが
突然に王都の奥深くに潜り、狂い火に焼け爛れた

それは、己の巫女のためだったろうか
あるいは何者かが、唆しを囁いたのだろうか

</text>
<text id="950300">指痕に焼け爛れた鉄の足甲
円卓の騎士、ヴァイクの装備

ヴァイクは、かつて
エルデの王に最も近づいた褪せ人の一人であったが
突然に王都の奥深くに潜り、狂い火に焼け爛れた

それは、己の巫女のためだったろうか
あるいは何者かが、唆しを囁いたのだろうか

</text>
<text id="951100">指痕に焼け爛れた鉄の胴鎧
円卓の騎士、ヴァイクの装備

ヴァイクは、かつて
エルデの王に最も近づいた褪せ人の一人であったが
突然に王都の奥深くに潜り、狂い火に焼け爛れた

それは、己の巫女のためだったろうか
あるいは何者かが、唆しを囁いたのだろうか

</text>
<text id="960000">異国の女王を象った仮面
火山館の主人、タニスの装束
技量を高める

かつて、異国の踊り子であったタニスは
ライカードに見初められ、側妃となった
そして、彼が冒涇の大蛇となった時
人として唯一人、その元に残った

タニスは、あの時初めて
ライカードに惹かれたのだ

</text>
<text id="960100">白絹で作られた上質なローブ
火山館の主人、タニスの装束

かつて、異国の踊り子であったタニスは
ライカードに見初められ、側妃となった
そして、彼が冒涇の大蛇となった時
人として唯一人、その元に残った

タニスは、あの時初めて
ライカードに惹かれたのだ

</text>
<text id="960300">上品な白布のズボン
白絹のローブの下に纏うもの

</text>
<text id="961000">老賢を象った仮面
小国の領主たちの装束
信仰を高める

それは、領主たる理想を示しているとされる
賢くも、牙を抜かれた優しき者
中央にとって、それが最も都合がよい

</text>
<text id="961100">小国の領主たちのローブ
青い外套が、領主たる地位の証である

</text>
<text id="962100">刺繍のされた若草色のローブ
貴族の子弟が身につけるもの

それは、親離れのはじまりを示すという

</text>
<text id="963000">白髪の貴公子を象った仮面
マレー家の当主の装束
神秘を高める

日陰城の城主たるマレー家は
代々、処刑人の一族でもあり
この仮面は、その初代の似姿である

</text>
<text id="963100">黒い外套を肩にかけたローブ
マレー家の当主の装束

マレー家の男子は、皆病と共に生まれる
だからこそ、マレーマレーは惹かれたのだろう
生まれながらに、腐敗の宿痾に侵されながら
美しくも熾烈な女神に

</text>
<text id="963200">血の滲んだ包帯を、きつく巻いた腕帯
爛れた手先を保護するもの

</text>
<text id="964000">血の滲んだ包帯を、頭全体に巻いた覆面
爛れた素顔を保護し、また隠すもの

</text>
<text id="964100">薄汚れた青色のローブ
過酷な役目を負った、官吏たちの装束

1389 <text id="980000">かつてカーリア王家に仕えた
1390 魔術騎士たちの兜
1391
1392 月の女王に叙勲された騎士たちは
1393 何れも一騎当千の英雄であったが
1394 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
1395 </text>
1396 <text id="980100">かつてカーリア王家に仕えた
1397 魔術騎士たちの鎧
1398
1399 月の女王に叙勲された騎士たちは
1400 何れも一騎当千の英雄であったが
1401 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
1402 </text>
1403 <text id="980200">かつてカーリア王家に仕えた
1404 魔術騎士たちの手甲
1405
1406 月の女王に叙勲された騎士たちは
1407 何れも一騎当千の英雄であったが
1408 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
1409 </text>
1410 <text id="980300">かつてカーリア王家に仕えた
1411 魔術騎士たちの足甲
1412
1413 月の女王に叙勲された騎士たちは
1414 何れも一騎当千の英雄であったが
1415 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
1416 </text>
1417 <text id="981100">かつてカーリア王家に仕えた
1418 魔術騎士たちの胴鎧
1419
1420 月の女王に叙勲された騎士たちは
1421 何れも一騎当千の英雄であったが
1422 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
1423 </text>
1424 <text id="990000">隠遁した大魔術師が身に着けていた眼帯</text>
1425 <text id="990100">隠遁した大魔術師が身に着けていたケープ</text>
1426 <text id="990200">隠遁した大魔術師が身に着けていた腕帯</text>
1427 <text id="990300">隠遁した大魔術師が身に着けていた靴</text>
1428 <text id="991100">隠遁した大魔術師が身に着けていた上衣</text>
1429 <text id="1000000">学院を離れた、輝石魔術師の仮面</text>
1430 <text id="1000100">学院を離れた、輝石魔術師のローブ</text>
1431 <text id="1000200">学院を離れた、輝石魔術師の腕帯</text>
1432 <text id="1000300">学院を離れた、輝石魔術師の腰巻き</text>
1433 <text id="1010000">魔女ラニが身に着けていた帽子</text>
1434 <text id="1010100">魔女ラニが身に着けていたローブ</text>
1435 <text id="1010300">魔女ラニが身に着けていたスカート</text>
1436 <text id="1011100">魔女ラニが身に着けていたドレス</text>
1437 <text id="1020100">メリナが身に着けていたローブ</text>
1438 <text id="1020200">メリナが身に着けていた腕帯</text>
1439 <text id="1020300">メリナが身に着けていたスカート</text>
1440 <text id="1030000">レアルカリアの学院で使用される学生帽</text>
1441 <text id="1030100">レアルカリアの学院で使用されるローブ</text>
1442 <text id="1040000">黄金律の探究者が身に着けていた仮面</text>
1443 <text id="1040100">黄金律の探究者が身に着けていたローブ</text>
1444 <text id="1040200">黄金律の探究者が身に着けていた腕帯</text>
1445 <text id="1040300">黄金律の探究者が身に着けていた腰巻き</text>
1446 <text id="1050100">エルデの王、モーゴットのローブ</text>
1447 <text id="1060000">モノ言わぬ「カエル」たちの頭を模した被り物</text>
1448 <text id="1060100">モノ言わぬ「カエル」たちの鎖帷子</text>
1449 <text id="1070000">神代の英雄が身に着けていた仮面</text>
1450 <text id="1070100">神代の英雄が身に着けていた胴鎧</text>
1451 <text id="1070200">神代の英雄が身に着けていた腕巻き</text>
1452 <text id="1070300">神代の英雄が身に着けていた腰巻き</text>
1453 <text id="1080000">動物を模して作られた古代の仮面</text>
1454 <text id="1081000">動物を模して作られた古代の仮面</text>
1455 <text id="1082000">動物を模して作られた古代の仮面</text>
1456 <text id="1083000">動物を模して作られた古代の仮面</text>
1457 <text id="1084000">動物を模して作られた古代の仮面</text>
1458 <text id="1085000">動物を模して作られた古代の仮面</text>
1459 <text id="1090000">銀色の雫が球体となり、頭部を覆ったもの</text>

2942
2943 監視、処刑、陰惨な儀式
2944 だが人は、暗い役目にこそ依存する
2945 </text>
2946 <text id="970000">角を切られた忌み子を模した、異形の兜
2947 糞喰いの装備
2948
2949 それは彼の心象風景の現れであり
2950 姿見に見た、己の真の姿であるという
2951
2952 忌み子の心、そうでない姿
2953 こんなにも苦しいことがあるものか
2954 だったら全て、呪われるがいい
2955 </text>
2956 <text id="970100">角を切られた忌み子を模した、異形の胴鎧
2957 糞喰いの装備
2958
2959 太陽のメダルは、かつて彼が見た導きであり
2960 その先でいつか見える、輪の似姿であるという
2961 </text>
2962 <text id="970200">角を切られた忌み子を模した、異形の手甲
2963 糞喰いの装備
2964
2965 それは彼の心象風景の現れであり
2966 姿見に見た、己の真の姿であるという
2967
2968 忌み子の心、そうでない姿
2969 こんなにも苦しいことがあるものか
2970 だったら全て、呪われるがいい
2971 </text>
2972 <text id="970300">角を切られた忌み子を模した、異形の足甲
2973 糞喰いの装備
2974
2975 それは彼の心象風景の現れであり
2976 姿見に見た、己の真の姿であるという
2977
2978 忌み子の心、そうでない姿
2979 こんなにも苦しいことがあるものか
2980 だったら全て、呪われるがいい
2981 </text>
2982 <text id="980000">かつてカーリア王家に仕えた
2983 魔術騎士たちの兜
2984
2985 月の女王に叙勲された騎士たちは
2986 何れも一騎当千の英雄であったが
2987 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
2988 </text>
2989 <text id="980100">かつてカーリア王家に仕えた
2990 魔術騎士たちの胴鎧
2991
2992 月の女王に叙勲された騎士たちは
2993 何れも一騎当千の英雄であったが
2994 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
2995 </text>
2996 <text id="980200">かつてカーリア王家に仕えた
2997 魔術騎士たちの手甲
2998
2999 月の女王に叙勲された騎士たちは
3000 何れも一騎当千の英雄であったが
3001 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
3002 </text>
3003 <text id="980300">かつてカーリア王家に仕えた
3004 魔術騎士たちの足甲
3005
3006 月の女王に叙勲された騎士たちは
3007 何れも一騎当千の英雄であったが
3008 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
3009 </text>
3010 <text id="981100">かつてカーリア王家に仕えた
3011 魔術騎士たちの胴鎧
3012
3013 月の女王に叙勲された騎士たちは
3014 何れも一騎当千の英雄であったが
3015 王家の衰退と共に、誰もいなくなった
3016 </text>
3017 <text id="990000">魔術学院レアルカリアにおいて
3018 探求を認められた学徒が被る輝石頭のひとつ
3019
3020 FPと引き換えに、知力と持久力を高める
3021
3022 ヤロダスの輝石頭は、学院を離れ
3023 放浪に学ばんとする者に与えられた
3024 </text>
3025 <text id="990100">変哲もない厚布のローブ
3026 円卓を訪れた最初の褪せ人の一人
3027 はぐれ魔術師、ヴィルヘルムの装束
3028
3029 魔術の源流にさえ触れた、静かなる求道者は
3030 導きの果てに、友たるバルグラムと相討ち
3031 そのまま円卓に囚われたという
3032 </text>
3033 <text id="990200">変哲もない革の腕巻き
3034 その手には、鈍い輝石が散りばめられている
3035 </text>
3036 <text id="990300">変哲もない革のブーツ
3037 長き旅に耐えた、丈夫なもの
3038 </text>
3039 <text id="991100">変哲もない厚布のローブ
3040 円卓を訪れた最初の褪せ人の一人
3041 はぐれ魔術師、ヴィルヘルムの装束
3042
3043 魔術の源流にさえ触れた、静かなる求道者は
3044 導きの果てに、友たるバルグラムと相討ち
3045 そのまま円卓に囚われたという
3046 </text>
3047 <text id="1000000">魔術学院レアルカリアにおいて
3048 探求を認められた学徒が被る輝石頭のひとつ
3049
3050 FPと引き換えに、知力と筋力を高める
3051
3052 ハイマの教室に学ぶ者は
3053 争いを鎮める力として、砲と裁きの魔術を修める
3054 </text>
3055 <text id="1000100">レアルカリアの魔術学徒が纏うローブ
3056 その戦場でくたびれたもの

3057
3058 戦の度に、その門を閉ざす学院の中で
3059 ハイマの学徒だけが例外であった
3060 探究とは、閉じ籠ることではない
3061 それは体のよい逃避にすぎない
3062 </text>
3063 <text id="1000200">レアルカリアの魔術学徒が用いる腕巻き
3064 その戦場でくたびれたもの
3065 </text>
3066 <text id="1000300">レアルカリアの魔術学徒が用いる脚巻き
3067 その戦場でくたびれたもの
3068 </text>
3069 <text id="1010000">冷たく凍り付いた魔女の帽子
3070 異端の魔術師を示す尖り帽
3071 冷気の魔術を強化する
3072
3073 それは、幼少のラニが森の奥で出会い
3074 冷たい魔術を学んだ、老いた雪魔女の装束であり
3075 彼女がその魂を宿す、人形のモデルになったという
3076
3077 老魔女は、ラニの秘密の師であった
3078 </text>
3079 <text id="1010100">雪の色をした魔女のローブ
3080
3081 それは、幼少のラニが森の奥で出会い
3082 冷たい魔術を学んだ、老いた雪魔女の装束であり
3083 彼女がその魂を宿す、人形のモデルになったという
3084
3085 老魔女は、ラニの秘密の師であった
3086 </text>
3087 <text id="1010300">雪の色をした魔女のスカート
3088
3089 それは、幼少のラニが森の奥で出会い
3090 冷たい魔術を学んだ、老いた雪魔女の装束であり
3091 彼女がその魂を宿す、人形のモデルになったという
3092
3093 老魔女は、ラニの秘密の師であった
3094 </text>
3095 <text id="1011100">雪の色をした魔女のローブ
3096
3097 それは、幼少のラニが森の奥で出会い
3098 冷たい魔術を学んだ、老いた雪魔女の装束であり
3099 彼女がその魂を宿す、人形のモデルになったという
3100
3101 老魔女は、ラニの秘密の師であった
3102 </text>
3103 <text id="1020100">軽く丈夫な布の服
3104
3105 運命に向き合うために旅に出る
3106 娘たちの装束
3107 </text>
3108 <text id="1020200">軽く丈夫な革の腕帯
3109
3110 運命に向き合うために旅に出る
3111 娘たちの装束
3112 </text>
3113 <text id="1020300">軽く丈夫な革のブーツ
3114
3115 運命に向き合うために旅に出る
3116 娘たちの装束
3117 </text>
3118 <text id="1030000">レアルカリアの長たる女王レナラ
3119 その琥珀のタマゴにより生まれ直した
3120 幼年の魔術学徒たちの帽子
3121
3122 しかし、その生まれ直しは完全ではなく
3123 彼らはそれを、ずっと繰り返し
3124 いつかそれに依存してしまう
3125
3126 夜眠り、朝目覚めるように
3127 彼らは生まれ直し、すべてを忘れい<
3128 </text>
3129 <text id="1030100">レアルカリアの長たる女王レナラ
3130 その琥珀のタマゴにより生まれ直した
3131 幼年の魔術学徒たちのローブ
3132
3133 しかし、その生まれ直しは完全ではなく
3134 彼らはそれを、ずっと繰り返し
3135 いつかそれに依存してしまう
3136
3137 夜眠り、朝目覚めるように
3138 彼らは生まれ直し、すべてを忘れい<
3139 </text>
3140 <text id="1040000">輝ける黄金の輪を模した仮面
3141 黄金律原理主義の厳格なる探究者
3142 金仮面卿が作り、残したもの
3143
3144 黄金律の祈禱を強化する
3145
3146 それは、かつて彼に訪れた圧倒的閃きであり
3147 探求の先にあるはずの、輪の似姿であるという
3148
3149 もし君が、私と閃きを同じくするのなら
3150 これを被ってくれたまえ
3151 </text>
3152 <text id="1040100">かろうじて身に纏っているだけのボロボ
3153
3154 金仮面卿は、服を着る必要を感じない
3155 そんなものが、探求の助けになろうか
3156 </text>
3157 <text id="1040200">黄金樹の枝を模した腕巻き
3158 かつての弟子たちが施した、最低限の装飾
3159
3160 彼らはもう、とうの昔に去ってしまった
3161 </text>
3162 <text id="1040300">黄金樹の枝を模した腰巻き
3163 かつての弟子たちが施した、最低限の装飾
3164
3165 彼らはもう、とうの昔に去ってしまった
3166 </text>
3167 <text id="1050100">ボロボロの毛皮を、裸体の上に纏うもの
3168 忌み鬼、マルギットの装束
3169
3170 破碎戦争において、数多の英雄を狩った忌み鬼は
3171 黄金樹に挑み、王たる野心を抱く者たち

1460 <text id="1100000">細い鋼線で編まれた兜
1461 従軍する一兵士が纏うもの
1462 装飾性はないが堅実な防具
1463
1464 導きは、時に名も無き者にもたらされ
1465 それは運命と呼ばれている
1466 </text>
1467 <text id="1100100">細い鋼線で編まれた胴鎧
1468 従軍する一兵士が纏うもの
1469 装飾性はないが堅実な防具
1470
1471 導きは、時に名も無き者にもたらされ
1472 それは運命と呼ばれている
1473 </text>
1474 <text id="1100200">細い鋼線で編まれた手甲
1475 従軍する一兵士が纏うもの
1476 装飾性はないが堅実な防具
1477
1478 導きは、時に名も無き者にもたらされ
1479 それは運命と呼ばれている
1480 </text>
1481 <text id="1100300">細い鋼線で編まれた足甲
1482 従軍する一兵士が纏うもの
1483
1484 装飾性はないが堅実な防具
1485
1486 導きは、時に名も無き者にもたらされ
それは運命と呼ばれている

3172 そのすべての悪夢である
3173 </text>
3174 <text id="1060000">若きしろがね人の生皮を
3175 そのまま覆面としたもの
3176
3177 神秘が高まるが
3178 緋雫の聖杯瓶の回復量が少なくなる
3179
3180 神肌ならぬ、しろがね肌の覆面は
3181 嘲弄的悪意の産物であろう
3182 </text>
3183 <text id="1060100">若きしろがね人が纏う鎖帷子
3184 腹は出ているが、特筆すべき効果はない
3185 </text>
3186 <text id="1070000">巨人戦争の英雄として名高い
3187 ザミルの騎士たちの仮面
3188
3189 冷たい風を纏い、長き命を持つ彼らは
3190 太古から、火の巨人たちの宿敵であったという
3191 </text>
3192 <text id="1070100">巨人戦争の英雄として名高い
3193 ザミルの騎士たちの胴鎧
3194
3195 冷たい風を纏い、長き命を持つ彼らは
3196 太古から、火の巨人たちの宿敵であったという
3197 </text>
3198 <text id="1070200">巨人戦争の英雄として名高い
3199 ザミルの騎士たちの腕巻き
3200
3201 冷たい風を纏い、長き命を持つ彼らは
3202 太古から、火の巨人たちの宿敵であったという
3203 </text>
3204 <text id="1070300">巨人戦争の英雄として名高い
3205 ザミルの騎士たちの脚巻き
3206
3207 冷たい風を纏い、長き命を持つ彼らは
3208 太古から、火の巨人たちの宿敵であったという
3209 </text>
3210 <text id="1080000">インプのゴーレムの頭部を
3211 そのまま被ったもの
3212
3213 猫に似たそれには、僅かな知力が宿っている
3214 </text>
3215 <text id="1081000">インプのゴーレムの頭部を
3216 そのまま被ったもの
3217
3218 牙鬼のそれには、僅かな筋力が宿っている
3219 </text>
3220 <text id="1082000">インプのゴーレムの頭部を
3221 そのまま被ったもの
3222
3223 舌鬼のそれには、僅かな技量が宿っている
3224 </text>
3225 <text id="1083000">インプのゴーレムの頭部を
3226 そのまま被ったもの
3227
3228 亡者のそれには、僅かな信仰が宿っている
3229 </text>
3230 <text id="1084000">インプのゴーレムの頭部を
3231 そのまま被ったもの
3232
3233 狼に似たそれには、僅かな持久力が宿っている
3234 </text>
3235 <text id="1085000">インプのゴーレムの頭部を
3236 そのまま被ったもの
3237
3238 長老のそれには、僅かな神秘が宿っている
3239 </text>
3240 <text id="1090000">銀の雫と呼ばれる、不定形生物の死骸を
3241 その硬化した殻と共に被った仮面
3242
3243 物理攻撃力と引き換えに、神秘を大きく高める
3244
3245 模倣するものを、逆に模倣する
3246 逆転の冴えた発想であろう
3247 </text>
3248 <text id="1100000">細い鋼線で編まれた兜
3249 従軍する一兵士が纏うもの
3250
3251 装飾性はないが堅実な防具
3252
3253 </text>
3254 <text id="1100100">細い鋼線で編まれた胴鎧
3255 従軍する一兵士が纏うもの
3256
3257 装飾性はないが堅実な防具
3258
3259 </text>
3260 <text id="1100200">従軍する一兵士が纏う手甲
3261
3262 装飾性はないが堅実な防具
3263
3264 </text>
3265 <text id="1101000">鉄筒で頭部を覆う大兜
3266
3267 重苦しく、視界も悪いが
3268 その分カット率は高い
3269 </text>
3270 <text id="1101100">鎖帷子の上から
3271 茶色のサーコートを纏ったもの
3272
3273 瞳の紋章は、百智卿ギデオンに仕え
3274 彼の目であり、耳であった印である
3275 </text>
3276 <text id="1102100">鎖帷子の上から
3277 青色のサーコートを纏ったもの
3278

3279 樹の紋章は、黄金樹を描いたもので
3280 狭間の地で好まれた意匠である
3282 </text>
3283 <text id="1110000">陸ダコの子供を、そのまま頭に被ったもの
3284 人肌のような温もりが残っている
3285
3286 生臭いが、ぶよぶよと弾力があり
3287 特に打撃属性の攻撃をカットする
3288 </text>
3289 <text id="1120000">逆さに被り、頭をすっぽりと覆う壺
3290 鉄拳アレキサンダーの手作り
3291
3292 それはきっと、壺なりの友情の証であり
3293 投擲壺アイテムの威力を高める
3294 </text>
3295 <text id="1130000">びっしりと全身に生えたキノコ
3296 その頭の部分
3297
3298 朱い腐敗に心奪われた者たちが
3299 その地に根付かんとする聖衣
3300 </text>
3301 <text id="1130100">びっしりと全身に生えたキノコ
3302 その体の部分
3303
3304 朱い腐敗に心奪われた者たちが
3305 その地に根付かんとする聖衣
3306 </text>
3307 <text id="1130200">びっしりと全身に生えたキノコ
3308 その腕の部分
3309
3310 朱い腐敗に心奪われた者たちが
3311 その地に根付かんとする聖衣
3312 </text>
3313 <text id="1130300">びっしりと全身に生えたキノコ
3314 その脚の部分
3315
3316 朱い腐敗に心奪われた者たちが
3317 その地に根付かんとする聖衣
3318 </text>
3319 <text id="1300000">結晶鏡で作られた兜
3320 永遠の都の呪具のひとつ
3321 割れやすく、打撃には弱い
3322
3323 それは、大逆に従う者の装束であり
3324 大いなる意志と、その使いたる指の
3325 あらゆる干渉を跳ね除けるとい
3326 </text>
3327 <text id="1301000">結晶鏡で作られた兜
3328 軍師イジーが、肌身離さず被っていた
3329 割れやすく、打撃には弱い
3330
3331 それは、大逆に従う者の装束であり
3332 大いなる意志と、その使いたる指の
3333 あらゆる干渉を跳ね除けるとい
3334
3335 イジーは恐怖していたのだ
3336 自らの裏切りを
3337 </text>
3338 <text id="1400000">艶の無い黒布のフード
3339 その素顔と正体を隠す者たちの装束
3340
3341 この世には、知られるべきことなど
3342 殆ど存在しない
3343 </text>
3344 <text id="1400100">実戦的な軽量の革鎧
3345 スマートな戦士の装備
3346
3347 その男気と、正直な人柄に触れ
3348 これを纏う者に憧れる者は数多い
3349 </text>
3350 <text id="1400200">実戦的な軽量の革手袋
3351 スマートな戦士の装備
3352
3353 その男気と、正直な人柄に触れ
3354 これを纏う者に憧れる者は数多い
3355 </text>
3356 <text id="1400300">実戦的な、軽量の革のブーツ
3357 スマートな戦士の装備
3358
3359 その男気と、正直な人柄に触れ
3360 これを纏う者に憧れる者は数多い
3361 </text>
3362 <text id="1401000">黒布で口元を隠したマスク
3363 盗賊たちが、その素顔を隠し
3364 また、毒などに備えるもの
3365 </text>
3366 <text id="1500000">名も無き騎士の兜
3367 鉄の薄板が加工されている
3368
3369 金属の鎧は、重量があるが
3370 カット率が高く堅牢である
3371 </text>
3372 <text id="1500100">名も無き騎士の胴鎧
3373 鉄の薄板が加工されている
3374
3375 金属の鎧は、重量があるが
3376 カット率が高く堅牢である
3377 </text>
3378 <text id="1500200">名も無き騎士の手甲
3379 鉄の薄板が加工されている
3380
3381 金属の鎧は、重量があるが
3382 カット率が高く堅牢である
3383 </text>
3384 <text id="1500300">名も無き騎士の足甲
3385 鉄の薄板が加工されている
3386
3387 金属の鎧は、重量があるが
3388 カット率が高く堅牢である
3389 </text>
3390 <text id="1600000">頭よりも遥かに大きいフード
3391 追い求めた真実に出会ったとき
3392 それに包まれ、死んでいくための装束
3393

3394 HPと引き換えに、知力と信仰を高める
3395
3396 ああ、幼きレナは
3397 確かにこの月を見上げたのだ
3398 </text>
3399 <text id="1700000">接ぎ木のごドリックに仕える兵たちの兜
3400 鉄のヘルムに、鎖帷子を組み合わせたもの
3401 </text>
3402 <text id="1700100">接ぎ木のごドリックに仕える兵たちの胴鎧
3403
3404 サーコートには、遥かなる黄金樹と
3405 黄金の一族の象徴たる、宰相の獣が描かれている
3406 どちらも、今はなき過去の栄光である
3407 </text>
3408 <text id="1700200">接ぎ木のごドリックに仕える兵たちの手甲
3409 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3410 </text>
3411 <text id="1700300">接ぎ木のごドリックに仕える兵たちの足甲
3412 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3413 </text>
3414 <text id="1710000">魔術学院に仕える兵たちの兜
3415 その額には、カッコウの一枚羽が配されている
3416 </text>
3417 <text id="1710100">魔術学院に仕える兵たちの胴鎧
3418
3419 サーコートには、輝石の隆盛と
3420 それを覗き込むカッコウたちが描かれている
3421 輝石の魔術師にとって、その肉体は仮初にすぎない
3422 カッコウだけがそれを知り、見守るのだ
3423 </text>
3424 <text id="1710200">魔術学院に仕える兵たちの手甲
3425 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3426 </text>
3427 <text id="1710300">魔術学院に仕える兵たちの足甲
3428 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3429 </text>
3430 <text id="1720000">王都ローデイルを守る兵たちの兜
3431 鉄のヘルムに、鎖帷子を組み合わせたもの
3432 </text>
3433 <text id="1720100">王都ローデイルを守る兵たちの胴鎧
3434
3435 サーコートには、堂々たる黄金樹が描かれている
3436 その黄金の下地は、他の軍勢には許されていない
3437 </text>
3438 <text id="1720200">王都ローデイルを守る兵たちの手甲
3439 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3440 </text>
3441 <text id="1720300">王都ローデイルを守る兵たちの足甲
3442 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3443 </text>
3444 <text id="1730000">将軍ラダーンと共に戦った兵たちの兜
3445 その面頬は、獅子の牙を象っている
3446 </text>
3447 <text id="1730100">将軍ラダーンと共に戦った兵たちの胴鎧
3448
3449 サーコートには、ラダーンの似姿たる
3450 剣を掲げる赤毛の獅子が描かれている
3451 故に彼らは、赤獅子の軍団であり
3452 そのすべてが手練れである
3453 </text>
3454 <text id="1730200">将軍ラダーンと共に戦った兵たちの手甲
3455 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3456 </text>
3457 <text id="1730300">将軍ラダーンと共に戦った兵たちの足甲
3458 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3459 </text>
3460 <text id="1740100">歩く霊廟を守り続ける、首なし兵たちの胴鎧
3461
3462 サーコートには、霊廟の鐘が描かれている
3463 それは、魂なきデミゴッドを悼むように
3464 ずっと鳴り響いている
3465 </text>
3466 <text id="1740200">歩く霊廟を守り続ける、首なし兵たちの手甲
3467 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3468 </text>
3469 <text id="1740300">歩く霊廟を守り続ける、首なし兵たちの足甲
3470 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3471 </text>
3472 <text id="1750000">聖樹に仕える兵たちの兜
3473 鉄のヘルムに、無垢金の頭冠が付けられている
3474
3475 信仰を高める
3476 </text>
3477 <text id="1750100">聖樹に仕える兵たちの胴鎧
3478
3479 サーコートには、聖樹の紋章が描かれている
3480 ミケラの血を受けた、聖なる芽生えの若木
3481 だがそれは、遂に黄金樹とはならなかった
3482 </text>
3483 <text id="1750200">聖樹に仕える兵たちの手甲
3484 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3485 </text>
3486 <text id="1750300">聖樹に仕える兵たちの足甲
3487 終わりなき戦に錆び付き、汚れている
3488 </text>
3489 <text id="1760000">かつて、法務官ライカードに仕えた騎士たちの兜
3490 赤羽根の兜飾りは、ラダゴン王の子たる象徴である
3491 </text>
3492 <text id="1760100">かつて、法務官ライカードに仕えた騎士たちの胴鎧
3493
3494 今はもう、誰も掲げない紋章が描かれている
3495 覇王の雄心が、下卑きった食欲に堕した時
3496 彼らは、仕えるべき主を失ったのだ
3497 </text>
3498 <text id="1760200">かつて、法務官ライカードに仕えた騎士たちの手甲
3499 古びてなお、その輝きは失われていない
3500 </text>
3501 <text id="1760300">かつて、法務官ライカードに仕えた騎士たちの足甲
3502 古びてなお、その輝きは失われていない
3503 </text>
3504 <text id="1761100">かつて、法務官ライカードに仕えた騎士たちの胴鎧
3505
3506 今はもう、誰も掲げない紋章が描かれている
3507 覇王の雄心が、下卑きった食欲に堕した時
3508 彼らは、仕えるべき主を失ったのだ

```
3509 </text>
3510 <text id="1770000">接ぎ木のゴドリックに仕える騎士たちの兜
3511 その兜飾りは、枯れた灰髪である
3512 </text>
3513 <text id="1770100">接ぎ木のゴドリックに仕える騎士たちの胴鎧
3514
3515 その左胸には、黄金の一族の象徴たる
3516 両刃の戦斧の紋章が描かれている
3517 かつて、彼らは力をこぞ誇っていた
3518 </text>
3519 <text id="1770200">接ぎ木のゴドリックに仕える騎士たちの手甲
3520 古びてなお、その輝きは失われていない
3521 </text>
3522 <text id="1770300">接ぎ木のゴドリックに仕える騎士たちの足甲
3523 古びてなお、その輝きは失われていない
3524 </text>
3525 <text id="1771100">接ぎ木のゴドリックに仕える騎士たちの胴鎧
3526
3527 その左胸には、黄金の一族の象徴たる
3528 両刃の戦斧の紋章が描かれている
3529 かつて、彼らは力をこぞ誇っていた
3530 </text>
3531 <text id="1780000">魔術学院に仕える騎士たちの兜
3532 その額には、カッコウの一枚羽が配されている
3533 </text>
3534 <text id="1780100">魔術学院に仕える騎士たちの胴鎧
3535
3536 その左胸には、彼らの異名の由来となる
3537 覗き込むカッコウが描かれている
3538 我らは、決して学院の忠僕ではない
3539 これはその、意思表示であろう
3540 </text>
3541 <text id="1780200">魔術学院に仕える騎士たちの手甲
3542 古びてなお、その輝きは失われていない
3543 </text>
3544 <text id="1780300">魔術学院に仕える騎士たちの足甲
3545 古びてなお、その輝きは失われていない
3546 </text>
3547 <text id="1781100">魔術学院に仕える騎士たちの胴鎧
3548
3549 その左胸には、彼らの異名の由来となる
3550 覗き込むカッコウが描かれている
3551 我らは、決して学院の忠僕ではない
3552 これはその、意思表示であろう
3553 </text>
3554 <text id="1790000">王都ローデイルを守る騎士たちの兜
3555 黄金の樹冠は、樹を守る者の榮譽である
3556 </text>
3557 <text id="1790100">王都ローデイルを守る騎士たちの胴鎧
3558
3559 左胸に描かれた、黄金樹信仰の紋章には
3560 かつて、護りの祈祷が施されていたという
3561 </text>
3562 <text id="1790200">王都ローデイルを守る騎士たちの手甲
3563 古びてなお、その輝きは失われていない
3564 </text>
3565 <text id="1790300">王都ローデイルを守る騎士たちの足甲
3566 古びてなお、その輝きは失われていない
3567 </text>
3568 <text id="1791100">王都ローデイルを守る騎士たちの胴鎧
3569
3570 左胸に描かれた、黄金樹信仰の紋章には
3571 かつて、護りの祈祷が施されていたという
3572 </text>
3573 <text id="1800000">将軍ラダーンと共に戦った騎士たちの兜
3574
3575 赤髪の兜飾りは、ラダゴン王の子たる象徴であり
3576 自らが赤獅子たるを誇る、たてがみである
3577 </text>
3578 <text id="1800100">将軍ラダーンと共に戦った騎士たちの胴鎧
3579
3580 マレニアの朱い腐敗に敗れ、敗軍となった時
3581 騎士たちは、決意と共に左胸の紋章を焼いた
3582 遥かなる故郷よ、もう戻ることはない
3583 我々は、この地で腐敗を抑え続ける
3584 </text>
3585 <text id="1800200">将軍ラダーンと共に戦った騎士たちの手甲
3586 古びてなお、その黒鉄が鈍ることはない
3587 </text>
3588 <text id="1800300">将軍ラダーンと共に戦った騎士たちの足甲
3589 古びてなお、その黒鉄が鈍ることはない
3590 </text>
3591 <text id="1801100">将軍ラダーンと共に戦った騎士たちの胴鎧
3592
3593 マレニアの朱い腐敗に敗れ、敗軍となった時
3594 騎士たちは、決意と共に左胸の紋章を焼いた
3595 遥かなる故郷よ、もう戻ることはない
3596 我々は、この地で腐敗を抑え続ける
3597 </text>
3598 <text id="1810100">歩く霊廟を守り続ける、首なし騎士たちの胴鎧
3599
3600 背中の羽飾りは、死の鳥に由来する
3601 それは、自ら首を斬り落とし、殉死した後に
3602 霊としてこの地に留まるための、呪いである
3603 </text>
3604 <text id="1810200">歩く霊廟を守り続ける、首なし騎士たちの手甲
3605 古びてなお、その輝きは失われていない
3606 </text>
3607 <text id="1810300">歩く霊廟を守り続ける、首なし騎士たちの足甲
3608 古びてなお、その輝きは失われていない
3609 </text>
3610 <text id="1811100">歩く霊廟を守り続ける、首なし騎士たちの胴鎧
3611
3612 背中の羽飾りは、死の鳥に由来する
3613 それは、自ら首を斬り落とし、殉死した後に
3614 霊としてこの地に留まるための、呪いである
3615 </text>
3616 <text id="1820000">聖樹に仕える騎士たちの兜
3617 無垢金の頭冠が付けられている
3618
3619 信仰を高める
3620 </text>
3621 <text id="1820100">聖樹に仕える騎士たちの胴鎧
3622
3623 左胸には、聖樹の紋章が描かれている
```

3624 ミケラの血を受けた、聖なる芽生えの若木
3625 だがそれは、遂に黄金樹とはならなかった
3626 </text>
3627 <text id="1820200">聖樹に仕える騎士たちの手甲
3628 古びてなお、その輝きは失われていない
3629 </text>
3630 <text id="1820300">聖樹に仕える騎士たちの足甲
3631 古びてなお、その輝きは失われていない
3632 </text>
3633 <text id="1821100">聖樹に仕える騎士たちの胴鎧
3634
3635 左胸には、聖樹の紋章が描かれている
3636 ミケラの血を受けた、聖なる芽生えの若木
3637 だがそれは、遂に黄金樹とはならなかった
3638 </text>
3639 <text id="1830000">鍔付きの鉄帽子
3640 君主軍の雑兵の、ありふれた装備
3641 </text>
3642 <text id="1830100">綿入りの布鎧の上から
3643 鎖帷子の肩掛けを羽織ったもの
3644
3645 君主軍の雑兵の、ありふれた装備
3646 </text>
3647 <text id="1830200">無数に傷ついた金属の手甲
3648 君主軍の雑兵の、ありふれた装備
3649 </text>
3650 <text id="1830300">何度も補修された金属の足甲
3651 君主軍の雑兵の、ありふれた装備
3652 </text>
3653 <text id="1840000">鉢がねに布を垂らしたもの
3654 君主軍の雑兵の、ありふれた装備
3655 </text>
3656 <text id="1840100">綿入りの汚れた布鎧
3657 君主軍の雑兵の、ありふれた装備
3658 </text>
3659 <text id="1850000">鍔付きの金色帽子
3660
3661 王都ローデイルを守る雑兵たちの装備
3662 </text>
3663 <text id="1850100">綿入りの布鎧の上から
3664 革の肩掛けを羽織ったもの
3665
3666 君主軍の雑兵の、ありふれた装備
3667 </text>
3668 <text id="1860000">飾り気のない鉄の兜
3669 君主軍の雑兵の、ありふれた装備
3670 </text>
3671 <text id="1860100">朱い腐敗に汚れた、綿入りの布鎧
3672
3673 將軍ラダーンと共に戦った雑兵たちの装備
3674 </text>
3675 <text id="1870100">首元が酷く血に汚れた、綿入りの布鎧
3676
3677 歩く霊廟を守り続ける、首なし雑兵たちの装備
3678 </text>
3679 <text id="1880000">鍔付きの鉄帽子に
3680 無垢金の頭冠が付けられたもの
3681 信仰を高める
3682
3683 聖樹に仕える雑兵たちの装備
3684
3685 名も無き者、弱き者をこそ
3686 ミケラは祝福する
3687 </text>
3688 <text id="1880100">綿入りの布鎧の上から
3689 象牙色の肩掛けを羽織ったもの
3690
3691 聖樹に仕える雑兵たちの装備
3692 </text>
3693 <text id="1890000">醜く長い曲り角の生えた
3694 忌み潰したちの仮面
3695 筋力を高める
3696
3697 蕩け顔の老人が、いやらしい笑みを浮かべている
3698
3699 それは、忌み子たちの悪夢に現れる
3700 悪霊を象ったものであるという
3701 </text>
3702 <text id="1890100">心の壊れた虐殺者
3703 忌み潰したちのローブ
3704
3705 彼らの祖である口口は、古い調香師であり
3706 分厚い前掛けは、それに由来している
3707 </text>
3708 <text id="1890200">ゴワゴワとした革の長手袋
3709 忌み潰したちの装束
3710 </text>
3711 <text id="1890300">ゴワゴワとした革のブーツ
3712 忌み潰したちの装束
3713 </text>
3714 <text id="1900000">戦灰を転がす鈍色のスカラベを
3715 そのまま被ったもの
3716
3717 戦技の消費FPが、僅かに少なくなるが
3718 被ダメージも増えてしまう
3719 </text>
3720 <text id="1901000">祈禱を転がす黄金のスカラベを
3721 そのまま被ったもの
3722
3723 祈禱の消費FPが、僅かに少なくなるが
3724 被ダメージも増えてしまう
3725
3726 死期を悟ったスカラベは
3727 玉を捨て、その羽を限界まで広げて
3728 故郷の巣に向かい飛ぶという
3729 </text>
3730 <text id="1902000">魔術を転がす青緑のスカラベを
3731 そのまま被ったもの
3732
3733 魔術の消費FPが、僅かに少なくなるが
3734 被ダメージも増えてしまう
3735 </text>
3736 <text id="1910000">緋雫を転がす赤いスカラベを
3737 そのまま被ったもの
3738

```
1487 </text>
1488 <text id="1101000">頭部を覆う、鉄製の頑丈な兜</text>
1489 <text id="1101100">サーコートが付属した、鉄の胸鎧</text>
1490 <text id="1102100">青いサーコートが付属した、鉄の胸鎧</text>
1491 <text id="1110000">陸ダコを模した被り物</text>
1492 <text id="1120000">よく見かける、ただの壺</text>
1493 <text id="1130000">頭部に寄生した粘菌の兜</text>
1494 <text id="1130100">身体に寄生した粘菌の胸鎧</text>
1495 <text id="1130200">腕に寄生した粘菌の腕帯</text>
1496 <text id="1130300">足に寄生した粘菌の足帯</text>
1497 <text id="1300000">鏡で装飾された兜</text>
1498 <text id="1301000">全面が鏡で覆われた兜</text>
1499 <text id="1400000">盗賊たちが身に着ける、薄汚れたフード</text>
1500 <text id="1400100">盗賊たちが身に着ける、薄汚れた革鎧</text>
1501 <text id="1400200">盗賊たちが身に着ける、薄汚れた手袋</text>
1502 <text id="1400300">盗賊たちが身に着ける、薄汚れたブーツ</text>
1503 <text id="1401000">盗賊たちが身に着ける、薄汚れたマスク</text>
1504 <text id="1500000">異国の騎士が用いた鉄の兜</text>
1505 <text id="1500100">異国の騎士が用いた鉄の鎧</text>
1506 <text id="1500200">異国の騎士が用いた鉄の手甲</text>
1507 <text id="1500300">異国の騎士が用いた鉄の足甲</text>
1508 <text id="1600000">神秘的なシルエットをした、巨大なフード</text>
1509 <text id="1700000">ストームヴィルの騎士たちが用いる兜</text>
1510 <text id="1700100">ストームヴィルの騎士たちが用いる胸鎧</text>
1511 <text id="1700200">ストームヴィルの騎士たちが用いる手甲</text>
1512 <text id="1700300">ストームヴィルの騎士たちが用いる足甲</text>
1513 <text id="1710000">レアルカリア魔術学院の騎士たちが用いる兜</text>
1514 <text id="1710100">レアルカリア魔術学院の騎士たちが用いる胸鎧</text>
1515 <text id="1710200">レアルカリア魔術学院の騎士たちが用いる手甲</text>
1516 <text id="1710300">レアルカリア魔術学院の騎士たちが用いる足甲</text>
1517 <text id="1720000">王都を守護する騎士たちが用いる兜</text>
1518 <text id="1720100">王都を守護する騎士たちが用いる胸鎧</text>
1519 <text id="1720200">王都を守護する騎士たちが用いる手甲</text>
1520 <text id="1720300">王都を守護する騎士たちが用いる足甲</text>
1521 <text id="1730000">ケイリッドの野を守護する騎士たちが用いる兜</text>
1522 <text id="1730100">ケイリッドの野を守護する騎士たちが用いる胸鎧</text>
1523 <text id="1730200">ケイリッドの野を守護する騎士たちが用いる手甲</text>
1524 <text id="1730300">ケイリッドの野を守護する騎士たちが用いる足甲</text>
1525 <text id="1740100">霊廟を守護する騎士たちが用いる胸鎧</text>
1526 <text id="1740200">霊廟を守護する騎士たちが用いる手甲</text>
1527 <text id="1740300">霊廟を守護する騎士たちが用いる足甲</text>
1528 <text id="1750000">黄金の双子、ミケラを守護する騎士たちの兜</text>
1529 <text id="1750100">黄金の双子、ミケラを守護する騎士たちの胸鎧</text>
1530 <text id="1750200">黄金の双子、ミケラを守護する騎士たちの手甲</text>
1531 <text id="1750300">黄金の双子、ミケラを守護する騎士たちの足甲</text>
1532 <text id="1760000">王軍の騎兵たちが使用する兜</text>
1533 <text id="1760100">王軍の騎兵たちが使用する鎧</text>
1534 <text id="1760200">王軍の騎兵たちが使用する手甲</text>
1535 <text id="1760300">王軍の騎兵たちが使用する足甲</text>
1536 <text id="1761100">王軍の騎兵たちが使用する鎧</text>
1537 <text id="1770000">ストームヴィルの上級騎士たちが用いる兜</text>
1538 <text id="1770100">ストームヴィルの上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1539 <text id="1770200">ストームヴィルの上級騎士たちが用いる手甲</text>
1540 <text id="1770300">ストームヴィル上級騎士の足甲</text>
1541 <text id="1771100">ストームヴィルの上級騎士たちが用いる鎧</text>
1542 <text id="1780000">レアルカリア魔術学院の上級騎士たちが用いる兜</text>
1543 <text id="1780100">レアルカリア魔術学院の上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1544 <text id="1780200">レアルカリア魔術学院の上級騎士たちが用いる手甲</text>
1545 <text id="1780300">レアルカリア魔術学院の上級騎士たちが用いる足甲</text>
1546 <text id="1781100">レアルカリア魔術学院の上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1547 <text id="1790000">王都を守護する上級騎士たちが用いる兜</text>
1548 <text id="1790100">王都を守護する上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1549 <text id="1790200">王都を守護する上級騎士たちが用いる手甲</text>
1550 <text id="1790300">王都を守護する上級騎士たちが用いる足甲</text>
1551 <text id="1791100">王都を守護する上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1552 <text id="1800000">ケイリッドの野を守護する上級騎士たちが用いる兜</text>
1553 <text id="1800100">ケイリッドの野を守護する上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1554 <text id="1800200">ケイリッドの野を守護する上級騎士たちが用いる手甲</text>
1555 <text id="1800300">ケイリッドの野を守護する上級騎士たちが用いる足甲</text>
1556 <text id="1801100">ケイリッドの野を守護する上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1557 <text id="1810100">霊廟を守護する上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1558 <text id="1810200">霊廟を守護する上級騎士たちが用いる手甲</text>
1559 <text id="1810300">霊廟を守護する上級騎士たちが用いる足甲</text>
1560 <text id="1811100">霊廟を守護する上級騎士たちが用いる胸鎧</text>
1561 <text id="1820000">黄金の双子、ミケラを守護する上級騎士たちの兜</text>
1562 <text id="1820100">黄金の双子、ミケラを守護する上級騎士たちの胸鎧</text>
1563 <text id="1820200">黄金の双子、ミケラを守護する上級騎士たちの手甲</text>
1564 <text id="1820300">黄金の双子、ミケラを守護する上級騎士たちの足甲</text>
1565 <text id="1821100">黄金の双子、ミケラを守護する上級騎士たちの胸鎧</text>
1566 <text id="1830000">ストームヴィルの兵士たちが用いる兜</text>
1567 <text id="1830100">ストームヴィルの兵士たちが用いる胸鎧</text>
1568 <text id="1830200">ストームヴィルの兵士たちが用いる手甲</text>
1569 <text id="1830300">ストームヴィルの兵士たちが用いる足甲</text>
1570 <text id="1840000">レアルカリア魔術学院の兵士たちが用いる兜</text>
1571 <text id="1840100">レアルカリア魔術学院の兵士たちが用いる胸鎧</text>
1572 <text id="1850000">王都を守護する兵士たちが用いる兜</text>
1573 <text id="1850100">王都を守護する兵士たちが用いる胸鎧</text>
1574 <text id="1860000">ケイリッドの野を巡回する兵士たちが用いる兜</text>
1575 <text id="1860100">ケイリッドの野を巡回する兵士たちが用いる胸鎧</text>
1576 <text id="1870100">霊廟を守る兵士たちが用いる胸鎧</text>
1577 <text id="1880000">黄金の双子、ミケラを敬愛する兵士たちの兜</text>
1578 <text id="1880100">黄金の双子、ミケラを敬愛する兵士たちの胸鎧</text>
1579 <text id="1890000">調香魔術師の暗部である処刑者たちが用いるマスク</text>
1580 <text id="1890100">調香魔術師の暗部である処刑者たちが用いるローブ</text>
1581 <text id="1890200">調香魔術師の暗部である処刑者たちが用いる手袋</text>
1582 <text id="1890300">調香魔術師の暗部である処刑者たちが用いるブーツ</text>
1583 <text id="1900000">年経た、白く巨大なスカラベの死骸を用いたマスク</text>
1584 <text id="1901000">年経た、赤く巨大なスカラベの死骸を用いたマスク</text>
```

```
3739 緋雫の聖杯瓶の回復量を、僅かに高めるが
3740 被ダメージも増えてしまう
3741 </text>
3742 <text id="1920000">青雫を転がす青いスカラベを
3743 そのまま被ったもの
3744
3745 青雫の聖杯瓶の回復量を、僅かに高めるが
3746 被ダメージも増えてしまう
3747 </text>
3748 <text id="1930100">ごく薄く滑らかな、白紗のドレス
3749 死衾の乙女が、遺体に寄り添い纏うもの
3750
3751 周囲の味方のHPを、ゆっくりと回復する
3752 自分自身には効果がない
3753
3754 それは、枯れきった遺体を傷つけることなく
3755 ただ温もりだけを伝えるという
3756 </text>
```

```
1585 <text id="1902000">年経た、青く巨大なスカラベの死骸を用いたマスク</text>
1586 <text id="1910000">年経た、黄色く巨大なスカラベの死骸を用いたマスク</text>
1587 <text id="1920000">年経た、緑の巨大なスカラベの死骸を用いたマスク</text>
1588 <text id="1930100">死衾の乙女、フィアのドレス</text>
1589 <text id="1930300">死衾の乙女、フィアのスカート</text>
1590 <text id="1940000">死衾の乙女、フィアのフード</text>
1591 <text id="1940100">死衾の乙女、フィアのローブ</text>
1592 <text id="1941100">死衾の乙女、フィアの長衣</text>
```

```
1593 <text id="1950000">輝石魔術師の石仮面 頭</text>
1594 <text id="1950100">朱い腐敗のミルセントが身に着けていたローブ</text>
1595 <text id="1950200">朱い腐敗のミルセントが身に着けていた手袋</text>
1596 <text id="1950300">朱い腐敗のミルセントが身に着けていたブーツ</text>
1597 <text id="1960000">輝石魔術師の石仮面(壊) 頭</text>
1598 <text id="1970100">朱い腐敗のミルセントが身に着けていた上衣</text>
1599 <text id="1970200">神代の技術で鍛造された、黄金の義手</text>
1600 <text id="1980000">暗い洞窟を根城とする雑兵たちのフード</text>
1601 <text id="1980100">暗い洞窟を根城とする雑兵たちのローブ</text>
1602 <text id="1980200">暗い洞窟を根城とする雑兵たちの手袋</text>
1603 <text id="1990000">とある貴族に仕える、小姓の頭巾</text>
1604 <text id="1990100">とある貴族に仕える、小姓の服</text>
1605 <text id="1991100">とある貴族に仕える、小姓のベスト</text>
1606 <text id="2000000">大量の蛇を配した、赤銅の兜</text>
1607 <text id="2000100">猛獣の毛皮で作られたローブ</text>
1608 <text id="2000300">絡みつく蛇を模した、赤銅の胴鎧</text>
1609 <text id="2001100">絡みつく蛇を模した、赤銅の脚輪</text>
1610 <text id="2010000">毒腐に侵された巨大な花の冠</text>
1611 <text id="2020000">囚人の視界を奪う、赤い布で作られた目隠し</text>
1612 <text id="2030000">美しい空色に染められた、魔術師のローブ</text>
```

```
1613 </entries>
1614 </fmg>
1615
```

```
3757 <text id="1930300">死衾の乙女、フィアのスカート</text>
3758 <text id="1940000">頭部を覆い隠す黒布のフード
3759 故郷を追われた、死衾の乙女
3760 フィアの旅の装束
3761
```

```
3762 しかし、それは薄絹のように柔らかい
3763 </text>
3764 <text id="1940100">全身を覆い隠す黒布のローブ
3765 故郷を追われた、死衾の乙女
3766 フィアの旅の装束
3767
```

```
3768 しかし、それは薄絹のように柔らかく
3769 温もりと鼓動を、そのまま伝える
3770 </text>
3771 <text id="1941100">全身を覆い隠す黒布のローブ
3772 故郷を追われた、死衾の乙女
3773 フィアの旅の装束
3774
```

```
3775 しかし、それは薄絹のように柔らかく
3776 温もりと鼓動を、そのまま伝える
3777 </text>
```

```
3778 <text id="1950000">輝石魔術師の石仮面 頭</text>
3779 <text id="1950100">朱い腐敗のミルセントが身に着けていたローブ</text>
3780 <text id="1950200">朱い腐敗のミルセントが身に着けていた手袋</text>
3781 <text id="1950300">朱い腐敗のミルセントが身に着けていたブーツ</text>
3782 <text id="1960000">輝石魔術師の石仮面(壊) 頭</text>
3783 <text id="1970100">朱い腐敗のミルセントが身に着けていた上衣</text>
3784 <text id="1970200">神代の技術で鍛造された、黄金の義手</text>
3785 <text id="1980000">酷く汚れたボロボロのフード
3786 雑兵崩れの、追い剥ぎたちの装備
3787 </text>
3788 <text id="1980100">酷く汚れた綿入りの布鎧
3789 雑兵崩れの、追い剥ぎたちの装備
3790 </text>
3791 <text id="1980200">酷く汚れ、金属部の欠けた手甲
3792 雑兵崩れの、追い剥ぎたちの装備
3793 </text>
3794 <text id="1990000">小姓の中から特に選ばれ
3795 有力者に仕える者たちのフード
3796
```

```
3797 ずた袋のようなそれは、名も無き者の証である
3798 </text>
3799 <text id="1990100">小姓の中から特に選ばれ
3800 有力者に仕える者たちの服
3801
```

```
3802 従者として恥ずかしいことの無いよう
3803 上質に仕立てられた旅装
3804 </text>
3805 <text id="1991100">小姓の中から特に選ばれ
3806 有力者に仕える者たちの服
3807
```

```
3808 従者として恥ずかしいことの無いよう
3809 上質に仕立てられた旅装
3810 </text>
3811 <text id="2000000">大量の蛇で飾られた青銅の兜
3812 その朱い腐敗に蝕まれたもの
3813
```

```
3814 闘技場を追われた、闘士たちの装備
3815 少々、敵に狙われやすくなる
3816 </text>
3817 <text id="2000100">ゴワゴワとした厚手のマント
3818 その朱い腐敗に蝕まれたもの
3819
```

```
3820 地下の墓守の証
3821 </text>
3822 <text id="2000300">青銅の蛇が巻き付いた足甲
3823 その朱い腐敗に蝕まれたもの
3824
```

```
3825 闘技場を追われた、闘士たちの装備
3826 少々、敵に狙われやすくなる
3827 </text>
3828 <text id="2001100">青銅の蛇が巻き付いた防具
3829 その朱い腐敗に蝕まれたもの
3830
```

```
3831 闘技場を追われた、闘士たちの装備
3832 少々、敵に狙われやすくなる
3833 </text>
3834 <text id="2010000">びっしりと全身に生えたキノコ
3835 その、聳え立つ頭の部分
3836
```

```
3837 周囲で毒あるいは腐敗状態が発生すると
3838 攻撃力が高まる
3839
```

```
3840 かつて朱い腐敗に仕えた、偉大なる王たち
3841 これはその王冠であろう
3842 </text>
3843 <text id="2020000">酷い責問に際して、被せられる覆面
3844 恐怖を増し、痛みを鮮明に感じさせる
3845
```

```
3846 自らが発狂状態になったとき
3847 攻撃力が高まる
3848
```

```
3849 その責めは、答えを求めるものでなく
3850 故に、永遠に終わることがない
3851 </text>
3852 <text id="2030000">レアルカリアの魔術学徒の中でも
3853 ラズリの教室に学ぶ者たちのローブ
3854
```

```
3855 カーリアの魔術を修めんとする彼らは
3856 月を星と同等に見る、異端であり
3857 満月色のローブを纏う
3858 </text>
```

```
3859 </entries>
3860 </fmg>
3861
```